

**小学校における交通・環境学習支援事業
報告書**

**平成 23 年 3 月
御 嵩 町**

< 目次 >

1.事業の目的と概要	1
1.1 事業の目的	1
1.2 事業の枠組み	1
2.町内全小学校での授業実施・検証評価の支援	2
2.1 概要	2
2.2 授業実施状況	4
(1)上之郷小学校	4
(2)御嵩小学校	15
(3)伏見小学校	31
3.多様な教材、単元とカリキュラム作成方法の検討	39
3.1 概要	39
3.2 地図教材	40
3.2 提供教材	61
4.持続的な取り組みに向けた情報提供・広報啓発システムの構築支援	86
4.1 情報提供・広報啓発の概要	86
4.2 歩年度の情報提供・広報活動	88
4.3 今後の情報提供・広報活動の検討	109
5.「交通・環境学習」実施要領（暫定版）作成	111
5.1 概要	111
5.2「交通・環境学習」実施要領（案）	112
6.今後の課題と次年度に向けた検討企画(案)	116
6.1 まとめ	116
6.2 次年度検討企画(案)	118

1.事業の概要

1.1 事業の目的

御嵩町では、地球温暖化防止に向けた先導的な取り組みを推進しており、町全体でCO₂排出削減の仕組みづくりを検討しながら、その実現を目指している。また、当町では、名鉄広見線の存続問題が大きく浮上している。こうした状況のもと、子どもたちが学校の場で環境問題を学習して家庭や地域で自ら実践することや、御嵩町の交通のあり方を見つめなおし、公共交通のあり方やその利用促進について学習して暮らしに反映することは、子どもたちにとって非常に重要であり、有効である。

本業務は、このような背景を踏まえ、身近な地域社会として住んでいる御嵩町の理解を深め、郷土への愛着を醸成することをねらいとして、公共交通などを中心とした交通学習や地球温暖化防止に向けた環境学習、歴史や文化など郷土学習を相互に関連させた御嵩町独自の環境・交通学習を積極的に推進するために、町内3小学校を対象とした交通・環境学習及び関連する学校での取り組みを支援するものである。

1.2 事業の枠組み

(1)対象

平成 22 年度：町内の 3 小学校

- ・上之郷小学校（児童数：90 名，学級数：6）
- ・御嵩小学校（児童数：637 名，学級数：19）
- ・伏見小学校（児童数：291 名，学級数：12）

将来的には、中学校での学習も視野に入れる。

(2)事業の目標

事業期間における年度別の目標を表 1.1 に示す。

表 1.1 年度別事業の目標設定

年度	位置付け	目標
平成 20 年度	事業実施準備	1.検討体制の立ち上げ 2.基礎教材の開発 3.単元、カリキュラム構成
平成 21 年度	学習実施と展開	1.教材の開発、拡充 2.モデル校での「交通・環境学習」の実施と検証
平成 22 年度	持続的な取り組みシステムの構築	1.町内全小学校での「交通・環境学習」の実施 2.取り組み支援体制と仕組みの構築 3.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成(暫定版)
平成 23 年度	取り組みの継続・発展	1.継続的・発展的な取り組みの定着 2.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成(改訂版) 3.中学校での取り組み開始

2.各小学校での授業実施状況

2.1 概要

本年度は、町内全小学校での授業を実施して検証、評価を行い、今後の継続的实施に向けた方向性を見出すこととする。

授業実施の枠組みは、以下のとおりとする。

(1)実施対象

- ・上之郷小学校（児童数：90名，学級数：6）
- ・御嵩小学校（児童数：637名，学級数：19）
- ・伏見小学校（児童数：291名，学級数：12）

(2)授業実施の基本的事項

授業実施内容は、原則として学校主体で検討することとするが、以下のような基本方針に基づくこととする。

- ・原則として学校及び学年の年間学習計画に基づくものとする。
- ・学年を単位として、総合的な学習の時間もしくは教科学習計画の中で、「交通と環境を学ぶ」教材を体系化して位置付ける。
- ・既存「交通と環境を学ぶ」教材と学年の年間学習計画を考慮して、授業実施内容を検討する。この際、既存「交通と環境を学ぶ」学習教材については、事務局が提供、支援する。
- ・各学校での授業内容検討に際しては、事務局及び専門家が情報提供を行うとともに、要請に応じて支援する。

(3)授業実施の概要

町内3校の授業実施概要を表2.1に示す。

各校ともに、複数の学年で「生活科」、「社会科」、そして「総合的な学習の時間」の年間学習計画のなかで「交通・環境」の教材を位置づけて取り組むこととしている。

また、上之郷小学校と伏見小学校は、本年度はじめての取り組みであるが、昨年度の御嵩小学校における取り組み実績も参考にしながら、可能な範囲で複数の学年で授業を実施する。

表 2.1 町内各校の授業実施概要

学年	上之郷小学校	御嵩小学校	伏見小学校
1年	生活科:しぜんとあそぼう	生活科:はっぱの いろが かわったよ ～みたけのあきとあそぼう～	
2年	生活科:わたしたちの町をたんけんしよう	生活科:どきどきわくわくまちたんけん ～わたしのまちをたんけんしよう～	生活科:ぼうけん、はっけん、まちたんけん
3年	社会科:わたしたちのまち みんなのまち	総合的な学習の時間:みたけの森しぜんたんけん	生活科:わたしたちのまちはどんなまち?
4年	総合的な学習の時間・社会科:わたしたちの できるエコ	社会科:きょう土に伝わる願い ～乗って残そうふるさとの電車～	総合的な学習の時間・社会科:くふうしてみよ う ～快適な着方と住まい方を考えよう～
5年	社会科:自動車工場	総合的な学習の時間:大好き、御嵩	
6年	社会科:私たちの名鉄広見線	総合的な学習の時間:御嵩町の歴史の扉を開こう	

2.2 授業実施状況

(1)上之郷諸学校

a.授業概要

上之郷小学校における学習の全体計画を表 2.2 に示す。

表 2.2(1) 上之郷小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
1	しぜんとあそぼう	生活科	体全体で自然を感じ、自然を使って遊びをみんな楽しむことができる	・あきをさがしにいこう、あきのあそびばにいこう ・あきの自然でおもちゃをつくって、みんなで楽しく遊ぼう	
2	わたしたちの町をたんけんしよう	生活科	身近な地域に出かけることで、自分の生活とのかかわりを広げ、深める。町たんけんを通して、交通空間を“歩く”ことと“発見する”価値を実感し、地域の良さを身につける。	・まちのひみつをおしえあおう ・まちをたんけんしよう(しぜんたんけん、ふれあいたんけん) ・見つけたことを教えあおう ・やさしさ見つけ・元気見つけ ・見つけたことをまとめて交流しよう	歩き、発見
3	わたしたちのまち みんなのまち	社会科	みたけ町を地図と見学で調べ、自然とくらし、産業を実感するとともに、広見線とバスを使って見学して、見学でわかったことを踏まえて町のガイドマップをつくり、伝える力を身につける。	・町全体の様子の調べ方を考える ・調べよう:店などの賑やかなところ、工場が集まっているところ、田や畑の多いところ、緑の多いところ ・私たちの町を見学しよう(社会見学:広見線・バス乗車) ・町のガイドブックをつくらう	広見線・バス利用による見学
4	わたしたちのできるエコ	総合的な学習 社会科	地球温暖化を学び、2 酸化炭素を削減するために自分ができることを考え、実践することで、電気の使用量を減らしたりクルマ利用を減らすことが有効であることを実感し、みんなに伝える。	・地球温暖化って何? STOP 温暖化 ・自分のできるエコを考えよう ・自分のできるエコを実践しよう ・自分たちの行ったエコをまとめよう ・自分たちのできるエコを発表しよう	自分ができるエコの実践
5	自動車工場	社会科	自動車工場の見学を通して、環境にやさしい自動車の開発の工夫や努力を理解するとともに、これからのクルマ社会を考える。	・自動車販売店で働く人々を訪ねよう ・自動車工場を見学しよう ・自動車づくりの工夫を聞こう ・ハイブリッドカー開発のひみつを探ろう ・これからのクルマ社会を考えよう	自動車工場見学

表 2.2(2) 上之郷小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
6	私たちの名鉄広見線	社会科	名鉄広見線乗車体験を通して鉄道利用の新しい発見をする。また、広見線の歴史と現状を学び、広見線存続の願いを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・名鉄広見線に乗ってみよう ・名鉄広見線の歴史を知ろう ・名鉄広見線の乗る人が減ったのはなぜ？ ・地球の環境を守るために 	広見線乗車体験

b.授業実施状況

- ・ 2年：わたしたちの町をたんけんしよう（生活科、写真 2.1）
- ・ 3年：わたしたちのまち みんなのまち（社会科、写真 2.2）
- ・ 4年：わたしたちのできるエコ（総合的な学習の時間、写真 2.3）
- ・ 5年：自動車工場(社会科、写真 2.4)
- ・ 6年：わたしたちの名鉄広見線（社会科、写真 2.5）



写真 2.1 私たちの町をたんけんしよう（2年）



写真 2.2 わたしたちのまち みんなのまち（3年）



写真 2.3 地球温暖化を防ぐ(4年)



写真 2.4 排ガス調べ(5年)



写真 2.5 わたしたちの名鉄広見線(6年)

c.単元指導計画

第1学年

1 単元指導計画 単元名 しぜんとあそぼう

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1 2	あきをさが ・しにいこう	・秋の草花や木の実・虫などの身近な自然と関わり季節の変化に気づくことができる。	・学校の校庭や学校の周辺で見たり聞いたりした秋の兆しを出し合い、話し合う。 ・身近な自然を観察し、春や夏と比べて変わりはじめたところを探す。	・学校の周辺の秋の自然やその様子に関心を持ち秋の雰囲気を楽しもうとしている。 ・自然の様子が変わったことに気づいている。	・春の様子へのこどもの意識や関心を高めておく。
3 4	あきのあそ ・びばにいこう	・落ち葉や木の実などと関わり、体全体で秋を感じることができる。	・学校の周辺や校庭で落ち葉や木の実を拾ったり遊びを工夫して遊んだりしながら秋を実感する。	・体全体で秋を感じようとしている。 ・ 秋の自然の特徴を利用して遊び方やルールを工夫して遊ぶことができる。 ・ 遊びの工夫や楽しさを友達と伝え合っている。	・嗅覚や触覚など諸感覚を使うことを助言する。
5 6 7	つくってあ ・そぼう	・落ち葉や木の実などを使い、その特徴を生かしたおもちゃや飾りを工夫して作り、遊ぶことができる。	・遊び場などで集めた落ち葉や木の実を使って何を作りたいか話し合い、グループを作ったり道具や材料を準備したりする。	・落ち葉や木の実など自然の物の特徴を生かし、自分の作りたいものを決めて作るようとしている。	・教科書や参考作品を見せてイメージをもたせる。
8 9	みんなでた ・のしくあそ ぼう	・秋の自然を使って、工夫してつくったおもちゃや遊びを一緒に楽しむことができる。	・一緒に遊ぶためのルールを決めたり遊び方を話し合ったりする。	・作ったおもちゃや遊びを使ってみんなで楽しく遊ぼうとしている。	・みんなで遊ぶためのおもちゃの改良やルールの設定などを考えさせる。

第 2 学年

1 単元指導計画 単元名 わたしたちの町をたんけんしよう

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1 2	まちのひみつをおしえあおう	・自分が関心をもっている町の場所や自然などを教え合い、関心を高めることができる。	・自分が見つけた「まちのひみつ」をカードに書く。 ・カードに書いたことを発表し合う。	・まちに関心を持ち、友達に紹介しようとしている。 ・興味をもったものを工夫して友達に伝えることができる。	・例を示すなどして、具体的なイメージをもたせる。
3 4	たんけんの計画を立てよう1	・行ってみたい場所を話し合ったり、探検のルールやマナーを考えたりして、探検の計画を立てることができる。	・前時の発表を元にして、行ってみたい場所を相談して決める。 ・自然探検の持ち物や約束を決める。	・行きたい場所や探検方法などについて進んで話し合い、探検の計画を立てている。	・具体的なイメージを持たせる中で考えさせる。
5 6	まちをたんけんしよう1（しぜんたんけん）	・立てた計画に基づいて、自然と関わりをもち、探検を楽しむことができる。	・約束を守って探検に行く。 ・探検場所で植物や虫などを観察する。	・約束を守って探検を楽しみ、自然と積極的に関わろうとしている。	・一緒に探すなどして、関わりをもたせる。
7 8	たんけんで見つけたことを教え合おう	・探検1で見つけたものをカードにかき、教え合うことができる。	・探検で見つけたものをカードにかく。 ・カードを使って友達に発表する。	・自分が見つけたものをわかりやすく発表できるように意欲的に表現しようとしている。	・絵や写真などを活用させる。
9	たんけんの計画を立てよう2	・探検のルールやマナーを考えたりして、探検の計画を立てることができる。	・探検で聞きたいことや見たいことをはっきりさせる。 ・マナーや約束、探検する順番などを決める。	・進んで話し合い、探検の計画を立てている。 ・探検場所で聞きたいことや見たいことをはっきりさせている。	・お店や公共の場があるので、マナーについて特に考えさせる。
10 11 12	まちをたんけんしよう2（ふれあいたんけん）	・自分たちで立てた計画に基づいて、グループで協力しながら、施設や人々と関わりをもち、探検を楽しむことができる。	・約束を守って探検に行く。 ・施設で聞きたいことを質問したり、見せてもらったりして地域の人と関わりをもつ。	・友達と協力しながら探検を楽しみ、町の人に積極的に関わろうとしている。 ・町には、たくさんの人や多くの	・安全面に気をつけながら探検をする。 ・積極的に関わられるように支

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
13 14 15	見つけたことを教え合おう	・町探検で見つけたことや気づいたことを友だちと交流しながら、上之郷に愛着をもつことができる。	・町探検で見つけたことや気づいたことをまとめる。 ・まとめたものをもとにして、交流する。	・意欲的に表現しようとしている。 ・自分で発表したり、友だちの発表を聞いたりして、上之郷のよさに気づいている。	・絵や写真などを活用させる。
16	おれいの手紙を書こう	・お世話になった方にお礼の手紙を心を込めて書くことができる。	・探検で分かったことや感想を入れたお礼のお手紙を書く。	・お世話になった方に感想などを伝えながらお礼の手紙を書くことができる。	・個別に感想を聞くなどして、支援する。
17 18	たんけんの計画を立てよう3（やさしさ見つけ・元気見つけ）	・ルールやマナーを考えて、探検の計画を立てることができる。	・一緒にしたいことや聞いてみたいことをはっきりさせる。 ・マナーや約束などを決める。	・一緒にしたいことや聞いてみたいことをはっきりさせて、探検に意欲的に関わろうとしている。	・お年寄りに対する言葉遣いに配慮させる。
19 20 21	やさしさ見つけ・元気見つけをしてこよう	・地域の方と触れ合いながら、やさしさや元気に気づくことができる。	・卓球同好会の方と活動したり、インタビューしたりする。 ・公民館や郵便局のやさしさを見つけてくる。	・地域の方と一緒に活動したり、お話を聞いたりする中で、やさしさや元気に気づくことができる。	・積極的に活動できるように働きかける。
22 23	見つけたことをまとめて交流しよう	・探検で気づいたことをまとめ、交流し、上之郷に愛着をもつことができる。	・やさしさ、元気さを、それぞれ分かりやすくまとめる。 ・学級で交流する。	・まとめたことを、分かりやすく交流する中で、上之郷のよさに気づくことができる。	・絵や写真などを活用させる。
24	お礼の手紙を書こう	・お世話になった方にお礼の手紙を心を込めて書くことができる。	・探検で分かったことや感想を入れたお礼のお手紙を書く。	・お世話になった方に感想などを伝えながらお礼の手紙を書くことができる。	・個別に感想を聞くなどして、支援する。

第3学年

1 単元指導計画 単元名 わたしたちのまち みんなのまち 小単元 町のようす

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	町全体の様子の調べ方を考えよう	・町の写真や地図から、町の様子を調べる方法を話し合うことができる。	・町の写真から、土地の使われ方の違いを話し合う。 ・地図と写真を見比べて、地域に分けられている部分の特徴を話し合う。 ・歩いて調べられない部分の調べ方を話し合う。	・御高町の土地の様子やその地域の様子に関する心をもてる。	・写真と地図の観点を与える。
2	店や役所の多いにぎやかなところを調べよう	・御高駅付近の写真や地図から、国道沿いに移ってきたことがわかる。	・御高駅付近の写真や聞き取り調査から、昔の様子を知る。 ・国道沿いの写真から、現在の様子を知る。 ・国道沿いが発展し、にぎやかなところになったわけを考える。	・にぎやかな国道沿いの移りこぼれの影響がわかる。	・昔と今の御高駅付近の国道沿いの写真を見比べて、意図する。
3	工場が集まっているところを調べよう	・国道沿いや工業団地にたくさん工場ができたことがわかる。	・写真より、御高町の南側に、広い平らな土地があることに気付く。 ・工場ができる条件を考える。 ・国道に沿ってある工場を確かめる。	・工場を建てるのに良い立地条件から、国道沿いや平芝工業団地に工場が多いことがわかる。	・工場に出入りするトラックの写真を用い、立地条件に気付かせる。
4	田や畑の多いところを調べよう	・平らな土地や水が豊富にある可児川沿いに田や畑が多くあり、米やいろいろな作物を作っていることがわかる。	・田が多くある土地の特徴を考える。 ・川の豊富な水を使って米やいろいろな作物を作っていることを知る。	・可児川の豊富な水を利用して、協力したり工夫したりして米やいろいろな作物を作っていることがわかる。	・御高町の西方面で米や作物が盛んなことに気付かせる。
5	みどりの多いところを調べよう	・町の北と南には山が多く、その自然環境を生かして生活していることがわかる。	・上之郷の土地とその使われ方について話し合う。	・自然を生かしながら、農業・林業・観光業をしていることがわかる。	・児童の家の仕事について、紹介し合わせる。
6 7 8	わたしたちのまちを見学しよう	・社会見学に名鉄広見線やバスを使い、それぞれの地域を見学・観察することができる。	・名鉄広見線御高駅周辺の様子を観察する。 ・国道沿いや工業団地を観察する。 ・上之郷や田畑の多い地域を見学・観察する。 ・まとめる。	・御高町の様子や土地の使われ方に関心をもてる。	・漠然と見ている児童に対しては観察の視点を与える
9 10	町のガイドマップをつくる	・見学でわかったことを加えながら、町のガイドマップを作ることができる。	・ひとりひとり、絵や文を書いて、ガイドマップを作る。	・土地の使われ方や特徴を、見やすいガイドマップに表すことができる。	・2年生に見てもらって、感想をもらう。

第4学年

1 単元指導計画 単元名 わたしたちのできるエコ

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	温暖化って何？	<ul style="list-style-type: none"> 資料やグラフを使い温暖化の原因や温暖化によってわたしたちの生活にどのような影響があるか理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均気温が上昇していることに気づく 温暖化と二酸化炭素の排出量に関係のあることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素が増加し温暖化につながっていることが分かる 温暖化を防ぐことは自分たちの生活と関係あることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 資料が読み取れない児童には写真から説明するよう促す
2	STOP温暖化	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化の原因である二酸化炭素の排出を抑えるためには化石燃料の使用を抑えることが必要だと気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化によって海面が上昇していることが分かる 温暖化と石油の使用量に関係があることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化の影響が既にあらわになっていることが分かる 温暖化を食い止めるためには石油の消費を抑えることが大切になることが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化の影響の写真から温暖化防止は緊急の課題と感じ取らせる
3	自分のできるエコを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 石油の使用を少なくするためには電気の無駄使いをなくしたり空き缶の回収をしたりすることが大切だと分かり実践しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> できる限り車を使わないことや電気の使用量を減らすことがエコにつながることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 石油の消費を抑えるためには節電が有効であることに気づく わたしたちにできるエコがあることに気づき実践しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な考え方の中から自分でできそうなエコにしぼって考えさせる
4	自分のできるエコを実践しよう	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校の電気の使用を抑えるためにこまめに電灯を消したりすることが有効だと気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> エコワットを使い、こまめにスイッチを切ることがエコにつながることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> エコワットを使用し、こまめにスイッチを切ることがエコにつながることが言える 	<ul style="list-style-type: none"> エコワットの使い方は図を使い説明する
5	自分たちの行ったエコをまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> 児童が実践したエコについて模造紙などにまとめ実践の振り返りと今後もエコに気を付けようとする意欲をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭で実践したことやその効果をまとめる 自分たちの実践を他にも分かるようにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで実践したエコを分かりやすくまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 遠くのお客さんにも分かるという視点でまとめさせる
6	自分たちのできるエコを発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのエコについて学びまとめたことを見に来てくれたお客さんに発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめたことを分かりやすく発表する 	<ul style="list-style-type: none"> まとめたことを分かりやすく発表することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 主張したいことが分かるように発表させる

第5学年

1 単元指導計画 単元名 自動車工場

時	議題	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	自動車はん売店をたずねてみよう	自動車販売店で働く人々の工夫や努力についてすすんで調べてることができる。	近くの自動車販売店を訪ねたり、自動車のパンフレットを持ち寄ったりして、調べてみたいことを話し合う。	自動車の作り方やそこで働く人々の工夫や努力に関心が持てたか。	注文通りに1台1台自動車がつくられていることに目を向けさせる。
2	自動車工場を見学しよう	自動車工場での生産の仕組みや働く人々の工夫や努力についてすすんで調べることができる。	自動車工場のある場所、工場の大きさ、様子などを調べる計画を立てる。	自動車工場での生産の仕組みや働く人々の工夫や努力についてすすんで調べられている。	有効に調べ活動が進むように見学の視点について考えさせる。
3 4	自動車づくりのくふう	自動車生産の工程について写真資料やインターネットなどを活用して調べることができる。 ・新しい自動車の開発に自動車が生産・開発される様子やその過程での人々の工夫や努力についてわかる。	自動車の組み立ての順序、作業などの工夫を調べる。実際に工場見学をしている場合とホームページを活用したバーチャル工場見学とを選択して調べる。	自動車が生産・開発される様子やその過程での人々の工夫や努力についてわかったか。 調べ活動の中でわかったことや自分が考えたことをわかりやすくまとめることができる	工程や働いている人々の話などに注目して調べようにする。 見学カードの観点に沿って調べ、まとめるようにする。
5	自動車の部品をつくる工場	自動車の部品が生産される様子やその過程での人々の工夫や努力についてわかる。	自動車のシートやシートに使われる部品をつくる工場の仕事の様子と工夫について調べる。	生産・開発される様子やその過程での人々の工夫や努力についてわかる。	指示書に従って部品をつくっていることに目を向けて調べようにする。
6	消費者のもとへ運ばれる部品	調べ活動の中でわかったことや自分が考えたことをわかりやすくまとめることができる。	自動車をつくる部品が、ジャストインタイムで運ばれてくること、できあがった自動車は国内外に運ばれることを調べる。	調べ活動の中でわかったことや自分が考えたことをわかりやすくまとめることができる。	組み立てに必要な部品は、必要なときに必要な量だけ運ばれてくることをとらえられるようする。
7	世界に広がる工場	世界の中での日本の自動車会社の工場の発展やこれからの自動車開発について知る。	世界各地に増えている日本の自動車会社の工場の様子や、現地生産の仕組みについて調べ、日本の工業について考える。	世界の中での日本の自動車会社の工場の発展やこれからの自動車開発について理解できる。	日本の工業が世界とのつながりの中で発展してきていることに気づくようにする。
8	ハイブリッドカーの誕生	ハイブリッドカーなど、新しく開発されている自動車について興味・関心をもつ。	なぜハイブリッドカーが開発されたのか考え、話し合う。	ハイブリッドカーについて興味・関心をもち、情報を集めることができる。	ハイブリッドカーの実物から、様々な情報を集めるようにする
9 10	ハイブリッドカー開発のひみつ	環境に優しい自動車を求める消費者の要求に応えるために工場働く人々が工夫・努力していることがわかる。	新しい自動車開発の工夫や努力、これからの車について調べる。	働く人々が工夫・努力していることがわかる。	開発にかかわった人の話を中心に工夫や努力を考えるようにする。
11 12	これからの車社会	自動車などの工業生産が自分たちの生活を支えていることを考え、世界の中での日本の自動車会社の工場の発展やこれからの自動車開発について知る。	これからの自動車の開発、世の中の変容について調べ、予想を立て考える。	工業生産が自分たちの生活を支えていることを考え、将来の工業生産のについて考えることができる。	自分の生活との関わりで考えるようにする。

第6学年

1 単元指導計画 単元名 わたしたちの名鉄広見線

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	名鉄広見線に乗ってみよう	・社会見学に名鉄広見線を使い駅の様子や広見線沿線の様子を観察することができる	・名鉄広見線御嵩駅の様子を観察する ・車窓から沿線の様子や風景を観察する ・気づいたことをメモする	・御嵩駅の様子や沿線の様子に関心をもてる	・漠然と見ている児童に対しては観察の視点を与える
2	名鉄広見線の歴史を知ろう	・社会見学の様子を想起し、名鉄広見線の様子を発表し、明治から大正時代の鉄道敷設の願いを知ることができる	・社会見学でメモしたことを発表する ・明治時代に中央線が上之郷を通る予定だったことを知る ・大正時代に東鉄として御嵩まで開通したことを知る	・資料「広見線の変遷」から広見線敷設までの住民の願いを知ることができる	・資料が難しいため用語等の解説をしながら読み取らせる
3	名鉄広見線の歴史を知ろう	・昭和になり「東美線」・「名鉄」と移り変わり、亜炭の増産により広見線が栄えたことを知る	・昭和になり亜炭の出荷増により営業成績が向上したことを知る ・戦後も輸送力を向上させてきたことを知る ・その後名鉄広見線はどうなっていったか年表から考える	・資料「広見線の変遷」から戦中は広見線が栄えたことを読み取れる ・広見線の乗降客が減少していると生活体験から予想できる	・戦争以降の広見線の予想ができない児童に対しては自分の生活から考えるよう指示する
4	名鉄広見線の乗る人が減ったのはなぜ？	・住民の足として発展した広見線も乗降客が減少したことを知りその理由が自動車の普及にあることを予想できる	・名鉄広見線乗降客数の推移から昭和50年をピークに乗降客が減少していることを読み取る ・乗降客数の減少の理由を予想できる	・乗降客の推移のグラフから乗降客がピークから半減していることやその理由が説明できる	・どの駅も乗降客が減っていることと国道21号線の整備との関連から考えさせる
5	地球の環境を守るために	・御嵩町の人たちが広見線の存続を願い運動しているのは住民の足を確保することだけでなくCO2の削減にも貢献するからだということが理解できる	・どうして名鉄広見線存続運動や多額の補助金を出して存続させようとしているか理由を考える	・鉄道がなければ町が寂れてしまうことに気づく ・自動車より電車の方がCO2の排出が少ないことに気づく	・各駅の乗降客数の読み取りができない児童に対しては合計から傾向を読むようにさせる

(2)御嵩小学校

a.全体計画

御嵩小学校における学習の全体計画を表 2.3 に示す。

表 2.3(1) 御嵩小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
1	はっぱのいろがかわったよ ～みたけのあきとあそぼう～	生活科 社会科 総合的な学習の時間	みたけの身近な自然とのかかわりに関心を持って、自分なりの方法で楽しく活動することができる。 気付いたことや見つけたこと、工夫したこと等について、あいて意識をもって発表の仕方を考える。	・あきを見つけよう ・あきのおくりもので遊ぼう ・みんなで楽しもう	
2	どきどきわくわくまちたんけん ～わたしのまちをたんけんしよう～	生活科	御嵩町の人や場所、自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気づいたことや楽しかったこと等について、自分なりの方法で表現する。	・まちのひみつを見つけに行く計画をしよう ・町のひみつを見つけよう ・見つけた「まちのひみつ」を教えあおう ・たんけんの計画を立てよう ・自分が知りたい「まちのひみつ」を見つけに行こう ・「まちのひみつ」発表会をして、まち博士になろう	歩き、発見
3	みたけの森しぜんたんけん	社会科	自然豊かな「みたけの森」自然たんけんを通して、人々の願いや貴重な植物を知る。また、自分たちだけのみたけの森たんけんを通して、貴重なみたけの森の自然を守りたいという気持ちをもつとともに、環境を守ることが重要であることを伝える。	・みたけの森たんけんの計画を立てよう ・みたけの森たんけんをしよう ・みたけの森で見つけたことやわかったことをまとめよう ・みたけの森たんけんでわかったことを発表してみんなに知らせよう	
4	きょう土に伝わる願い ～乗って残そうふるさとの電車～	総合的な学習 社会科	鉄道敷設に懸ける先人の願いや努力を知り、利用客や鉄道会社の人の話を聞くことで様々な立場の人がいることに気付き、自分たちには何ができるか考え、それを他者へ発信する。	・御嵩駅から電車に乗って新しい発見をしよう ・電車に乗って分かったことや不思議に思ったことを交流しよう ・みたけ町の交通の歴史を学ぼう ・みたけの交通の歴史についてわかったことを交流しよう ・鉄道を利用している人や駅員さんは、いまどんな思いをしているのだろう 私たちには何ができるかを考えて発信しよう	広見線乗車体験 御嵩駅利用者インタビュー

表 2.3(2) 御嵩小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
5	大好き、御嵩	社会科	御嵩の身近な自然環境や社会環境、交通について、調査・観察して調べ、環境の意識を高めたり自然を守ろうとする態度を育む。 調査結果をもとに御嵩の自然環境を守るために自分にできることは何かを考え、目的に応じた方法で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・みたけの町探検計画を立てよう ・コース別に調査、見学をしよう 可児川(水質、生物など) 道(交通量、空気の汚れ) 森(植物、生物) ・調査結果をグラフや表にまとめよう ・環境のために私たちができることを考えよう ・情報発信をしよう 	川(水質、生物)、道路(交通量、排ガス)、森(植物、生物)調査
6	御嵩町の歴史の扉を開こう	社会科	御嵩町の歴史や人々の生活と「中山道」とのかかわりについて関心を持ち、見学、インタビュー、調査など多様な手法で情報を収集整理してとりまとめ、中山道と御嵩町に対する考えを発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道の史跡を見学しよう ・史跡でインタビューをしよう ・中山道と御嵩町のかかわりの課題を決めよう ・グループで調べたことをまとめよう ・中山道を歩こう 御嵩町の歴史と中山道のかかわりをグループでまとめて発表しよう	

b.授業実施状況

- ・4年：きょう土に伝わる願い～乗って残そうふるさとの電車～（総合的な学習の時間、写真2.6）
- ・5年：大好き、御嵩：交通量・空気の汚れ調査（社会科、写真2.7）



写真 2.6 御嵩駅利用者インタビュー（4年）



写真 2.7 交通量・空気の汚れ調査（5年）

c.単元指導計画

第1学年 生活科 単元指導計画 単元名「はっぱの いろが かわったよ」(全 18 時間)

(10月中旬～11下旬)

目標	ア 進んで公園の自然を観察し、身近な自然にかわったり、秋の自然物を使ったいろいろな遊びに関心をもったりして、楽しく遊ぶことができる。(関心・意欲・態度)								
	イ 秋の自然物を使って遊びを工夫してみんなで楽しんだり、思ったことや感じたことを表現したりすることができる。(思考・表現) ウ 四季の変化や、季節によって生活の様子が変わること、また、身の周りの自然物の特徴を生かして楽しく遊んだり、生活を楽しく工夫したりできることに気付く (気付き)								
視点	ウエキクケ								
内容	(5)季節の変化と生活 (6)自然や物を使った遊び								
次	1 秋をみつけよう(5)		2 秋のおくりもので遊ぼう(6)			3 みんなで楽しもう(7)			
時	1・2・3・4	5	6(本時)		7・8	9・10・11	12・13	14・15	16・17・18
ねらい	百年公園での、落ち葉や木の実などの触れ合いを通して、春や夏の自然との違いに気付くことができる。	白山神社にある秋の実や草や落ち葉を採取する活動を通して、秋を体全体で実感することができる。	自然を使った様々なおもちゃで遊ぶことで、自分の知らない遊びがあることに気付き、集めたい材料やどんな遊びがしたいか願いをもつことができる。	やりたい遊びに必要な材料を見つけるために、育っている場所に着目し活動することができる。	落ち葉や木の実の形や色を生かして作るとよいことに気付き、材料のよさを生かし工夫しておもちゃを作ることができる。	秋の自然物を使って作ったおもちゃを、みんなと遊ぶと、より楽しいことに気付き、友だちといっしょに仲良く遊ぶことができる。	作ったおもちゃで小さい子と遊ぶためには、遊び方や分担、ルールを決めるとよいことに気付き、準備ができる。	秋の自然物を生かしたおもちゃで遊ぶことを通して、遊びや遊びに使う物を工夫した自分のよさに気付き、小さい子とともに楽しむことができる。	
児童の意識	・ちがう花や虫がありそう。 ・葉っぱの色が赤や黄色だった。 ・どんぐりがあった。 ・もっとどんな秋があるのかしてみたいな。	・この花いいにおいがするね。 ・いろいろな大きさのどんぐりがあるよ。 ・階段でどんぐりを転がして遊んだよ。 ・落ち葉や木の実に遊ぶと楽しいな。	・百年公園でどんぐり笛を作ったな。 ・白山神社で葉っぱで遊んだな。 ・どんぐりごまが楽しいな。 ・どんぐりごまを自分で作ってみたいな。	・どんぐりをたくさん集めるぞ。 ・ここに、まつぼっくりがたくさんあるよ。 ・この面白い形の落ち葉はおもちゃに使えるそうだな。	・大きなどんぐりごまを作りたい。 ・落ち葉で服を作りたい。 ・丸い形のどんぐりのほうがよく回るよ。 ・紙の上から落ち葉を貼り付けるといいよ。	・僕のコマはよく回るよ。友だちとどっちがよく回るか勝負したいな。 ・友だちの作ったおもちゃは楽しいな。 ・秋は葉っぱや実がいっぱいあって、いろいろな遊びができるな。	・小さい子にも楽しんでもらいたいな。 ・僕が遊び方の説明をするよ。 ・私が手本を見せるよ。	・うまく教えてあげられるかな。 ・小さい子と一緒に楽しく遊べたよ。 ・みんなを楽しませてくれたみただけの秋の自然ですごいな。	

次 時	1 秋をみつけよう(5)		2 秋のおくりもで遊ぼう(6)			3 みんなで楽しもう(7)		
	1・2・3・4	5	6(本時)		7・8	9・10・11	12・13	14・15
学習の流れ	1.活動の約束を確認する(安全面)。 2.秋みつけをする。 3.秋の実や草、落ち葉を採取しながら交流する。	1.百年公園でみつけた秋について振り返りかえる。 2.白山神社で1回目の秋みつけをする。 3.秋の実や草、落ち葉を採取しながら交流する。	1.白山神社探検で見つけた秋について振り返りかえる。 2.おもちゃのお試し会を遊ぶ。 3.遊んでみて、白山神社の秋の自然でどんなおもちゃを作りたいか交流する。	1.活動の約束の確認する。(安全面) 2.自分が遊びたいことを振り返りかえる。 3.自然を生かして遊んだり、自分の願いにあわせて、木の実などの自然の材料を集める。	1.集めた材料を確認する。 2.プリントに作りたいおもちゃを書く。 3.自分の願いを発表する。 4.作りたいものごとのグループを作り、準備した材料を使って作る。	1.自分の作ったもので友だちと遊びたいという願いをもつ。 2.自分が作ったものを交流しながら一緒に遊ぶ。 3.秋の自然で遊んで、楽しかったことや見つけたことを振り返りかえる。 4.楽しかったことやみつけたことをプリントに書く。	1.楽しい会にするための約束を決める。 2.グループでどのように遊んでもらうか話し合う。 3.迎える会の説明の言葉を考えたり、看板を作る。 4.迎える会の練習をする。	1.楽しい会になる約束を確認する。 2.小さい子に遊んでもらう。 3.迎える会を振り返る。
評価規準・方法	ア 春・夏になかったものを進んでみつけようとしている。 会話・行動・プリント	ア 進んで自然を観察したり、気に入った草や実を楽しく集めて遊んだりしている。 行動・会話	ア 様々なおもちゃに興味をもち、白山神社探検への願いや見通しをもつことができる。 行動・つづやき・プリント	イ 自分の願いに沿って遊んだり、秋の自然をみつけ集めることができる。 行動・会話	イ 友だちのものと比べたり、何度も繰り返ししたり、試したりしながら、願いの実現に向けて工夫することができる。 行動・作品・会話	ウ みんなとともに遊ぶ楽しさや秋の自然で遊ぶ楽しさに気付いている。 行動・会話・プリント	イ 招待する小さな子のことを考えて、工夫して準備を進めることができる。 プリント・行動・会話	ア 招待した小さい子と一緒に楽しく遊んだり、遊びの準備や後片付けを進めたりしている。 行動、会話
指導・援助	・単元導入前から、朝の会で教師がみつけてきたことを話したり、児童が見つめてきたものを教室に掲示し、木の実・花・草・木などの秋みつけのための視点を与える。	・秋の草花をみつけたり、春や夏の違いに気付いている児童のつづやきを取り上げ広める。 ・活動中には、よい発見をして遊んでいる友だちの様子を紹介したり交流したりする。	・写真や実物を使って、あったものや見たことを想起させるようにする。 ・うまく遊べない児童には教師と一緒に遊びながらやり方を示す。	・児童達の意識や願いを大切にしながら、活動中に草花や木の実を取り上げたりして作りたいおもちゃのイメージをもたせる。	・イメージしやすいように作品例を掲示する。 ・活動が停滞している児童には、教師と共に活動したり、工夫して遊んでいる児童と交流したりして、遊び方や作り方がわかるようにする。	・たくさんの児童があらゆるおもちゃで遊べるように、教室環境を整える。 ・秋の草花や木の実などを使った遊びを通して、遊びの広がりを実感させていく。	・児童が小さい子と遊ぶことをイメージしやすいように、教師がモデルとなって遊び方や注意事項を提案する	・小さい子とかかわることが苦手な児童には、教師がともに活動したり声をかけたりして、かかわり方がわかるようにする。

第2学年

単元指導計画「ときどきわくわくまちたんけん」

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準・方法	指導・援助
1	「まちのひみつ」に対する興味・関心を持ち、まち探検に出かけて探す意欲を高めることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 友達や教師の知っている「まちのひみつ」を聞く。 「まちのひみつ」を見つけに行く計画をしよう。 「まちのひみつ」見つけの活動内容を知る。 探検の約束をする。 ・交通安全について ・活動の内容 	<p>「まちのひみつ」に対する興味・関心を持ち、まち探検に出かけて探す意欲を高めている。</p> <p>【親しむ】 (会話・発表)</p>	<p>・教師がまちで見つけた、子どもが興味をもちそうなものを「まちのひみつ」として写真で提示し、「ひみつ」を探すための視点を与える。</p>
2 3	探検に出かけた御嵩駅東側のまちの建物、人、道路、自然などに目を向け、「まちのひみつ」を探すことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 活動の約束を確認する。 「まちのひみつ」を見つけよう。 「まちのひみつ」見つけの探検を行う。 ・学級ごとに並んで、担任とともにまちを歩き、建物・人・道路・自然について見つけたことをメモする。 	<p>まちの中の人、店、公共物や公共施設をよく見て歩き、「まちのひみつ」を探している。</p> <p>【親しむ】 (行動、メモ)</p>	<p>・子どもたちの安全に十分留意して行動する。</p> <p>・子どもたちが見つけた「まちのひみつ」を紹介しながら、建物や人、道路に注目させる。</p>
4	まちで興味をもった人や場所、出来事を「まちのひみつ」として、カードにかくことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 前時の活動を振り返る。 見つけた「まちのひみつ」をカードにかこう。 たんけんメモから、自分が見つけた「まちのひみつ」をカードに絵や文でかく。 カードを見せながら、隣の子に「まちのひみつ」を教える。 	<p>まちで見つけたことや興味をもったことを、絵や文を使ってカードにかくことができる。</p> <p>【見つけ・考える】 (カード、会話)</p>	<p>・写真や地図を使って、行った場所や見たことを想起させるようにする。</p>
5 本 時	「まちのひみつ」を教え合うことで、まちには、自分の知らないこともあり、行ってみたい場所や見てみたいことを見つければ、もう一度探検へ行ってみようという意欲をもつことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 前時の活動を振り返る。 見つけた「まちのひみつ」を教え合おう。 見つけた「まちのひみつ」を発表する。 探検したり、「まちのひみつマップ」にまとめたことについて話をする。 自分でも行ってみたい場所や見てみたいこと、ほかにも「まちのひみつ」がありそうな場所や思いをプリントに書いて話す。(ペア→全体) まち探検への意欲を高める。 	<p>自分の見つけたことを積極的に話している。</p> <p>【親しむ】 (発表・つぶやき)</p> <p>自分が行ってみたい場所や見てみたいことを見つけている。</p> <p>【見つけ・考える】 (プリント・会話・発表)</p>	<p>・発表した子に付け足しがあれば発表させて内容を深める。また、問い返しや切り返しを行い、身近な場所でありながら今まで自分が知らなかったものへの興味・関心を高めさせる。</p> <p>・プリントにくわしく見てみたいことや聞いてみたいことを全員に書かせる。</p>

6	友達と行ってみたい場所を話し合ったり、持ち物を準備したり、探検に行く際のルールやマナーを考えたりして、まち探検に行く計画を立てることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時の活動を振り返る。 2 <u>たんけんの計画を立てよう。</u> 3 探検したい場所を出し合い、グループで話し合う。 ・探検したい場所と理由を話す。 ・探検する場所（お店3つ）を決める。 ・探検先でしたいことを考え、見たいこと、聞きたいことをプリントに書く。 	<p>行きたい場所や探検方法について進んで話し合い、探検の計画を立てている。</p> <p>【見つけ・考える】 (会話・プリント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学級で作成した「まちのひみつ」を貼った地域マップを掲示しておき、まち探検への意欲を高める。 ・どんなものが見たいのか、何を質問したいのか、探検場所での目的を明確にさせる。
7	まちに出て、人と関わりながら探検を行うには、安全面やマナー、友達との協力を考えて計画や準備を行う必要があることに気づくことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校たんけんでの約束を振り返る。 2 <u>まち探検の約束を考えよう。</u> 3 グループでまちを歩くときの約束を考える。 ・交通安全について（危険箇所の確認） ・不審者に会った場合の対応について ・自分勝手な行動をしない 4 お店の中での約束を考え、確認する。 5 探検のコースを決め、道のりを地図プリントにかき、気を付ける場所をグループで確認する。 	<p>安全面やマナー、友達との協力などを考えて計画や準備を行う必要があることに気づいている。</p> <p>【見つけ・考える】 (会話、プリント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探検中に気をつけること、特に安全に関わることは、繰り返し指導する。 ・探検先でのマナーについて、お店の人の気持ちになって考えさせる。
8	店の人とインタビューする人の役に分かれて劇をしながら練習することを通して、探検でまちの人とかかわるときのマナーや約束を身に付けることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 お店の中でのマナーや約束を確認する。 2 <u>お店の人にインタビューする練習をしよう。</u> 3 お店の人の気持ちを考えて、質問する言葉を書く。 4 お店の人とインタビューする人に分かれてインタビュー劇をする。 5 劇をして気づいたことをグループで話し合い、言葉を直したり、付け加えたりする。 	<p>お店の人の気持ちを考え、気持ちのよい挨拶、適切な言葉遣いや行動を考えたりしている。</p> <p>【見つけ・考える】 (発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や言葉遣いによって、お店の人がどんな気持ちになるかを考えさせ、適切な話し方ができるように指導する。 ・劇では、お店のマナーや約束も意識して演技させ、身に付けられるようにする。
9 10 11 12	自分たちで立てた計画に基づいて、グループで協力しながら、施設や人々などとかかわりを持ち、まち探検を楽しむことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動の約束の確認をする。(安全面) 2 <u>自分が知りたい「まちのひみつ」を見つげに行こう。</u> 3 学級ごとに並んで、蟹薬師まで歩く。 4 交通安全を考えながら、グループで歩く。 5 それぞれのお店で、計画した活動を行う。 ・あいさつをきちんと行い、丁寧な言葉遣いでインタビューをする。 ・聞いたことをメモする。 ・約束の時間までに、集合場所（蟹薬師）まで戻ってくる。 6 学校で戻り、メモから見つけたことをプリントにかく。 ・探検したお店の様子 ・見つけたことや会った人の様子 ・お店の人から聞いたこと 	<p>グループの友達と協力しながら探検を楽しみ、まちのひとに進んで挨拶をしたり、質問したりし、積極的にかわろうとしている。</p> <p>【働きかける】 (行動、会話)</p> <p>これまでに気づけなかったまちの人や場所について気づいている。</p> <p>【見つけ・考える】 (探検メモ、プリント、会話)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士の連絡を密にし、子どもたちの安全を確保する。 ・保護者がボランティアの方に事前に活動内容を伝え、危険が予想される場所に立ってもらい、子どもたちの安全を確認してもらう。 ・交通ルールやお店でのマナーなどについて、不適切な行動に対しては、その場で指導する。

				<ul style="list-style-type: none"> ・見つけたことや気づいたことは、メモをとるよう声をかけ、あとでカードに表現する際の手がかりとして活用させる。
13 14	<p>探検して気づいたことや見つけたことを、聞く人にわかりやすい発表方法を選び、工夫してまとめることができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 まち探検の様子を振り返る。 2 「まちのひみつ」と発表会の準備をしよう。 3 グループで、どんなことを、どのように発表するか話し合う。 4 発表の言葉を書いたり、使うものを作ったりする。 5 発表の練習をする。 	<p>聞く人にわかりやすい発表になるように、絵や道具を用いたり、話し方を考えたりして、工夫してまとめることができる。</p> <p>【見つけ・考える】 (プリント、会話、行動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例を参照させ、自分たちの発表したい内容に合った表現方法を選ぶように声をかける。 ・練習をグループ内で見合い、気づいたことを教え合うようにする。 ・練習をもとに、発表に使うものを手直しするように助言する。
15	<p>まち探検で見つけたことや気づいたことを自分なりの方法で表現し、友達と交流しながら自分の住んでいるまちやまちの人に愛着をもつことができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 楽しい発表会になる話し方、聞き方を確認する。 2 「まちのひみつ」発表会をして、まち博士になる。 3 グループごとに探検したことを発表する。 4 自分の発表を振り返る。 	<p>自分で発表したり、友達の発表を聞いたりして、自分の、まちにはよいところがたくさんあることに気づいている。</p> <p>【見つけ・考える】 (発表、会話)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が見やすいような場の設定をしたり、発表の順番やきまりを板書しておいたりして、楽しい発表会になるように環境を整える。 ・聞き手が質問したり、感想を言ったりするようにして、単調な発表会にならないようにする。

第4学年

		ねらい	学習活動	評価規準・方法
第一次	1	ポスターをもとに名鉄広見線の廃線問題に関心をもち、鉄道について学ぼうと意欲をもつことができる。	1.ポスターから知っていることを話し合う。 2.課題 <u>御嵩から電車がなくなってしまってもいいだろうか。</u> 3.自分の考えを話し合う。 4.単元の流れを確認する。 ・乗車体験 歴史を学ぶ 調査する 考えを発信する	廃線問題に関心をもち、思ったことを進んで発表している。(発表)[関心・意欲・態度]
	2 3	実際に御嵩駅から電車に乗ってその便利さに気付いたり、新しい発見をしたりすることができる。	1.御嵩駅やそこを走る鉄道について知っていることを話し合う。 2.課題 <u>みたけ駅から電車に乗って新しい発見をしよう。</u> 3.電車に乗る活動をし、気付いたことをメモする。 ・車窓からの景色、乗客の様子、移動時間など	乗車体験の中で、気付いたことや駅員の話を進んでメモしている。(ノート) [思考・判断]
	4	気付いたことやわかったことを交流することで、調べていく意欲をもつことができる。	1.前時の活動を振り返る。 2.課題 <u>電車に乗ってわかったことや不思議に思ったことなどを交流しよう。</u> 3.自分の考えをまとめ、交流し合う。 4.線路はどのようにしかれたのか予想を立てる。 ・電車があると便利だからしくことに決めたのだろうか。 ・ダムみたいに反対した人はいなかったのかな。	メモを元に、自分の考えを仲間に話している。(グループ交流の様子・発表) [技能・表現]
	第二次	5	御嵩町の交通の歴史を知り、それぞれの乗り物について興味を持つことができる。	1.前時を振り返る。 2.課題 <u>御嵩町の交通の歴史について知ろう。</u> 3.トテ馬車、乗合自動車、軽便鉄道、電車というような、御嵩町の交通の変遷を知り、それぞれの乗り物に興味を持つ。 ・どれくらい時間がかかったのかな。何人乗れたのかな。 ・鉄道が敷かれる前は、大変だっただろうな。
6		可児郡開発の父と呼ばれている平井信四郎さんの御嵩町での功績を知り、御嵩町の歴史についてももっとくわしく調べたいと意欲を持つことができる。	1.前時を振り返る。 2.年表から平井信四郎さんの御嵩での功績を知る。 3.課題 <u>どうして平井信四郎さんは御嵩まで鉄道を敷いたのだろうか。</u> ・トテ馬車や乗り合い自動車は遅いから、きっと大変だったから鉄道を敷いたのかな。 ・みんなの生活が便利になるためにがんばったのだと思う。 4.御嵩町の交通の歴史についてももっとくわしく調べたいという意欲をもつ。	信四郎さんの御嵩での功績をまとめている(ノート)[知識・理解] 御嵩町の交通の歴史について調べたいことを見つけ発表している。[関心・意欲・態度]

	ねらい	学習活動	評価規準・方法
7 8 9 10	自分たちの調べたいことに必要な情報を集め、発表に向けて準備をすることができる。	<p>1. グループごとに課題を持ち、調べ学習を行う。 グループで調べること</p> <p>・ どうして御嵩に鉄道をしいたのだろう。</p> <p>・ 鉄道が通ると町はどのようになっていくのだろうか。</p> <p>・ 鉄道を敷いて人々の生活はどうか変わったか。</p> <p>・ 鉄道が敷かれる前の乗り物について詳しく調べる。</p> <p>・ 鉄道を敷くことに反対した人がいたのはなぜだろう。</p> <p>・ 東濃鉄道について、もっと詳しく調べる。</p> <p>・ 東美鉄道について、もっと詳しく調べる。</p> <p>・ 信四郎さんが鉄道以外に開発したことはなんだろうか。</p> <p>3. 資料を集め、整理する。</p> <p>・ 中山道でやっている鉄道の歴史の資料を見てみよう。</p> <p>・ 町史や平井信四郎伝でもっとくわしく調べてみたいな。</p> <p>・ 鉄道が敷かれると町の人々の生活がこんなに変わるんだ。</p> <p>4. レイアウトを考え、発表用紙にまとめる。</p>	資料をもとに、御嵩の交通の歴史やそれに尽くした平井信四郎さんについて理解している。(ノート・調べ学習の様子)[知識・理解] 調べたことやそれをもとに考えたことを分かりやすくまとめている。(発表用紙)[技能・表現]
11 12 本時	調べたことを分かりやすく発表することができる。 他グループの調べたことの発表から、御嵩の交通についての自分の考えを持つことができる。	<p>1. 前時の発表を振り返る。</p> <p>2. 課題 仲間の発表を通して、御嵩の交通の歴史について分かったことや感じたことを交流しよう。</p> <p>3. 調べ学習でまとめたことを発表する。</p> <p>4. グループの発表から、御嵩の交通についての自分の考えを持つ。</p> <p>・ 平井信四郎さんは地域のためにいろいろと尽くしたので、石碑や銅像ができたのだな。</p> <p>・ 混雑時には貨物車にまで人を乗せて運んだなんて、すごいたくさんの人が鉄道を利用ってことだな。</p> <p>・ 多治見の町の変化の様子を見ると、なんとかして御嵩まで鉄道を敷こうとする信四郎さんの気持ちがわかるな。</p> <p>・ 鉄道を敷くことに反対した人がいるなんて、びっくりだなあ。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p>	相手を意識して分かりやすく発表をしている。(発表の様子)[技能・表現] 仲間の発表から鉄道敷設に懸ける人々の願いや努力について理解を深めている。(ノート・発表)[思考・判断]
13	鉄道を敷いた後、人々の生活はどのように変わったのかを、地域に住むお年寄りのお話から理解することができる。	<p>1. 前時を振り返る。</p> <p>2. 課題 鉄道をしいたことで、人々の生活はどうか変わったのだろうか。</p> <p>3. 上之郷在住の鍵山さん(85才)の話聞く。</p> <p>・ 当時電車に乗ることはみんなの憧れだった。御嵩駅があふれ出るほどの人で埋め尽くされていた。御嵩の町のお店も大変賑やかで、品物が売り切れていた。</p> <p>・ 電車もいつも満員で、荷台に乗る日もあった。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>便利な鉄道が敷かれ、御嵩の町はとても賑やかだった。当時の人達にとって、電車は憧れの存在だった。そんなふるさとの電車を大事にしたいな。</p>	講話をもとに、鉄道を敷いた後、人々の生活はどのように変化したのか理解している。(ノート・発表)[知識・理解]

	ねらい	学習活動	評価規準・方法	
第三次	14	現在の鉄道利用の様子と利用客や駅員の思いを知ることができる。	<p>1. 現在の鉄道利用の様子を知る。</p> <p>2. 課題 <u>鉄道を利用している人や駅員さんは、今どんな思いをしているのだろうか。</u></p> <p>3. 出口調査を行う。 ・御嵩駅の改札口付近で出口調査を行う。 (頻度・時間帯・理由など)</p> <p>4. 駅員さんの話を聞く。 ・やめるのは簡単だが、みんなが乗ってくれるなら残したい。無人駅にして人件費を削減するなど名鉄も努力している。だからみんなに乗ってほしい。</p> <p>5. 学習のまとめをする。 車に乗れる人はいいいけど、乗れない人達にとって電車は大切な乗り物なのだ。駅員さんたちも努力しているし乗ってほしい。このまま廃線になってしまっているのかな。</p>	<p>利用客の思いを知るために、進んでインタビューしている。(インタビューの様子)[関心・意欲・態度]</p> <p>利用客や駅員の思いを知り、ノートにまとめている。(ノート)[思考・判断]</p>
	15	御嵩町役場の方の話を聞き、思いを知ることができる。	<p>1. 前時を振り返る。</p> <p>2. 課題 <u>御嵩町としては、今後どうしていきたいのだろうか。</u></p> <p>3. 御嵩町役場の広瀬さんの話を聞く。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p>	話を聞いてわかったことをノートにまとめている。(ノート・発表)[思考・判断]
	16 17 18	自分たちに何ができるか考え、考えたことを発信することができる。	<p>1. 前時を振り返る。</p> <p>2. 課題 <u>私たちには何ができるか考えて発信しよう。</u></p> <p>3. ポスターを作る。 ・みんなに自分の考えを発信するポスターを作る。 ・考えを発信するために原稿を考える。</p> <p>4. 単元のまとめをする。</p>	<p>自分たちに何ができるか考えている。(ノート・発表)[思考・判断]</p> <p>自分の考えをポスターに表わす。(ポスター)[技能・表現]</p>

第5学年

時	ねらい	学習活動	評価規準	教科等の関連
1	・御嵩の町探検について意欲を持ち、コースを決定することができる。	総合的な学習のねらいと進め方を知る。 3つのテーマ(川、森、道)からコースを決定する。	・御嵩の町探検について意欲を持ち、コースを決定することができる (関心・意欲・態度)	情報学習 国語...「人とものとの付き合い方」 道徳...「ひとふみ十年」
2	・第1回御嵩の町探検の計画を立てることができる。	探検グループを作る。 探検ルートを確認する。 探検に必要な持ち物を確認する。	・(知識・理解)	国語...「インタビュー名人になるう」 社会...「自動車を作る工業」
3	・第1回御嵩の町探検で	取り組みたいテーマ別に分かれ、学習計画を立てる。 ・活動グループ分け、テーマ設定、調べる方法、発表方法など	・学習計画を見通しを持って立てることができる。(関心・意欲)	総合...「菊作り」
	<p style="text-align: center;">可児川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可児川の水質調査。 (透視度、パックテスト、におい、色) ・可児川の生き物調査。(水生昆虫、魚) ・可児川の昔の様子を名人さんに聞く。 (魚の捕り方、水質変化) ・生き物の飼育方調べ。 (えさ、水槽の管理) ・可児川水族館開館 ・きれいな可児川を守るために自分たちができることを考える。 	<p style="text-align: center;">道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気の調べ方を調べる。 ・校区の地図を使って空気の汚れ具合を調べる。 ・御嵩の森の空気調べ。 ・空気の汚れの原因やこのままだとどうなるのか調べる。 	<p style="text-align: center;">森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町にはどんな植物が生息しているか調べる。 ・オオタカが住みやすい環境を考える。そのために、自分たちに何ができるのかを考える。 	情報学習 学級活動... 道徳...「世界初のトンボ保護区づくり」 情報学習
4, 5, 6	・調査をしたり、話を聞いたりして、御嵩町の環境を知ることができる。	御嵩の森調査・見学、可児川調査、校区内の空気調査を行う。 ・御嵩の森名人さんのお話を聞いたり、御嵩の森を調査したりする。	・御嵩の環境を知り、分かったことをプリントに書いている。 (知識・理解)	社会...「放送局の働き」
7, 8	・調査・見学から分かったことをグラフや表にまとめることができる。	調査・見学の振り返りをする。 ・調査・見学から分かったことを交流して、図やグラフ、表にまとめる。	・調査・見学から分かったことを分かりやすくまとめている。 (技能・表現)	社会...「新聞ができるまで・情報と社会」
9, 10	・調査・見学を通して、自分の学習課題を決め、課題追究に向けての調べる方法を考えることができる。	調査・見学の結果から、自分たちができる取り組みを考え、提案し、実行できるようにする。 ・御嵩の環境を改善したり、守ったりするために自分たちができる取り組みを考える。	・自分がさらに調べたいと思うことから学習課題を立て、自分たちができる取り組みを考えている。 (思考・判断)	国語...「工夫して発信しよう」 社会...「私たちの生活と環境」 社会...「私たちの生活と森林」
11, 12	・必要な情報を収集・精選しながら発表に向けて準備をすることができる。	テーマ別にグループで発表準備を行う。 ・インターネット、図書館、家庭学習や今までの調査などから必要な情報を収集し、まとめて発表の準備をする。	・調べたことを分かりやすくまとめ、発表の準備をしている。 (思考・判断)	

時	ねらい	学習活動	評価規準	教科等の関連
13	・自分たちが調べてきたことを分かりやすく発表することができる。	発表練習を行う。 ・「相手に伝える」という意識を持ち、様々な方法を使って分かりやすく発表する。 ・グループの発表を聞いて、話し方、資料提示の仕方について助言をし合う。	・相手を意識して、分かりやすく発表している。(技能・表現) ・仲間の発表から、環境のために自分ができることについて考えている。 (思考・判断)	
14、15 (本時)	・自分たちが調べてきたことを分かりやすく発表し、環境のために自分達ができることを仲間や先生に訴える。	学年発表会を行う。 ・「相手に伝える」という意識を持ち、様々な方法を使って分かりやすく発表する。 ・グループの発表から、自分なりの感想や意見を持てるように聴く。	・御嵩の環境問題について、意欲的に話を聞いている。 (関心・意欲)	
16、17、 18	・全校、御嵩町に情報を発信し、環境のためにできることを呼びかける。	4年生に発表会を行う。可児ッテ、ラスパ、中山道御嵩館などに取り組みを訴える宣伝をする。	・相手を意識して分かりやすく発表している。 (技能・表現)	
19	・環境フェスタに向けての発表準備をすることができる。			

第6学年

時	ねらい	学習活動	評価規準	教科等の関連
1	・愚溪寺に対する興味を持ち、見学への意欲を高める。	○愚溪寺見学のオリエンテーション ・愚溪寺建立に関する歴史的な背景を知る。庭園、多宝塔など	・愚溪寺見学に向けて、意欲的に話を聞いている。(関心・意欲)	社会…「聖武天皇と奈良の大仏」 道徳…「神話を伝える言葉」
2, 3	・話を聞いたり、寺を見たりして、愚溪寺や御嵩町の歴史を知ることができる。	○愚溪寺見学 ・住職さんのお話を聞いたり、寺、多宝塔を見たりする。	・愚溪寺の歴史を知り、分かったことをプリントに書いている。(知識・理解)	
4	・願興寺に対する興味を持ち、見学への意欲を高める。	○願興寺見学のオリエンテーション ・願興寺建立に関する歴史的な背景を知る。薬師如来像、最澄など	・願興寺見学に向けて、意欲的に話を聞いている。(関心・意欲)	
5, 6	・話を聞いたり、寺を見たりして、願興寺や御嵩町の歴史を知ることができる。	○願興寺見学 ・住職さんのお話を聞いたり、境内、敷地の周りを見たりする。	・願興寺の歴史を知り、分かったことをプリントに書いている。(知識・理解)	

7	・二つの寺の見学から分かったことを自分なりに新聞にして紹介することができる。	○愚溪寺、願興寺見学の振り返り ・寺の見学から分かったことを交流して、自分が特に印象に残っていることを新聞にまとめる。	・お寺の見学から分かったことを分かりやすく新聞にまとめている。(技能・表現)	国語…「短歌・俳句の世界」
8	・寺の見学を通して、自分の学習課題を決め、課題追究に向けての調べる方法を考えることができる。	○「愚溪寺」、「願興寺」をテーマに学習課題を立てる ・「愚溪寺」「願興寺」見学から、自分をもっと深く調べてみたいという思いから学習課題を決め、調べる方法を考える。	・自分がさらに調べたいと思うことから学習課題を立て、調べる方法を考えている。(思考・判断)	国語…「ガイドブックを作ろう」
9, 10	・必要な情報を収集・精選しながら発表に向けて準備をすることができる。	○テーマ別にグループで調べ学習を行う ・インターネット、図書館、家庭学習などから必要な情報を収集し、まとめて発表の準備をする。	・調べたことを分かりやすくまとめ、発表の準備をしている。(思考・判断)	情報学習 学級活動… 図書館の使い方
11, 12	・自分たちが調べたことを分かりやすく発表することができる。	○学級発表会 ・「相手に伝える」という意識を持ち、様々な方法を使って分かりやすく発表する。 ・グループの発表から、自分なりの感想や意見を持てるように聴く。	・相手を意識して、分かりやすく発表している。(技能・表現) ・仲間の発表から、昔や今の生活と「道」との関係について考えている。(思考・判断)	理科…「動物のからだのはたらき」
13	・中山道に対する興味を持ち、見学への意欲を高める。	○中山道見学のオリエンテーション ・中山道開通に関する歴史的な背景を知る。御嵩宿、利用など	・中山道見学に向けて、意欲的に話を聞いている。(関心・意欲)	社会…「3人の武将と全国統一」
14～17	・話を聞いたり、道を歩いたりして、中山道の歴史、当時の人々の生活を考えることができる。	○中山道見学 ・実際に上之郷の中山道を歩き、脇に残る宿などの歴史的資料にも目をやり、御嵩町と中山道の関わりに関心を持つ。 ・史歴会の方の話聞く。	・見たり聞いたりして中山道の歴史を知り、分かったことをプリントに書いている。(知識・理解)	社会…「徳川家光と江戸幕府」 情報学習 学級活動… 図書館の使い方
18	・中山道見学を通して、自分の学習課題を作り、課題追究に向けての調べる方法を考えることができる。	○「中山道」をテーマに学習課題を立てる ・「中山道」見学から、自分をもっと深く調べてみたいという思いから学習課題を作り、調べる方法を考える。 インターネット、インタビュー、社会科副読本、家庭学習など	・自分がさらに調べたいと思うことから学習課題を立て、調べる方法を考えている。(思考・判断)	
19～21	・必要な情報を収集・精選しながら発表に向けて準備をすることができる。	○テーマ別にグループで調べ学習を行う ・インターネット、図書館、家庭学習などから必要な情報を収集し、まとめて発表の準備をする。	・調べたことを分かりやすくまとめ、発表の準備をしている。(思考・判断)	

2 2 ~ 2 5	・仲間の発表から、中山道に対する自分の考えを持ち、御嵩町の歴史との関わりに気づくことができる。	○学級発表会 ・「相手に伝える」という意識を持ち、様々な方法を使って分かりやすく発表する。 ・グループの発表から、自分なりの感想や意見を持てるように聴く。	・相手を意識して、分かりやすく発表している。(技能・表現) ・仲間の発表から、「中山道」と「御嵩町」との関わりについて考えている。 (思考・判断)	
2 6	・御嵩町の歴史を振り返り、日本の歴史に興味を持つことができる。	○1学期の学習をまとめ、2学期にある修学旅行へとつなげる ・御嵩町にも日本に誇れるたくさんの歴史的なものがあることに気づき、さらに日本の歴史についても調べたいという意欲を持つ。	・御嵩町の歴史を振り返り、修学旅行に向けての意欲を持つことができる。 (関心・意欲)	修学旅行

(3)伏見小学校

a.全体計画

伏見小学校における学習の全体計画を表 2.4 に示す。

表 2.4 伏見小学校における交通・環境学習の概要

学年	单元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
1					
2	ぼうけん、はっけん、まちたんけん ~町となかよし~	生活科	身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域の良さに気付き、愛着を持つとともに、集団や社会の一員としての活動の楽しさを表現して伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・町の様子を振り返ってカードに書こう ・行ってみたい場所を決めて、たんけん計画を立てよう ・町ともっとなかよくなる(まちたんけん) ・まちのすてきを発表しよう 	広見線体験乗車
3	わたしたちのまちはどんなまち？	生活科	町の様子に関心を持ち、町の探検を通して町の様子を調べ、地図にあらわして、地域の特色を考えて伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・地図に通学路を書き込んで、町の様子を調べよう ・町の探検計画を立てよう ・町の探検をしよう(探検・インタビュー) ・絵地図をつくって伝えよう 	
4					
5					
6					

b.授業実施状況

- ・2年：ぼうけん、はっけん、まちたんけん ～町となかよし～（生活科、写真2.8）



写真2.8 まちたんけんの様子

2年生 生活科年間指導計画

<p>目標 1 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさの気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動を考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>2 自分と身近な動物や植物などの自然との関わりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。</p> <p>3 身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活できるようにする。</p> <p>4 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気づいたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。</p>
--

3の目標が新しく加えられた。 ———— の部分が加えられた。
 年間指導計画 全105時間

月	単元名・題材名	学 習 内 容 □ 単元目標			留 意 点							
		内容・時	評価の観点	評価規準の具体		評価の方法	指 導 ・ 援 助 等					
4 ・ 5	1 ぼうけん、はっけん、町たんけん 18時間 + 3時間	18時間 + 3時間	<ul style="list-style-type: none"> 1 安全に注意しながら通学路を歩き、春の自然や人々とそのくらしの様子を見たり調べたりすることができる。 2 地域の自然や人々、公共施設とのかかわりを広げ、深めることができる。 3 町の探検で見つけたこと、やってみたいことなどをまとめて紹介し合い、もう一度行ってみたいところなどを見つけることができる。 4 野菜を栽培することを通して、その成長の様子に関心をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全を考えながら、通学路を歩く。 ・通学路で春の生き物や草花、人々のくらしの様子などを観察する。 ・会う人と話をしたり、働いている人の様子を観察したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に注意しながら行動している。 ・草花や生き物、人々のくらしの様子などを進んで探し、調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察カード 	1年生と学校探検 (1年担任と打ち合わせる)					
								・つうがくるで見つけよう 3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がこれまでに知っている町の秘密を友達と話し合う。 ・話し合いの中で行ってみたい場所や見たいものについて話し合う。 ・町の探検の計画を立てて、準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心をもって探検の準備をしようとしている。 ・自分が知っている町の秘密を友達と話し合うことができる。 ・町には自分が知らない秘密がたくさんあることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発言カード 	伏見地区の商店と打ち合わせ 下見&関心ある店の探検&まとめ 訪問先へのお礼とお礼
								・町をたんけんしよう 6	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、探検計画にそって探検に行く。 ・探検した場所で気づいたことを「見つけたよカード」などに記録しておく。 ・探検で会った人にインタビューして話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の自然や人々との関わりを考え関わりを広げようとしている。 ・町探検をして、人々や場所、自然などに関わることができる。 ・町の自然や施設、人々の様子で気づいたことを「見つけたよカード」に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察カード ・カード 	保護者へ応援依頼をする。 道路横断,写真など
								・やさいをそだてよう 3	<ul style="list-style-type: none"> ・育ててみたい野菜を決める。 ・野菜の育て方を調べたり、農家の人に聞いたりする。 ・野菜の成長の様子を「見つけたよカード」や「やさいしんぶん」にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜作りに関心を持ち、育て方を調べたり計画を立てたりしようとしている。 ・野菜の成長に期待をしながら種蒔きや苗植えをしようとしている ・調べたことや野菜の成長で気づいたことをまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・行動観察カード 	本郷の渡辺さんと連絡を取り、 サツマイモの協力をお願いして おく。6/20ころ
								・わたしの町をしょうかいしよう3	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検をして発見したり気づいたりしたことの中で、紹介したいことについてまとめ方や表現の仕方を話し合う。 ・紹介するための準備を協力して行う。 ・紹介し合う。 ・紹介されたことを聞いて、もう一度行ってみたい場所について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の町や人々に愛着をもっている。 ・町の様子についてクイズや絵地図などで分かりやすく発表できる ・町の自然や施設、人々の様子などが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発表カード 	発表会：祖父母参観日にできるとよい クイズに答えてもらったり感想を言ってもらおうとよい
									<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 ・思考・表現 ・気づき 			事前準備(クイズや絵・劇など)をする。 はきはき話す練習をしておく。

月	単元名・題材名	学 習 内 容 □ 単元目標			留 意 点			
		内容・時	評価の観点	評価規準の具体		評価の方法	指 導 ・ 援 助 等	
6 7	2 生きものともだち 12時間+3時間	・生きものをさがしにいこう 3	1 生き物探しを通して、生き物の生育環境の特徴に気づき、生き物への関心を深める 2 生き物の飼育を通して、生態や成長の様子等に気づき、生き物に親しみをもつとともに、生命を大切にすることができる。 3 生き物ランドを作り、生き物の成長過程を振り返ることによって、自分たちと同じように生命をもって成長していることに気づくことができる。 4 世話をしていた野菜の成長の様子を振り返り、表現するとともに、収穫を喜ぶことができる。			可児川(田の水路)自然にふれる。 川での活動に際した安全指導 (ザリガニ、カブトエビ、オタマジャクシなど) 保護者へ応援依頼(道路横断、写真など)		
			・生きものともだちになろう 3	関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・聞いたり調べたりしながら、生き物探しをしようとしている。 ・友達と協力して生き物を探し、採集することができる。 ・生き物には、それぞれに住む場所の特徴があることに気づく。		発言 行動観察 カード	安全指導を行う。 水の生き物の扱い方を考えさせる。 持ち物入れ物、捕まえる道具、履き物など)
				・生き物を採集してきた場所の様子について思い出しながら、どのようなすみかをつくるか話し合う。 ・図書館の本やパソコンなどを使って生き物の育て方を調べ、作ったすみかを直したりする。 ・えさをやるなどの世話を継続して行う。 ・飼育している生き物の動きや成長の様子を観察し、絵カードなどにかく。				
				関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・生き物の身になって、進んで世話をしようとしている。 ・採集してきた場所と関連させてすみか作り等ができる。 ・採集してきた生き物の動きや成長で新たな発見をしている。		行動観察 活動 カード	餌をやりすぎない。 こまめに水替えをさせる。 様子をよく観察し記録させる。
				・生き物そのものや生き物とのかかわり、気づき等を表現した作品を展示した「生き物ランド」を作る。 ・異学年の友達に作った生き物ランドを見てもらう。 ・飼い続けることが難しい生き物は、採集した場所に返す。				
				思考・表現 気づき	・生き物の成長の喜びを工夫して表現したり、展示したりできる。 ・生き物の世話を通して、生き物も自分と同じように生命をもち、成長、変化していることが分かる。		生き物ランド カード	生命を見つめ、生き物の気持ちになって世話させる。 喜びを、絵や文で表現させる。
				・できた野菜を大切にとりいれる。 ・収穫の様子や喜び、それまでの世話と成長の様子などを振り返り、新聞やカードにまとめ、お世話になった人にも伝える。			ミニトマトなどの夏休みの世話と持ち帰りを家庭へお願いする。	
				関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・成長を喜びながら収穫しようとしている。 ・世話と成長の様子を振り返り、自分なりにまとめることができる ・世話の仕方や成長の様子が分かる。		行動観察・発言 カード・作品 カード	水やりを忘れないよう支援する サラダパーティがみんなできるとよい。

月	単元名・題材名	学 習 内 容 □ 単元目標			留 意 点
		内容・時	評価の観点	評価規準の具体	
9 ・ 10 ・ 11	3 町と なかよし 18時間+6時間		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 1 公共物や公共施設を正しく利用することができる。 2 地域の人々や公共施設などのかかわり、自然や行事、暮らしについて調べるとともに、調べたり、かかわったりして気づいたことを工夫して表現し、教え合うことができる。 3 自分たちで育てた野菜の収穫を喜びを、自分なりの方法で表現することができる。 </div>		
	・なつの 町の よう すを おしえあおう 3		・夏休みの思い出を発表し、夏の町の様子を振り返る。 ・夏の町の様子をカードにかいて紹介し合う。 ・友達のカードの中から気になったカードを選び、詳しく説明してもらい、自分でしてみたいことを交流する。		クリーンデーで可児川を清掃する 名鉄電車に乗って生活科見学 (御嵩館?&モスキーパーク) 切符を買う、乗り方とマナー指導
	・町と もっと なかよくなるう 6	関心・意欲・態度	・春の町探検の体験を生かして、夏休みや放課後での地域との関わりに関心を示し、願いを伝えようとしている。	発言・カード	
			・行ってみたい場所について話し合い、グループごとに役割分担をする。 ・探検する場所を地図で確認し、調べてくることを話し合う。乗り物に乗って行く場合は、その利用方法も調べる。 ・約束を守って、楽しく探検する。		
		関心・意欲・態度 思考・表現	・どこでどんなことを聞いたり調べたり、やってみたりしたいかという自分なりの思いや願いをもとうとしている。 ・いろいろな人や場所との関わりを広げたり深めたりしながら、探検することができる。	発言・カード	
	見つけにいこう 6		・春、夏のころと比べて、変わってきた町の様子について気づいたことを発表し、秋の町探検の計画を立てる。 ・グループごとに、秋の町の様子を調べに行く。 ・春から育ててきた野菜を収穫し、収穫の喜びや思いをまとめる。		サツマイモの成長観察と収穫 サツマイモのおやつ作り (おにまん、スイートポテトなど) 1・5年生あすなるに プレゼントする 5年には感謝の手紙を添える
・町の すてきを はっぴょうしよう 3		関心・意欲・態度 思考・表現	・地域の中の秋見つけを楽しもうとしている。 ・地域や自然の人々の暮らしの中からもいろいろな秋を見つげることができる。	行動観察・発言 カード	草木の変化、木ノ実に目を向けさせる。学校のドングリや紅葉の美しさにふれさせる。
			・探検のグループごとに、紹介する内容や方法を決める。 ・紹介するときを使うものを準備する。 ・グループごとに発表する。		
		関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・地域のよさを見つげたり教えたりしようとしている。 ・地域のよさを工夫して表現することができる。 ・これまで知らなかった地域のいろいろなよさが分かる。	発言 発表会 カード	ものを見せて大きな声で発表できるようにする。 地域の良さを再確認する。
11 ・ 12	4 みんなでつくる フェスティバル 12時間+6時間		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 1 これまで体験した行事や施設で見聞きた行事を参考にして、自分たちのフェスティバルを企画することができる。 2 フェスティバルで必要なものを工夫し、協力して準備することができる。 3 お世話になった人たちを招待し、フェスティバルを開いて楽しむことができる。 </div>		実行委員が会を運営 希望のお店やさんを担当 ・おみこし・クラス発表・お店やさん お世話になった方と打ち合わせ (H14は渡辺さん、加藤さん、後藤さん) をする 保護者や1年生、あすなる招待
	・けいかくをたてよう 3		・町探検で見つけた、地域のイベントについて振り返る。 ・今までに育てたり、作ったりしてきたものを使ってどんな楽しい会ができるか話し合う。 ・会でやること、招待する人、必要な準備について話し合い、仕事の分担をする。		お祭りを、昼休み開始なら参観日に重ねることも可能
	・じゅんぴを しょう 6	関心・意欲・態度 思考・表現	・企画を出し合って楽しいフェスティバルを作り上げようとしている。 ・相談して企画をまとめあげることができる。	発言 計画表	必要なものを分担し準備する。 お店やごとに、計画する。
			・分担したグループに分かれて各コーナーや出店の内容を相談し、必要なものを製作する。 ・作ったものを使って、必要な練習をしたり、見せ合って修正したりする。 ・会の全体で必要なものを手分けして準備する。(全体の飾り、遊び券、招待状など)		
		関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・協力して準備しようとしている。 ・これまでの生活科の学習で体験してきたことを生かし、工夫して準備をすることができる。 ・これまでの体験を生かし、協力して会の企画、準備運営等の仕方が分かる。	行動観察 準備したもの カード	発表に必要なもの、お店屋さんで必要なものを、準備させる。 遊びにならないよう支援する。 1年やあすなる・保護者あてに招待状を送る。
	・フェスティバルを たのしもう 3		・招待状を届けたり、オープニングの会の役割分担をして会を開く。 ・劇場 レストラン、おもちゃコーナー、ゲームコーナーなど、自分の役割を果たし、来てくれた人を楽しませたり、いろいろなコーナーをまわって楽しんだりすることができる。		芋版年賀状づくり <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> お世話になった方と隣の席の子に年賀状を出す </div>
	関心・意欲・態度 思考・表現	・自分たちの力で会を運営し、楽しいフェスティバルにしようとしている。 ・協力して、自分たちの力で楽しい会を作り上げることができる。 ・お世話になった人たちを呼んで、感謝の気持ちを伝えることができる。	行動観察 フェスティバル (お祭り) カード	説明の用紙、参加賞など準備し 分かりやすく楽しめるゲームにする。 感謝状などで、感謝の気持ちを お世話になった方に伝える。	

月	単元名・題材名 内容・時	学 習 内 容 □ 単元目標			留 意 点 指 導 ・ 援 助 等	
		評価の観点	評 価 規 準 の 具 体	評価の方法		
1 ・ 2 ・ 3	5 あしたへジャンプ 18時間 + 9時間 ・小さいころのじぶん をさがしてみよう 6	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 1 現在までの自分の成長の様子を思い出したり、聞いたり、調べたりして振り返ることができる。 2 自分の成長を振り返って喜ぶとともに、成長には多くの人の支えがあったことに気づくことができる。 3 成長を支えてくれた人に感謝し、これからの生活に意欲をもつことができる。 </div>				3年生の学習発表会を聞く
		・幼稚園や保育園のときのこと、入学してから現在までの近い過去の自分の様子を思い出したり取材したりして調べる。 ・もっと幼いころの自分の様子を、いろいろな人に聞いたり、小さいころ使っていた品物を探したりして調べる。				
	・大きくなったじぶん をたしかめよう 6	関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・自分が小さかったときのことに関心・関心をもち、進んで調べようとしている。 ・自分が小さいころ使った品物を探したり、身の回りの人に取材したりして小さいころのことを調べることができる。 ・自分の小さいころの様子が分かる。	発言・持参品 取材カード カード	小さいころのものや写真は、大事に扱うよう注意させる。 学年通信で、依頼する。	
		・現在までの自分の成長の様子を思い出したり、聞いたり、調べたりして振り返ることができる。 ・自分の成長を振り返って喜ぶとともに、成長には多くの人の支えがあったことに気づくことができる。 ・成長を支えてくれた人に感謝し、これからの生活に意欲をもつことができる。			図工の作品整理と合わせる	
	・大きくなったよはっ ぴょうかいをしよう3	関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・自分の成長に関心をもち、進んでまとめようとしている。 ・自分が小さいころのことを、自分なりの方法で表現することができる。 ・自分の成長と成長を支えてくれた周りの人たちの存在に気づく。	行動観察 カード・作品 発言	自分が周りの人に支えられて育ってきたことに気づかせる。 自分なりの方法でまとめさせる	
		・成長の様子を表現した作品を見せ合ったり、発表し合ったりする。 ・お互いのすばらしいところを見つけて、成長を認め合う。				
	・あしたへ ジャンプ 3	関心・意欲・態度 思考・表現 気づき	・互いの成長を確かめ、喜び合おうとしている。 ・まとめた成長の記録を紹介し合うことができる。 ・成長し続ける存在としての一人ひとりの可能性とそれを支えてくれた人が存在することが分かる。	行動観察 発表 カード	発表者の気持ちになって聞くように支援する。 違う生活環境の中で、育っていることを理解させる。	
		・思い出の作品を箱に入れて保管したり、3年生の生活について調べ、これからどんなことをしたいか話し合ったりする。				
			関心・意欲・態度	・これからやってみようと思えることを見つけ、意欲的に生活しようとしている。	発言・カード	自分なりの3年生に向けた決意を発表させる。

1 わたしのまちはどんなまち？	教科書上	P.2～19
1 まちたんけんをしよう	授業時数	13時間

【単元の到達目標】

自分たちのまちの様子に関心を持ち、探検計画にしたがってまちの様子を調べたり、調べたことを絵地図や地図に表したりする力をつける。

まちの中の場所による土地の使われ方の違いや特色について、考える力をつける。

まちの中でも、場所によってそれぞれ土地の使われ方に特色があることを具体的に理解する力をつける。

【学習指導要領との関連】

2(1)自分たちの住んでいる身近な地域や市(区,町,村)について,次のことを観察,調査したり白地図にまとめたりして調べ,地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

ア 身近な地域や市(区,町,村)の特色ある地形,土地利用の様子,主な公共施設などの場所と働き,交通の様子など

到達目標(活動目標)	評価規準	評価の観点			
		関意	態思	判観	資知・理
自分たちのまちの様子に関心を持つ。 1	自分の家から学校までの様子を思い浮かべ,画用紙にかく。 自分の通学路の様子と他の人の通学路の様子を比べ,違いに気づく。 それぞれのまちの様子やわかりやすい地図のかき方に関心を持つ。				
同じ白地図にそれぞれの通学路を書き込み,自分たちのまちの様子を調べる。 1	各自,同じ白地図に自分の通学路をかき込み,自分たちのまちの様子を調べる。 川の位置 駅の場所 道路の幅やつながり など 四方位「東西南北」と,地図は北を上にするのが約束であることや,方位磁針の見方がわかる。				
まちの探検の計画を立てる。 2	まちの様子をくわしく調べるための探検の計画について話し合い,考える。 探検の場所とコース 調べること 調べ方 まとめ方 持っていくもの 注意すること インタビューの方法と注意することがわかる。 探検の計画をノートにまとめる。 「たんけんカード」「インタビューカード」をつくる。				
まちを探検して,その様子にどんな違いがあるか考える。 4	校区を,グループに分かれて探検して調べ,「たんけんカード」「インタビューカード」に気がついたことや聞いたことを書き込む。				

<p>探検したことを絵地図にまとめ、絵地図の問題点を考える。</p> <p style="text-align: right;">2</p>	<p>探検をして調べたことをもとにまちの絵地図を仕上げます。</p> <p>目印になる建物 道路や川の様子 住宅地、商店街、田畑などの様子</p> <p>それぞれの絵地図を見比べて、どんな違いがあるか考えます。</p> <p>田や畑、建物などの表し方の違い 家や店や工場などの広がり様子の違い など</p> <p>わかりやすい地図をつくるにはどうすればよいかを考えます。</p>				
--	--	--	--	--	--

到達目標(活動目標)	評価規準	評価の観点			
		関意態	思・判	観・資	知・理
<p>わかりやすい地図の作り方がわかる。</p> <p style="text-align: right;">2</p>	<p>主な地図記号を調べてまとめる。 わかりやすい地図の作り方がわかる。 地図記号を使う。 土地の使い方によって色分けをする。 探検をして、みんなに紹介したいことや疑問に思ったことをかき込む。</p>				
<p>校区の地図をつくり、場所による土地の使い方の違いを考える。</p> <p style="text-align: right;">1</p>	<p>地図記号を使って、1枚の校区全体の地図を仕上げます。 完成した校区の地図を見て、土地の様子の違いについて話し合う。 最初にかいた通学路の絵地図と比べて、どこが違うかを調べる。</p>				

3.多様な教材、単元とカリキュラム作成方法の検討

3.1 概要

本年度は、昨年度提供した教材に加えて、新たな教材を提供した(表 3.1)。

表 3.1 のなかで、本年度作成または実施したものは、次のとおりである。

【作成・実施内容】

- ・クルマ大集合：昨年度と同様に色々なクルマを集めて、クルマの排気ガスを調べ、クルマが空気を汚していることを気付かせた。
- ・地図教材：「自分たちのまちをしらべる」ための教材として、御嵩町全域または校区の地図のベース・マップを作成した。
- ・空気汚れ調べ：提供した教材事例のなかで、交通量の多い道路で交通量と道路周辺の空気を調査キットを使用して調査を行った。

表 3.1 これまでに提供した教材事例

年度	教材名	主な内容
平成 21 年度	交通・環境に関するクイズ	大阪府の交通環境学習の教材と作成した交通と環境等に関するクイズを作成したもの。
	クルマ大集合	色々なクルマを学校に集め、それぞれのクルマの排気ガスを調べ、クルマが環境を汚していることを気付かせる出前講座
	フードマイレージ	食べ物から交通や環境に意識をさせる。食卓にある食べ物はどこから、どのように運ばれ、どれくらいの環境に寄与しているかを考える。
平成 22 年度	地図教材	「自分たちのまちを調べる」ための基礎教材として、御嵩町または校区の地図を作成したもの。
	空気汚れ調べ	費用をかけずに、小学校で安易に使用できる空気を調べる方法を整理したもの。
	水質汚れ調べ	費用をかけずに、小学校で安易に使用できる水質を調べる方法を整理した。

3.2 地図教材

(1) 目的と概要

地図教材：ベース・マップは、交通・環境学習を行うに際して主要な基礎教材であり、「***まちたんけん」、「私たちのまちの***を調べよう」、「私たちのまちはどのように変わってきたのだろうか」など、多くの教材の基礎ツールとなる。

これらの基礎ツールとして、ここでは次のような地図教材：ベース・マップを作成することとする。

表 3.2 地図教材：ベース・マップの概要

種別	概要	備考
パネル地図	教室の壁、廊下などに巨大な町もしくは校区白地図(主要な公共施設、史跡、文化施設などを含むか)をオープンに設置し、共有情報板として活用する。	ホワイトボードとして、子供たちの調べた結果情報等を共有するプラットフォームとして活用。
地図ボード (マグネットシート)	持ち運びが可能なマグネットシートに町、校区、校区主要街区白地図をプリントして、共有情報板として活用する。	同上、持ち運び式。
ワークシート	町、校区、主要街区白地図を、手元のワークシートとして活用する。	A4 版、B4 版、A3 版のドキュメントファイル

(2) ベース・マップ作成の要件

表 3.2 に示すベース・マップ作成の要件を以下のように設定する(表 3.3)。

表 3.3 ベース・マップ作成の要件

種別	要件
パネル地図	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁な改定をしないことを前提とする。 ・可能な限り堅固な設備として、相当程度の期間での活用が望ましい(10 年程度の一世代程度を想定:大きな変化が発生しない)。 ・学習の参考となる主要情報(地勢、公共施設、史跡、文化施設等)が、可能な限り掲載される。 ・地図面に学習情報を記入、添付可能とする(書き込み/消去、コーティング)。
地図ボード マグネットシート	(同上) <ul style="list-style-type: none"> ・掲示板上に複数の地図シートを掲載可能とする(添付/取り外しを可能とする)。
ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として出力以外の費用が発生しない。 ・容易に編集、改定が可能な電子情報とする。

(3)既存地図ソースの抽出と活用可能な地図設定

1)既存地図ソースの抽出

容易に入手可能な地図ソースを抽出して、表 3.4 に示す。

2)活用可能な地図ソース

a.パネル

パネルとして活用が可能な地図ソースとしては、「都市計画基図」が最も活用可能性が高いと考えられる。

これは、町全域にわたって地勢から施設までの情報を個別に確認が可能であること、ランドマークや建造物等の位置からロケーションを確認することが可能であること等が理由として挙げられる。

同様の水準の地図としては、「Mapion 地図」、「ウォッチず(地図閲覧サービス)」も候補として挙げられるが、前者はインターネット環境から抽出する多くの地図断片をつなぎ合わせなければならないという困難な作業を伴うこと、後者は 1/25,000 であることから地図精度といった点で難がある。

なお、「都市計画基図」は、町が地方自治体としての基本情報としてレギュラーで整備するものであり、一定期間毎に最新地図として改定されるが、パネル等への活用のためには、イラストレータ等での作業用にデータ変換と地図統合を依頼する必要がある。

b.マグネットシート

マグネットシート用としては、詳細情報を表示する地図として「都市計画基図」、広域情報で可能な地図として「ウォッチず(地図閲覧サービス)」、そして中間的な情報表示用として「御嵩町白図：1/10,000」が望ましいソースとして挙げられる。理由は、パネルと同様である。

なお、ボード用に活用が可能なソースとして、航空写真なども望ましい情報として活用が可能である。

c.ワークシート

ワークシート用としては、詳細情報を表示する地図として「Mapion 地図」、広域情報で可能な地図として「ウォッチず(地図閲覧サービス)」が望ましいソースとして挙げられる。

これらは、いずれもインターネットから簡単にダウンロードが可能であり、任意に編集して使用が可能である。

なお、イラストレータ等を活用できれば、「都市計画基図」、「Google earth/Google maps」等も十分に活用が可能であろう。

表 3.4 活用可能な地図ソース

S Q	名称	発行元	更新年月	縮尺	範囲	費用・価格	活用可能性			備考
							パネル	マグネット シート	ワーク シート	
1	都市計画基図	御嵩町	H21.4	1/2500	御嵩町	-				DM data(データ変換が必要), 可 児市にも依頼
2	御嵩町白図	御嵩町	H21.4	1/10000	御嵩町	-				同上
3	数値地図 2500(空間データ基盤)	国土地理院	H18.2	1/2500	中部 1	7,500 円				日本地図センター http://www.jmc.or.jp/
4	Mapion 地図	マピオン	毎月 1 回	1/1500 ~	御嵩町	無料				・印刷範囲が限定(PC 画面上に 表示された範囲、編集が必要) http://www.mapion.co.jp/
5	Google earth/ Google maps	Google	H22.04	-	御嵩町	無料				地図/航空写真が可能 http://earth.google.com/intl/ja/ http://maps.google.co.jp/
6	Yahoo 地図	ゼンリン	-	1/14285	-	無料				http://map.yahoo.co.jp/
7	ゼンリン電子住宅地図	ゼンリン	-	-	御嵩町	13,650 円				http://www.zenrin.co.jp/product/ software/digitown/index.html
8	ウォッチズ (地図閲覧サービス)	国土地理院	H20.10	1/25000	岐阜県 飯田	無料				http://watchizu.gsi.go.jp/
9	数値地図 25000(地図画像)	国土地理院	-	1/25000	岐阜県飯 田	7,500 円				日本地図センター http://www.jmc.or.jp/
10	数値地図 25000(空間データ基盤)	国土地理院	-	1/25000	岐阜県	7,500 円				日本地図センター http://www.jmc.or.jp/
11	国土変遷アーカイブ (空中写真閲覧)	国土地理院	S62.09	-	御嵩町	無料				http://archive.gsi.go.jp/airphoto/
12	御嵩町航空写真	御嵩町		-	御嵩町	-				http://www.town.mitake.gifu.jp/k oukuu/index.html

注) :活用可能性が最も高いソース

注) :活用可能性が低いソース

(4)ベース・マップ作成方法

a.パネル

地図ソース

- ・都市計画基図(御嵩町、可児市)

納品場所

- ・伏見小学校

使用データ

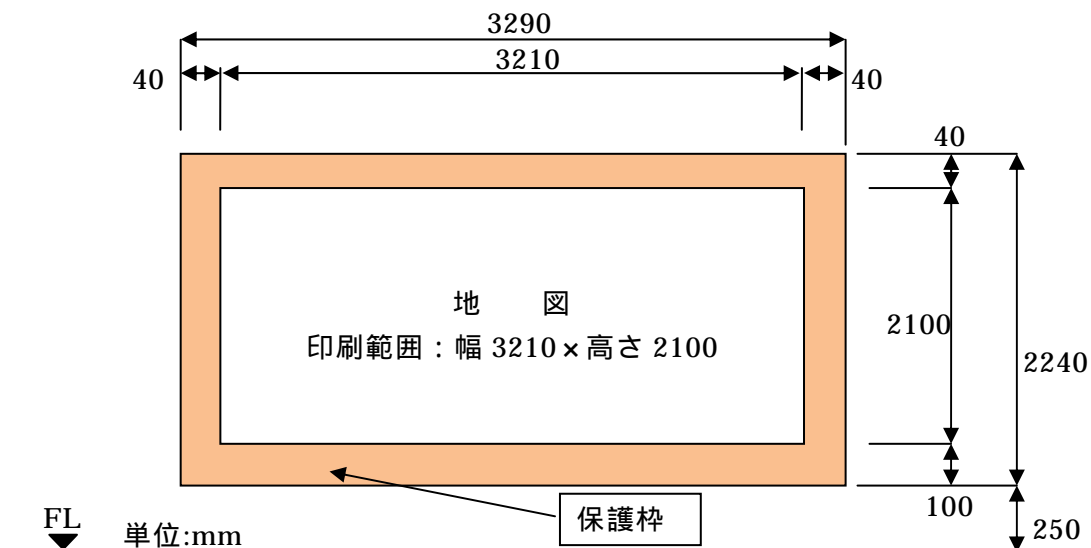
- ・都市計画基図(御嵩町、可児市)を加工し、公共施設を追加したデータ(図 3.1)
- ・カラー出力

製作数

- ・1基

寸法

- ・パネルの大きさは、下図のとおりです。



材質

- ・アルミ複合板(H2100×W3210) 2分割：磁気なし
ホワイトマーカー対応ラミネート処理

保護枠

- ・設置場所が職員室前の玄関に設置するため、子どもたちが怪我をしないような保護枠を取り付ける。

【形状】

- ・パネル周りに“かど”がない“丸み”をつけた枠の取り付け。

材質：木製

寸法：上記保護枠の寸法

設置場所

設置場所は、職員室前の玄関に設置。現在設置しているパネル(地図)を取り外し、製作したパネルを設置する。

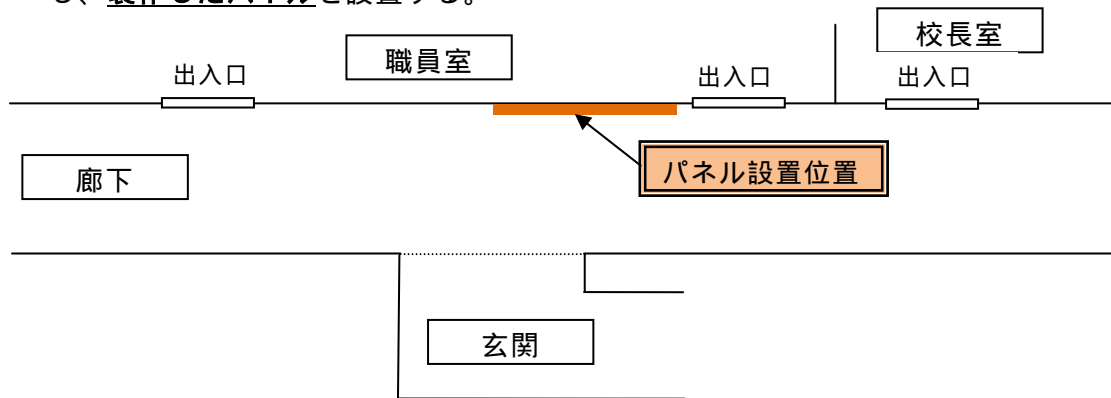
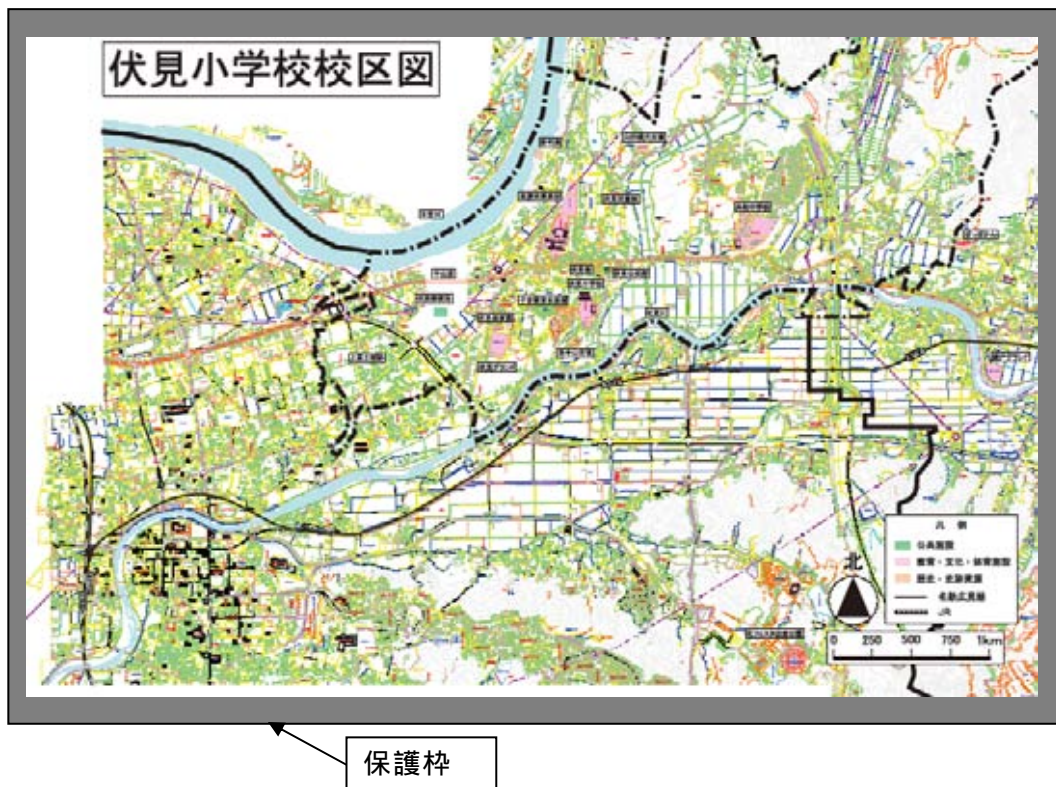


図 設置場所

完成イメージ図



b. マグネットシート

地図ソース

- ・都市計画基図(御嵩町、可児市)

納品場所

- ・上之郷小学校

使用データ

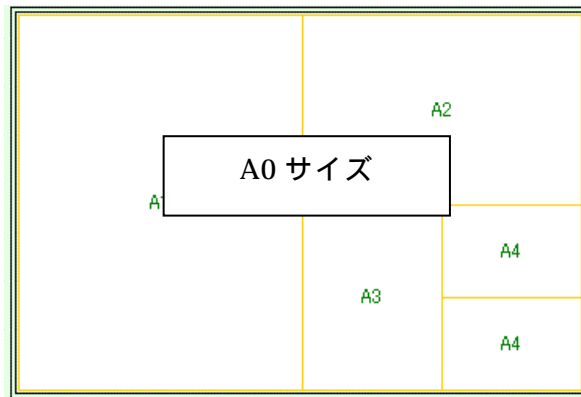
- ・都市計画基図(御嵩町、可児市)を加工し、公共施設を追加したデータ(図 3.2)
 - 上之郷小学校 地図 A：御嵩町全域図
 - 上之郷小学校 地図 B：上之郷小学校周辺図
- ・グレースケール出力

製作数

- ・上之郷小学校：各 1 枚(地図 A，地図 B) 計 2 枚

寸法

- ・A0 サイズ(横 1189 mm × 高さ 841 mm)



材質

- ・マグネットシート(つやなし)
ホワイトマーカー対応ラミネート処理

形状

丸めて持ち運びができ、印刷した地図の上をホワイトマーカーで文字などを書いたり消したりできるもの(下：写真のようなもの)。



c. マグネットシート

納品場所

- ・ 上之郷小学校

購入台数

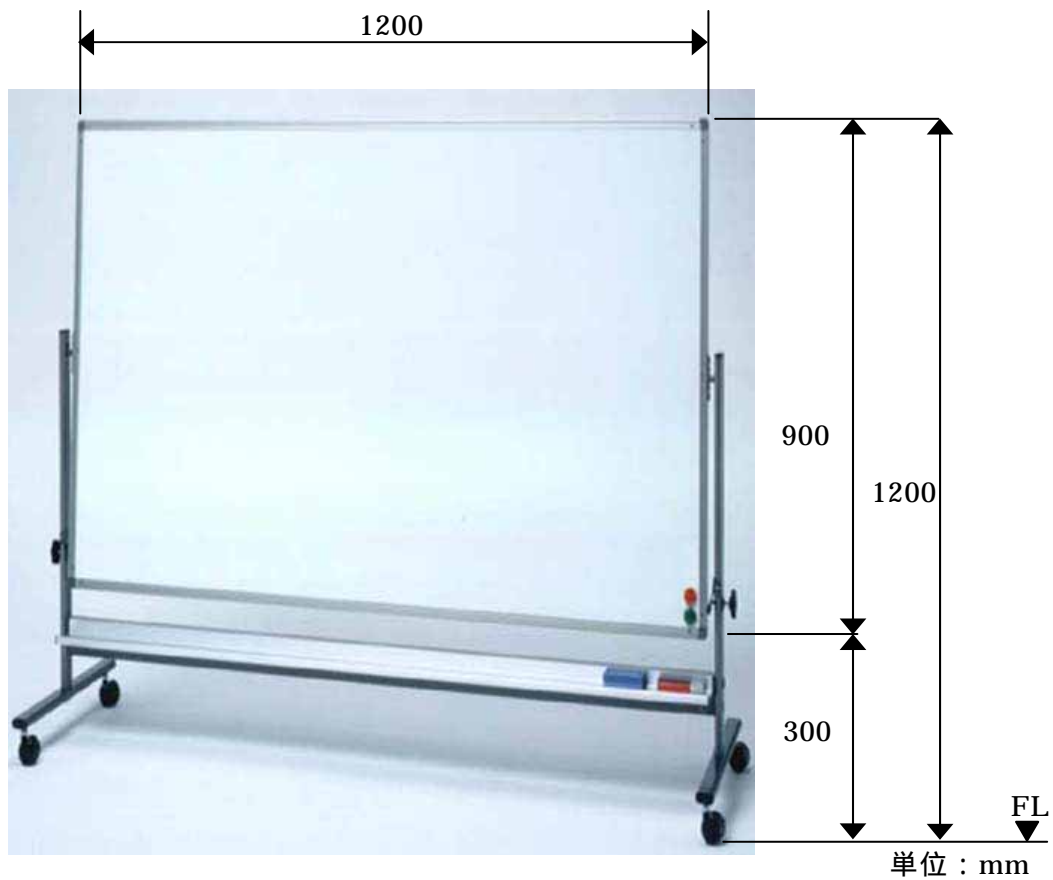
- ・ 1 台

寸法

- ・ 低位置ボード(横 1200mm×高さ 900mm×厚み 15mm)

下図のホワイトボード

A0 サイズ(横 1189 mm ×高さ 841 mm)が収まるホワイトボード



d. ワークシート

地図ソース

- ・ 都市計画基図(御嵩町、可児市)

納品場所

- ・ 3 小学校(上之郷小学校、御嵩小学校、伏見小学校)

使用データ

- ・ 都市計画基図(御嵩町、可児市)を加工し、公共施設を追加したデータ(図 3.3)

納品物

- ・ 各小学校で使用可能な PDF ファイルとして納品。

伏見小学校校区図



図 3.1 パネル用地図(伏見小学校)

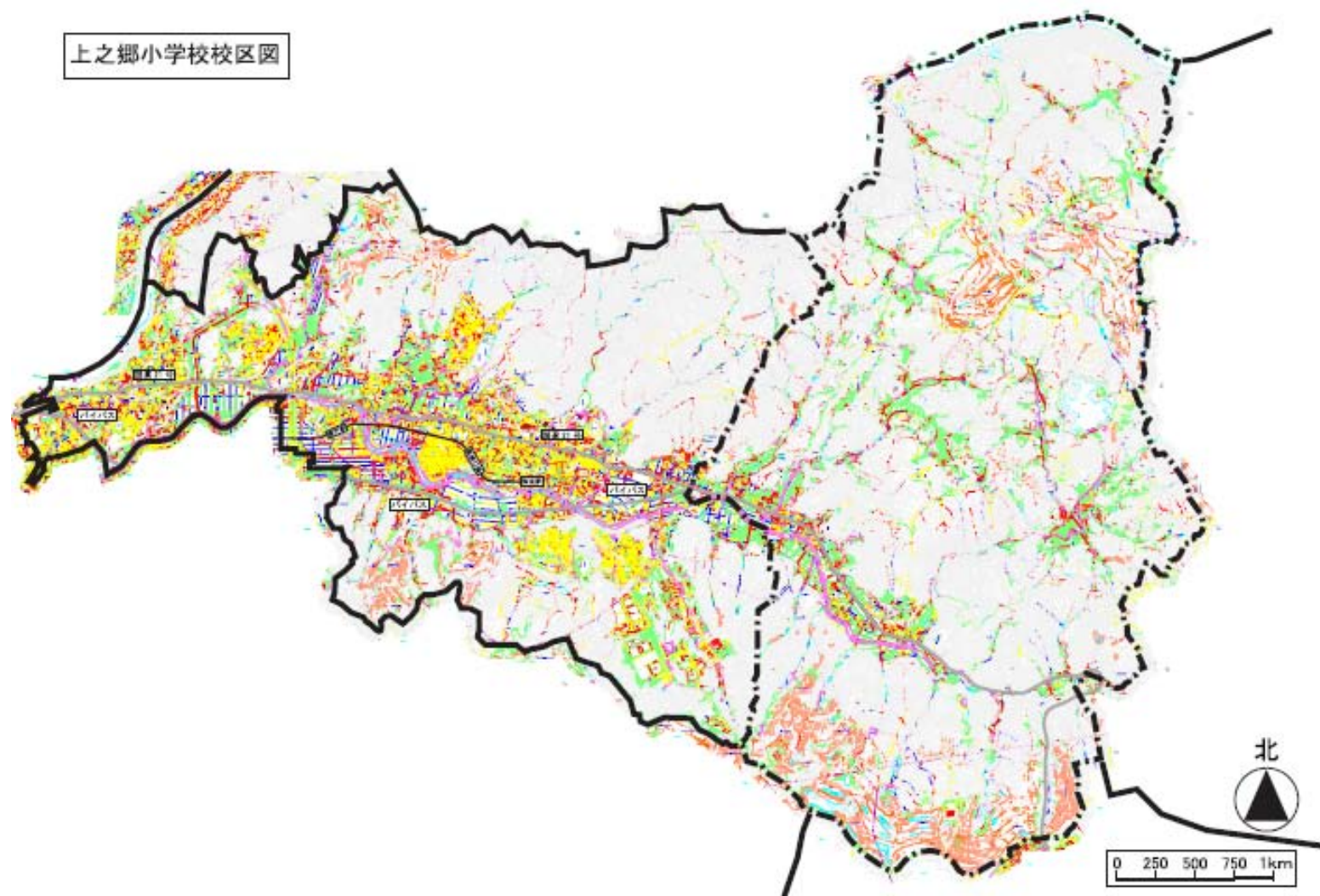


図 3.2(1)マグネットシート用地図(上之郷小学校)

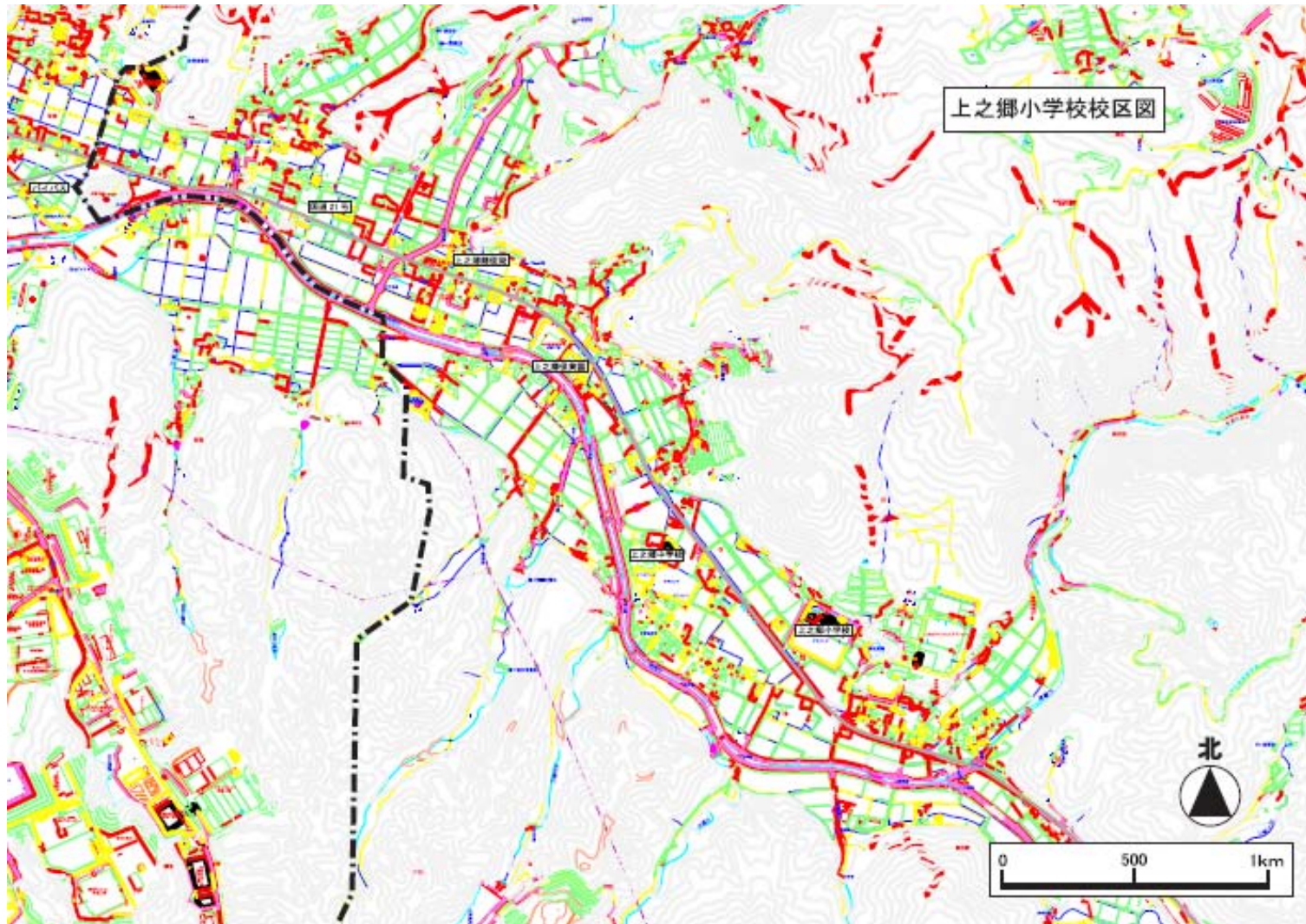


図 3.2(2)マグネットシート用地図(上之郷小学校)

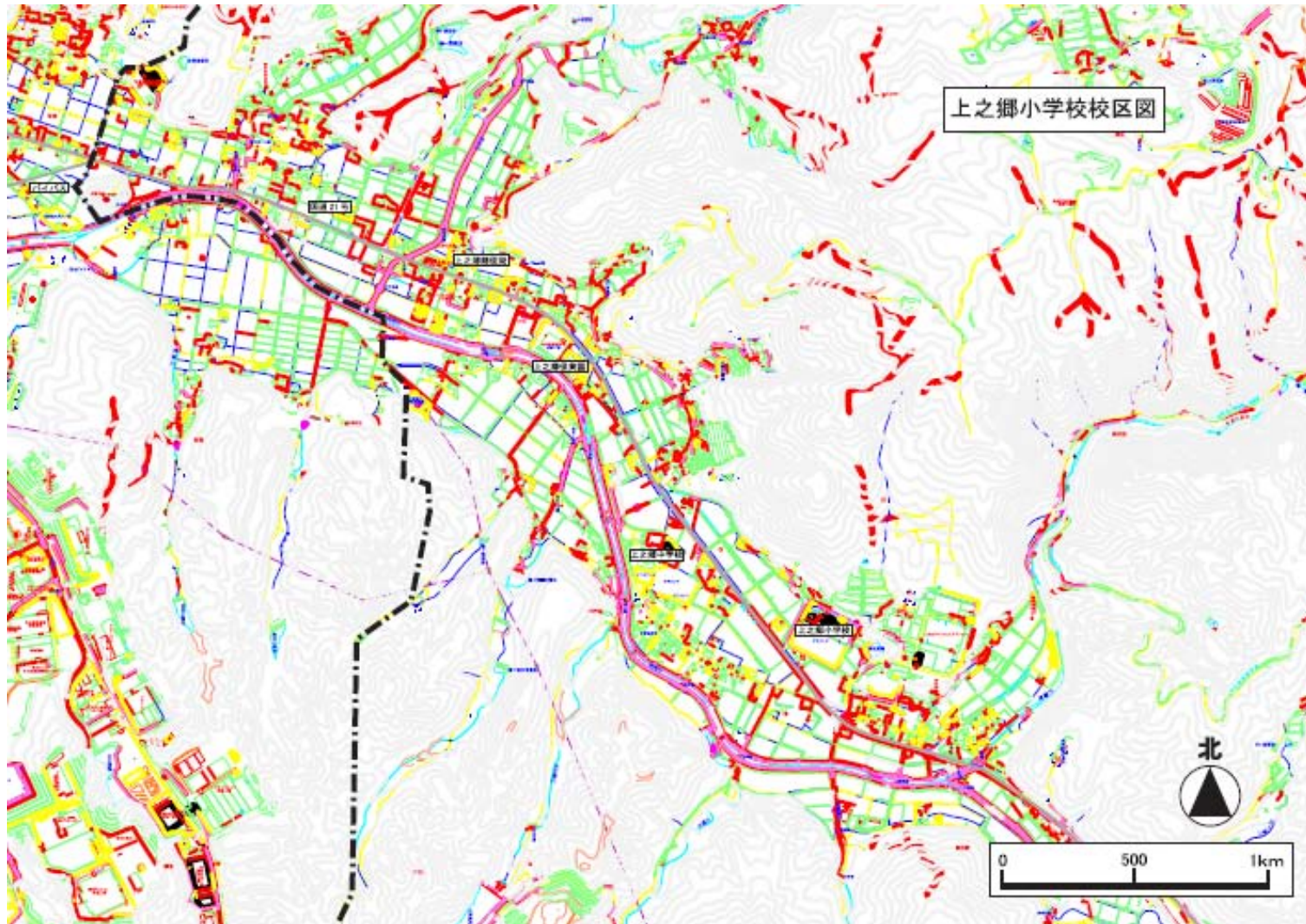


図 3.3(1)ワークシート用地図(上之郷小学校)

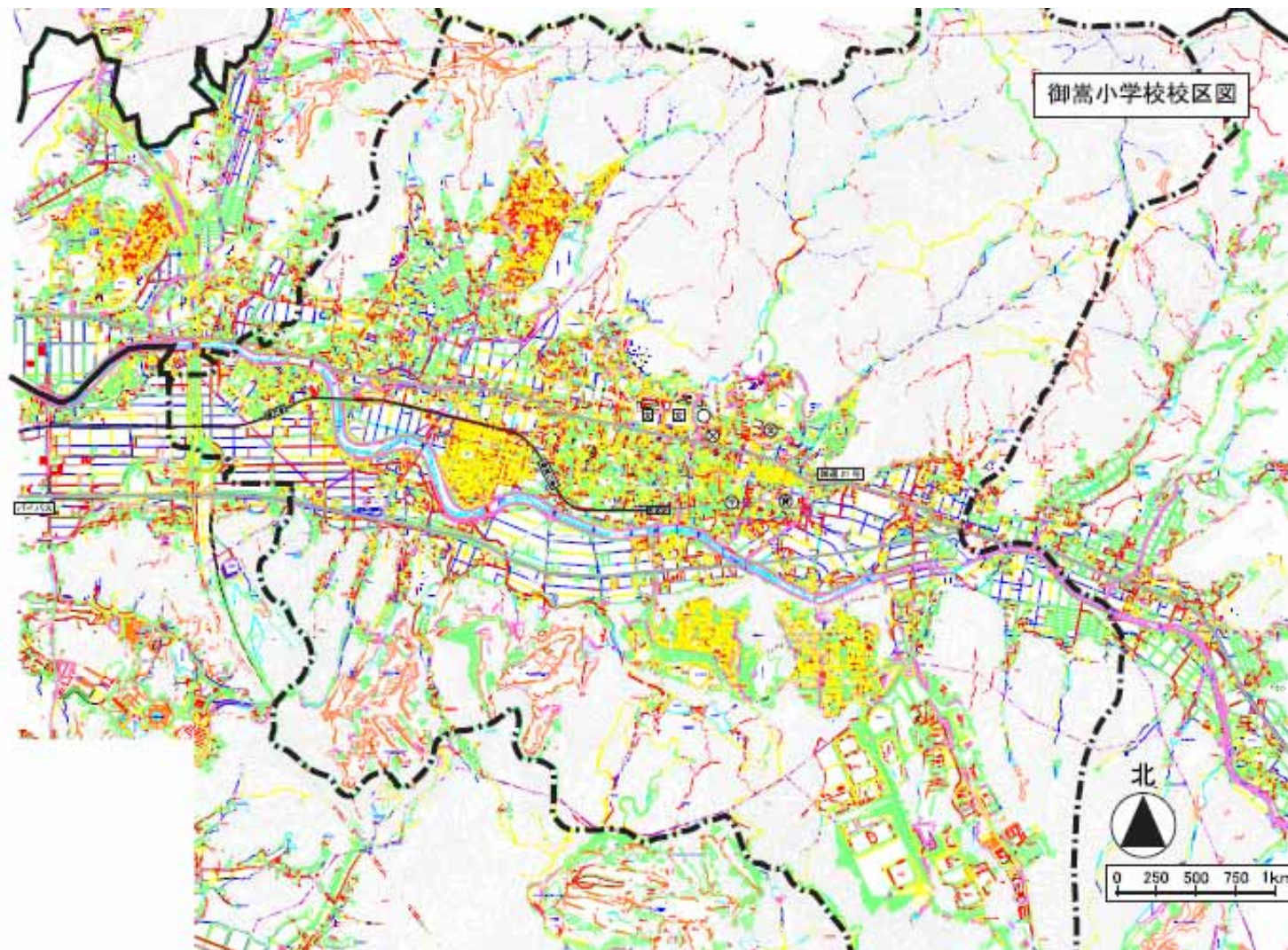
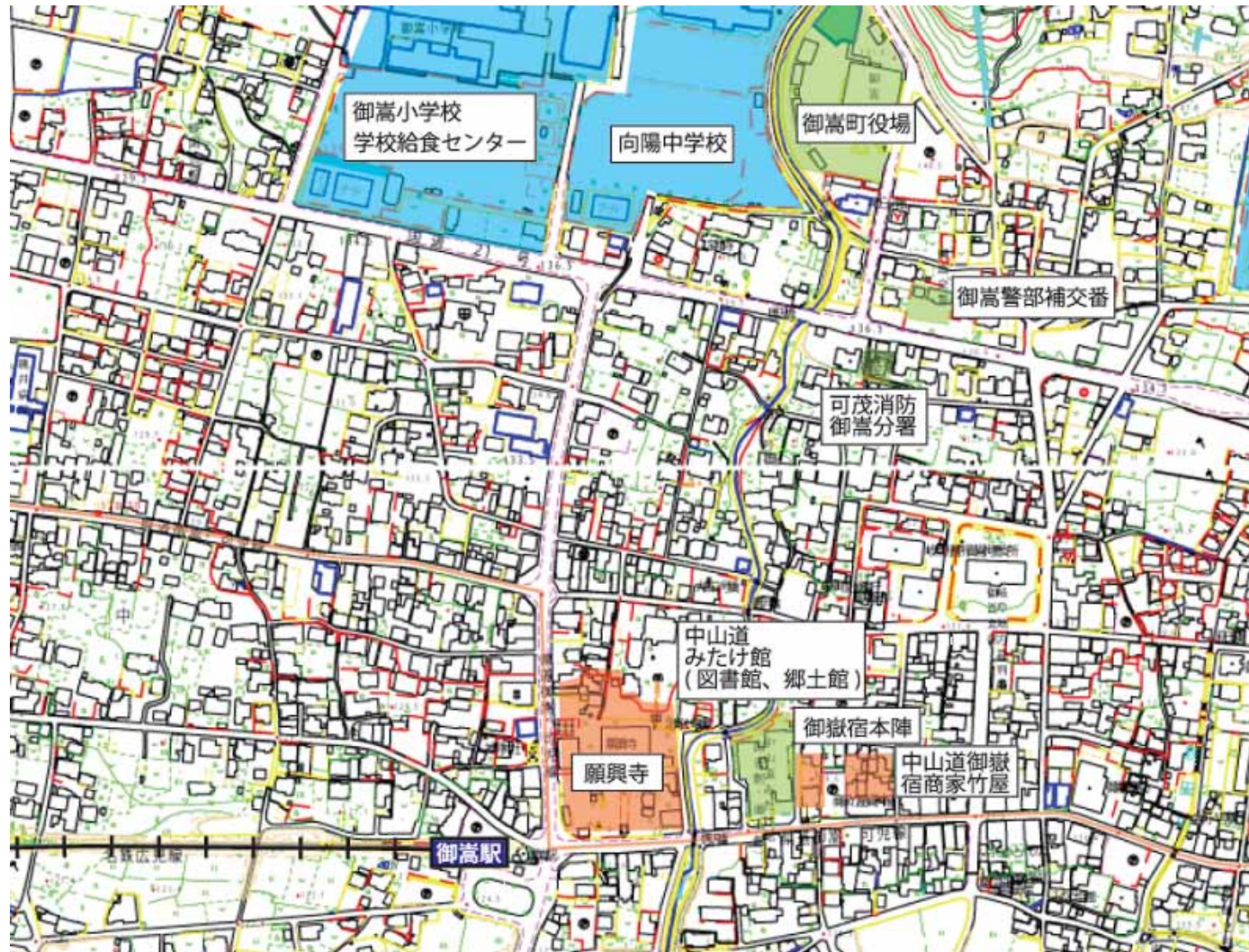


図 3.3(2)ワークシート用地図(御嵩小学校)



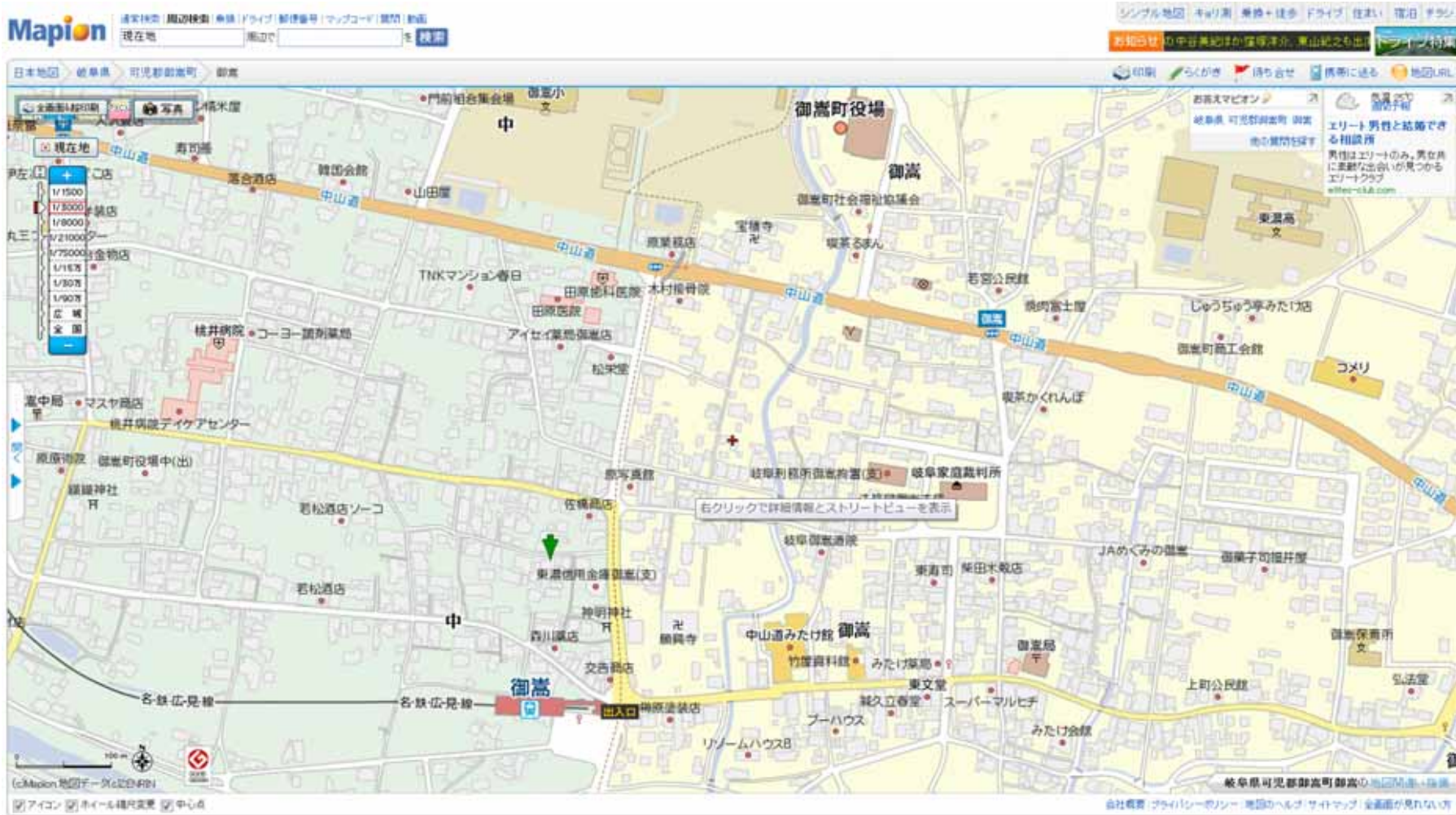
図 3.3(3)ワークシート用地図(伏見小学校)



参考図 3.1 都市計画基図



参考図 3.2 御嵩町白図



参考図 3.3 Mapion 地図



参考図 3.4(1) Google earth/Google maps(航空写真)



参考図 3.4(2) Google earth/Google maps(地図)



参考図 3.6 ウォッチず(地図閲覧サービス)

オルソ画像情報
整備範囲の図形を選択すると情報を表示します。
撮影年度=2008年度
地区名=岐阜地区
範囲の表示
選択地区PDF

画像/地図切り替え
 電子国土基本図 (オルソ画像)
 電子国土基本図
 0地図情報 試験公開
 2万5千分1地形図
[詳細はこちら](#)

— 操作説明及び凡例 —
[電子国土基本図\(オルソ画像\) 操作説明](#)
[電子国土基本図\(地形情報\)の凡例](#)
[国土地理院提供電子図2万5千分1レベルの凡例](#)

小縮尺地図切り替え
 標準の地図
 発行されている地図
[詳細はこちら](#)

座標 北緯 35 度 24 分 35.12 秒へ **ジャンプ** する 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100
東経 138 度 45 分 36 秒
縮尺 約 1/4500 数字の縮尺でオルソ画像が表示されます。

参考図 3.7 国土変遷アーカイブ(オルソ画面)

3.3 提供教材

(1)概要

「交通・環境学習」を持続可能な取り組みとして費用をかけずに、小学校の先生で取り組むことのできる教材・調査を要望されたことから、「空気の汚れ調査」と「水質の汚れ調査」に関する教材を提案した。

そのうち、「空気の汚れ調査」では道路周辺の空気を調べるために、「NOx 調査」を実施した。また、「水質の汚れ調査」では、川の汚れを調べる調査を実施した。

「空気の汚れ調査」の調査項目および調査方法

SQ	調査項目	調査方法
	NOx	・NOx 調査キットを用いて、空気の汚れを調べる。
		・ザルツマン試薬を用いて、空気の汚れを調べる。
	CO2	・気体検知器を用いて、校区内の空気を調べる。
		・石灰水を用いて排気ガスに含まれる CO2 を調べる。
	粉じん	・マツの葉を用いて、顕微鏡でマツの葉の気孔を調べます。
		・両面テープを使って、粉じんの分布調査をします。
		・タイルを使って、ヒトの目で「汚さ」と「汚れの多さ」を調べます。

「水の汚れ調査」の調査項目および調査方法

SQ	調査項目	調査方法
	色	・白い紙をビーカー(試験管)の後ろに置き、色を確認する。
	におい	・調べる水の入った透明なビーカー(試験管)をよく混ぜながら、鼻を近づけてにおいを確認します。
	油	・調べる水の入った透明なビーカー(試験管)を太陽の光に反射させるようにして、油が浮かんでいないかを調べます
	透視度	・調べる水を透視度計に入れ、中の水をゆっくり流し出し、底の二重十字がはっきり見えた時点で止め、水の深さを調べる。
	COD	・調べたい水をビーカーに入れ、パックテスト(COD)を使って、水の汚れを調べる。
	pH	・調べたい水をビーカーなどに入れ、pH 試験紙またはむらさきキャベツなどでつくった試薬で pH を調べる。
	生き物	・川に生息している生き物を取り、水のきれいさなどを調べる。

(2) 「空気の汚れ調査」の必要な器具等

SQ	調査項目	準備物	器具等	
			購入	制作
	NOx	・NOx調査キット	【NOx 調査キット】 ・販売元: (株)エコー教材 ・商品名: 二酸化窒素をはかるう(20回分) <4,250 円>	
		・ザルツマン試薬 ・ビニール袋(透明) ・ピペット ・バケツ ・比色表	【ザルツマン試薬】 ・販売元: (株)テックジャム ・商品名: ザルツマン試薬 (250ml; 50 検体分) <1,995 円>	
	CO2	・気体検知器 ・ビニール袋(透明)	【気体検知器】 ・販売元: (株)エコー教材 ・商品名: 簡易気体検知器セット(GV-50) <18,585 円>	
		・マツの葉 ・スライドガラス ・顕微鏡 ・ビニール袋 ・地図 ・白熱電球の電気スタンド		
	粉じん	・両面テープ ・地図		
		・タイル(黒・白) ・デジタルカメラ	【タイル】 ・フローアタイル: 黒東り製 30cm 角サイズ(50 枚入) <8,335 円> ・フローアタイル: 白東り製 30cm 角サイズ(50 枚入) <8,335 円>	

【器具等の購入方法】

- 二酸化窒素をはかるう(NOx 調査キット)
 - ・販売元: (株)エコー教材(<http://kyouzai.ocnk.net/product/213>)
- ザルツマン試薬
 - ・販売元: (株)テックジャム(<http://www.tech-jam.com/items/kn3165187.phtml>)
- 気体検知器
 - ・販売元: (株)エコー教材(<http://kyouzai.ocnk.net/product/234>)
- タイル
 - ・販売元: インテリアショップ ハリー
(<http://www.rakuten.co.jp/harry/635536/670247/1766798/#1329013>)

(3) 「空気の汚れ調査」の調査方法等
NO_x 調査キットを用いた空気調べ

1) 調査場所

- ・ 校区全域

2) 準備物

- ・ NO_x 調査キット【二酸化窒素をはかろう】(20 回分)

販売価格：4,250 円 (税込)

販売元：(株)エコー教材



3) 調査方法

雨の降らない 24 時間に調査を行う。

a. 準備

- ・ 調査場所に行き、試験管のふたをはずす。
- ・ 1 m くらいの高さのところに、逆さまにしてテープでとめる。
- ・ 取り付け時刻などを記入しておく。
- ・ 試験管のふたをなくさないように、記入用紙に貼りつけておく。

b. 調査

- ・ 24 時間放置し、NO_x を吸収させる。

c. 回収

- ・ 24 時間後、ふたをしっかりと閉めて回収する。

d. 判定

- ・ ふたをはずす。
- ・ 試験管の中に、NO_x 調査薬 (ザルツマン試薬) を約 1ml (約 15 滴) たらす。
- ・ ふたをして、調査薬が中のろ紙にふれるように試験管をよく振る。
- ・ 15 分後、調査薬の色を比色表の色と比べ、およその濃度を読みとる。

e. かたづけ

- ・ 中の液を流しに捨て、洗い流す。(液が皮膚につかないように注意)

4) 参考 URL

ASAHI ネット

URL:<http://www.asahi-net.or.jp/~dd8k-kruc/nature/envment1/nox/examine.html>

注) ザルツマン試薬さえあれば十分調査が可能

ザルツマン試薬を用いた空気調べ

1)調査場所

- ・校区全域

2)準備物

- ・ザルツマン試薬(250ml : 50 検体分)
販売価格 : 1,995 円 (税込)
販売元 : (株)テックジャム
- ・ビニール袋(透明)
- ・比色表
- ・ピペット
- ・バケツ

3)調査方法

- ・調べたい場所の空気をビニール袋(透明)でとり、しっかりとビニール袋をくくる。
- ・ビニール袋の中に、NO_x 調査薬 (ザルツマン試薬) を約 1ml(約 15 滴)たらす。
- ・ビニール袋をくくり、調査薬が中の空気にふれるようによく振る。
- ・15 分後、調査薬の色を比色表の色と比べ、およその濃度を読みとる。
- ・中の液を流しに捨て、洗い流す。(液が皮膚につかないように注意)
基本的は、クルマ大集合時と同じやり方で行う。

気体検知器を用いた空気調べ

1)調査場所

- ・校区全域

2)準備物

- ・気体検知器

商品名：簡易気体検知器

販売価格：18,585 円 (税込)

販売元：(株)エコール教材

二酸化炭素 2EL 0.03～1% 10 回分、二酸化炭素 2EH 0.5～8% 10 回分

酸素 31E 6～24% 5 回分

- ・ビニール袋(透明)

3)調査方法



身の回りの動物を対象にしてみる



ビニール袋を用意して閉じ込めた気体を調査します。



身の回りの生物を使って実験できます。

4)参考 URL

理科実験,科学実験など簡単でおもしろい自由研究にも使える実験材料の販売理科実験

URL: <http://kyouzai.ocnk.net/page/7>

注) 特に CO2 計測は結構難しいし、その都度試薬を購入する必要がある。

石灰水を用いて排気ガス中の CO₂ を調べる

1)調査場所

- ・校庭（「クルマ大集合」等を活用）

2)準備物

- ・いろいろな種類の自動車（ディーゼル車、ガソリン車など）
- ・透明なポリ袋
- ・ひも
- ・石灰水

3)調査方法

小さめのポリ袋の中に石灰水を少量入れ、息を吹き込み、石灰水と混合します。石灰水が白濁することを観察し、なぜそうなるかを解説します。次に大きなポリ袋の中に石灰水を少量入れます。ポリ袋をマフラーに固定し、自動車排ガスを捕集し、石灰水と混合します。石灰水の色の変化を観察します。

- ・車の排ガスには、一酸化炭素など有害な物質が含まれているので、指導者の監督のもと、通風のよい場所で行いましょう。マフラーが熱くなっていることがあるので注意しましょう。
- ・石灰水と排ガスを混ぜ合わせると、水酸化カルシウムと二酸化炭素が反応して炭酸カルシウムの白色沈殿が生じます。
- ・二酸化炭素は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの代表選手とされています。
- ・自動車の排ガスを水に通し、その水溶液の pH を調べるアクティビティはさまざまな場所で実践されています。水溶液は酸性を示すことが多いのですが、これは排ガス中に二酸化炭素、二酸化硫黄、二酸化窒素の酸性ガスが含まれているためです。pH 値はそれらのガスの割合によって変動すると思われます。またアルカリ性を示す結果もありますが、その場合はアンモニアなどの存在が考えられます。
- ・自動車の排ガスの中には、大気汚染物質の 1 つである二酸化窒素も含まれています。二酸化窒素を測定する方法は、7.ザルツマン試薬を用いて調べる方法を参照。

4)参考 URL

環境省総合環境政策局環境教育推進室

URL: <http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html>

マツの葉を用いた空気調べ

1)調査場所

- ・マツを植えている箇所

2)準備物

- ・マツの葉
- ・かみそりの刃
- ・スライドガラス
- ・顕微鏡
- ・地図（採集場所を記入できるもの）
- ・ポリ袋
- ・白熱電球の電気スタンド

3)調査方法

道路に近いところに生えているマツの葉を、2～3本ずつ採集します。

採集した場所をワークシートに書き込み、その番号を地図に記入します。

採集した場所ごとにマツの葉をポリ袋に入れ、(2)と同じ番号を袋に書きます。

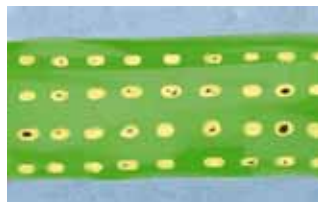
ワークシートに採集した場所の交通量を記入します。

マツの表皮をかみそりの刃で薄くはがし、水で少し湿らせてからスライドガラスにのせます。

電気スタンドで光を当て、顕微鏡の倍率を100倍にして観察します。

汚れた気孔の数と、きれいな気孔の数をワークシートに記入します。

汚れた気孔の数を、調べた気孔の数の合計で割り、空気の汚れの程度を計算します。



・マツの葉は、気孔がくぼんでいてマツヤニが付いているために汚れが付着しやすいこと、身近な植物であること、気孔が規則正しく並んでいることから、調査の対象に適しています。

・採集した場所の交通量は、「A．自動車がほとんど通らないところ」「B．自動車の交通量が少ない住宅地など」「C．自動車の交通量が多い道路、交差点、駅前など」「D．バスやトラックがよく通る、特に交通量が多い道路」に分けて、その記号をワークシートに記入します。

4)参考 URL

環境省総合環境政策局環境教育推進室

URL: <http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html>

両面テープを用いた粉じん分布調査

1)調査場所

- ・校区全域

2)準備物

- ・両面テープ
- ・学区の地図

3)調査方法

長さ数センチの両面テープを参加人数分用意し、それぞれに番号を書いた紙をつけます。

各自の自宅か自宅付近に両面テープを設置します。設置方法は、風に飛ばされない固定されたものに貼ることで、設置場所は地上 1m以上の高さの、雨が当たらない場所で、日頃から汚れが気になるところなどを選びます。

ワークシートに設置場所の状況を書き込みます。

設置期間は全員統一し、7日程度とします。

調査期間が終了したらそれぞれ設置場所からテープをはがし、ワークシートに貼りつけます。全員のワークシートを持ち寄ります。

学区の地図を広げ、それぞれの設置場所に当たる場所に、持ち寄ったワークシートを貼ります。

貼りおわった地図を見て、テープの汚れの量やついた汚れの色を見比べ、それぞれの設置場所の周辺はどうなっているか（道路、工場、畑、工事中の場所などがあるか、それらとの距離は何mくらいか）を確認します。



注意点

- ・設置したテープに鳥のフンや猫の足跡がつくことがあるので注意しましょう。鳥や猫を寄せ付けないように、ピアノ線を立てておくと効果的です。
- ・この調査方法で調べる粒子の大きさは、数分の1mmから数十分の1mm以下です。

4)参考 URL

環境省総合環境政策局環境教育推進室

URL: <http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html>

タイルを用いた粉じん調査

1)調査場所

- ・校区全域

2)準備物

- ・黒と白の2種類のタイル
- ・カメラ

3)調査方法

タイルの設置場所を決めます。設置場所は、地上から1m以上の場所、雨が当たらない場所で、日頃から汚れが気になる場所などを選びます。

タイルの裏側に設置場所、設置日時を記入します。

黒と白のタイルの表面をきれいにふき取り、設置場所に並べて置きます。黒と白のタイルを使うのは、それぞれ白っぽい汚れ(粒子)、黒っぽい汚れ(粒子)の付着を確認しやすいからです。

設置場所付近の写真を撮影しておきます。

調査期間中は、天気、風向、風速と設置場所などをワークシートに記録します。

タイルを2週間後に回収します。タイルの汚れを写真に撮ります。

タイルの表面の汚れを、ワークシートを使って評価します。タイルごとに評価点を出します。

調査地域の地図をつくり、設置場所ごとに「汚さ」と「汚れの多さ」とのそれぞれの平均評価点を書き込みます。また、設置場所付近の写真や汚れの写真を添付します。

注意点

タイルに付着する主な汚れの原因は、次のようになります。

- ・ディーゼル車からの排気粒子(真っ黒な粒子)
- ・道路の路面から舞い上がった粉じん(白っぽい大きな粒子)
- ・発電所や工場、煙突のある銭湯、野焼き、廃棄物処理場、工事現場(多くの場合は黒い粒子、工場や工事現場では白い粒子も多い)
- ・海からの粒子(海の塩分)
- ・火山灰(白い粒子)

タイルの汚れの評価方法は、人間の目を使います。この場合、個人差が生じやすいので、数人に評価してもらいます。まず、同じ色のタイルを、それぞれの設置場所を表示しないで、番号で表して並べます。評価者を3人以上選びます。評価者は誰とも相談せずに、「汚なさ」と「汚れの多さ」の2つの指標でそれぞれのタイルを評価し、ワークシートに記入します。タイルごとに、全員の評価者の評価点を平均します。

この調査方法で調べる粒子の大きさは、数分の1mmから数十分の1mm以下です。

4)参考 URL

環境省総合環境政策局環境教育推進室

URL: <http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html>

(4)「水の汚れ調査」の必要な器具等

S Q	調査項目	準備物	器具等	
			購入	制作
	色	・ビーカー(試験管) ・白い紙		
	におい	・ビーカー(試験管)		
	油	・ビーカー(試験管)		
	透視度	・透視度計 ・ビーカー(試験管) ・カッターナイフ ・ものさし ・ボールペン(マジック)	【透視度計】 ・販売元: (株)テックジャム ・商品(本体): 透視度計標準型 5 型(6,195 円) ・商品(標識板): 標準型及び 5 型用(2,160 円)	【透視度計】 ・ふた付きペットボトル (500ml ~ 1500ml) ・牛乳パック
	COD	・パケットテスト ・ビーカー(試験管)	【パケットテスト(COD)】 ・販売元: (株)共立理化学研究所 ・商品: 川の水セット < 10 セット > (6,300 円)	
	pH	・pH 試験紙または、むらさきキャベツで作った試薬 ・ビーカー(試験管)	【pH 試験紙】 ・販売元: (株)テックジャム ・商品: リトマス試験紙(青色)20 枚綴り × 10 冊 (1,134 円) ・商品: リトマス試験紙(赤色)20 枚綴り × 10 冊 (1,134 円)	【むらさきキャベツの試薬】 ・むらさきキャベツ ・天然水 ・ペットボトル(1500ml) ・なべ ・脱脂綿 ・ガスレンジ
	生き物	・受け網 ・バケツ ・シャーレ ・ルーペ ・ピンセット		

【器具等の購入方法】

■透視度計

・販売元: (株)テックジャム

(http://www.tech-jam.com/water-quality_measurement/transparency_meter/index.phtml)

■パケットテスト

・販売元: (株)共立理化学研究所

・業務用で購入する場合、理科の教材業者から購入する。購入先がわからない場合は、電話(TEL:03-3721-9207)にて問い合わせをする。

■リトマス試験紙(pH 試験紙)

・販売元: (株)テックジャム

(http://www.tech-jam.com/water-quality_measurement/pH-test_paper/index.phtml)

(5) 「水の汚れ調査」の調査方法等

水の色、におい、油の調査

1)調査場所

- ・川
- ・雨水
- ・家庭排水

2)準備物

- ・透明なビーカーまたは試験管
- ・白い紙

3)調査方法

a.水の色

透明なビーカー(試験管)に調べる水を入れて、白い紙をビーカー(試験管)の後ろに置き、色を確認します。

b.におい

調べる水の入った透明なビーカー(試験管)をよく混ぜながら、鼻を近づけてにおいを確認します。

c.油

調べる水の入った透明なビーカー(試験管)を太陽の光に反射させるようにして、油が浮かんでいないかを調べます。

4)参考 URL

国土交通省中国地方整備局宇部港湾事務所

URL : http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/gakusyuu/pdf/c/c_2_1_6.pdf

透視度の調査

1)調査場所

- ・川
- ・雨水
- ・家庭排水

2)準備物

- ・ビーカーまたは試験管
- ・透視度計(本体、標識板) <市販>
商品(本体)：透視度計 標準型 5 型(6,195 円)
商品(標識板)：標準型および 5 型用(2,160 円)
販売元：(株)テックジャム



【透視度計を自作する場合】

- ・ふた付きペットボトル(500ml ~ 1,500ml) 1 本
- ・牛乳の紙パック 1 本
- ・カッターナイフ
- ・ものさし
- ・ボールペン

3)調査方法

●透視度の調べ方

- ①試料水をロートを用いて「透視度計」にいっぱいになるまで入れます。
- ②下の口のcock (ピンチcock) をゆるめて、中の水をゆっくりと流しだし、底の二重十字がはっきりとみえたところで水を止めます。
- ③調べたい水の深さが何センチメートル (cm) が (透視度) 記録します。

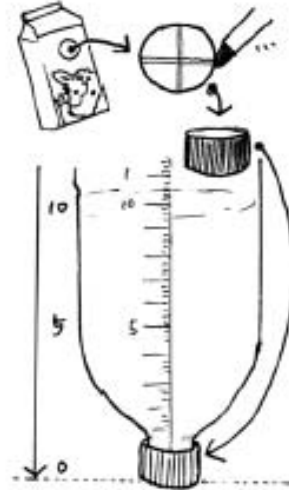


透視度の測定方法

4)透視度計の工作

透視度計を作ってみよう

- ①ふた付のペットボトル（500～1500ml）と牛乳の紙パックを準備します。
- ②牛乳の紙パックの白い部分を用いて、ペットボトルのふたの大きさに切ります。
- ③切った円形の紙の白い面に、幅5mmの黒線で二重十字（二重線の幅1mm）を描いた標識板をつくります。
- ④③でつくった標識板をふたの中に入れ、ふたをペットボトルに付けます。
- ⑤ペットボトルの底を切り、逆さにし、ふたの面を0にして目盛りをつけると、透視度計の完成です。
- ⑥調べる水を作った透視時計に注ぎ、透視度計の底に書いた標識版の二重文字が見えなくなったときの水の高さ（cm）を読みます。



5)参考 URL

国土交通省中国地方整備局宇部港湾事務所

URL : http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/gakusyuu/pdf/c/c_2_1_6.pdf

COD の調査

1)調査場所

- ・川

2)準備物

- ・ビーカーまたは試験管
- ・パックテスト < 市販 >

商品：川の水セット(6,300 円) < 10 セット >

販売元：(株)共立理化学研究所

徳用 川の水調査セット

型式 TZ-RW



「川の水調査セット」5箱分が入って30%安く、経済的にご利用いただけます。

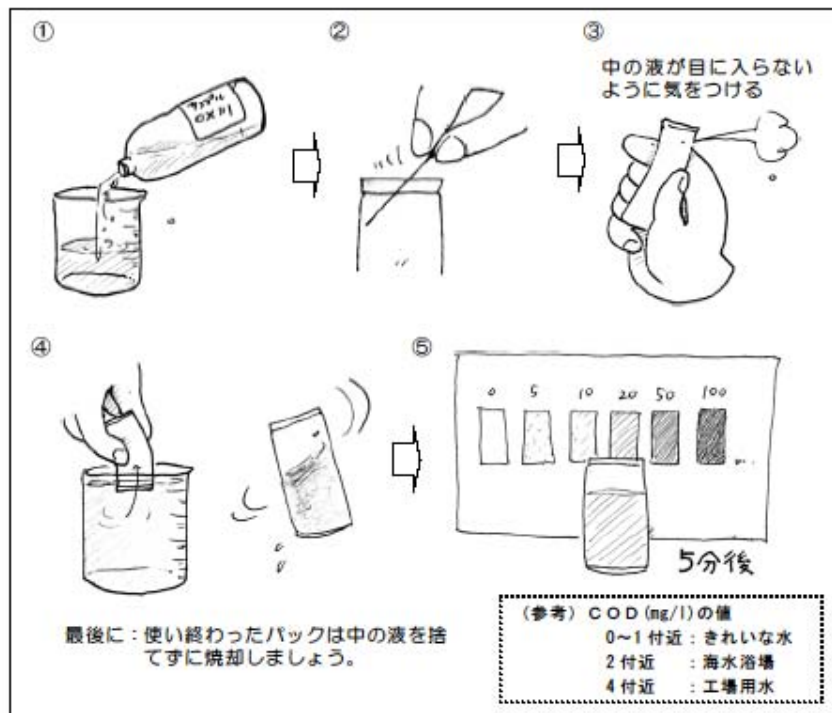
- 大人数での環境教育や自由研究の教材として最適。
- 5本ずつラミネート包装しています。

内 容	COD(低濃度)、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、りん酸態りん(低濃度)(各10回分)
価 格	¥6,300 (税込¥6,615)

3)調査方法

●バックテストでCODを調べる

- ①試料水をビーカーに半分程度入れます。
- ②バックテストについている紐を引き抜きます。
- ③バックテストを指で強くつまみ、中の空気を抜きます。このとき中の液が目に入らないように注意する。
- ④バックテストをそのままの状態でビーカーの水の中に入れ、水をバックの半分くらいまで吸い込みます。
- ⑤よくふりまぜ（途中1～2回程度ふりまぜます）、5分後に濃度を示す表の色と比べ、同じ色合い（色の濃さ）の濃度を読みとります。



バックテスト (COD) の測定方法

4)参考 URL

国土交通省中国地方整備局宇部港湾事務所

URL : http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/gakusyuu/pdf/c/c_2_1_6.pdf

4) pH 指示薬の作り方および調査方法 pH 指示薬の作り方

1		<p>むらさきキャベツを細かくきぎんでなべに入れ、400cc(牛乳びん2本分)の天然水を加えます。</p>
2		<p>ガスレンジで沸騰させないようにゆっくり煮詰め、色素を抽出します。むらさき色の色素が抜け出してキャベツが白くなったら、火から下ろしてじゅうぶんさませます。</p>
3		<p>電天然水のペットボトルを二つに切り分け、脱脂綿をつめてろ過器と容器をつくります。そこに、むらさきキャベツの汁を注ぎ、容器にためます。</p>

レモン・リンゴ・梅干しなどのしぼり汁や石けん水などでもできます。色の变化を見ることができます。

pH 指示薬を使つての調査方法

1		<p>雨水を保存した透明ガラスびんの中に、むらさきキャベツでつくれた指示薬をストローで取って入れます。びんの中の雨水の3分の1くらい(量)になるまで、繰り返して入れてください。</p>
2		<p>日時、場所の違いで、採取した雨の酸性の具合が色の变化で現れます。微妙ですが、色の違いを写真のサンプルと比較して確かめてください。 ※指示薬は、時間の経過とともに少しずつ微妙な色の变化を起こします。サンプルは指示薬を入れてから、約24時間経過したものです。印刷のため実際の色とは多少違いがありますので、だいたいの目安としてください。</p>

5) 参考 URL

NGK サイエンスサイト

URL : <http://www.ngk.co.jp/site/no35/exam.htm>

生物調査

1)調査場所

- ・川

2)準備物

- ・受け網
- ・バケツ
- ・シャーレ
- ・ルーペ
- ・ピンセット

3)調査方法





4)参考 URL

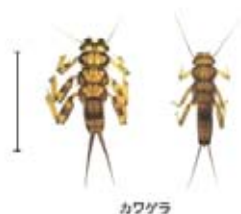
岐阜県まると環境パビリオン
カワゲラウオッチング普及事業

URL : <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/ecopavilion/mizu/kawagera/index.htm>

5) 参考資料

きれいな水 (水質階級 I) の指標生物

カワゲラ
 尾は2本で、胸の下面や腹の末端にふき状のエラがある。足のツメは2本。
 沢流の石の罅や、流れがゆるやかに落葉などがたまっているところを好んで生きている。
 日本産は約150種類。
 ●まちがえやすい生物
 カゲロウ類とまちがえやすいが、腹に木の葉状のエラがない。



カワゲラ

ヒラタカゲロウ
 足のツメは1本で、尾は長く2本。目が上についており、体全体が早たくカレイのような形。腹の両側に木の葉状の大きなエラがある。
 流れの速いところの石に体を密着させて生活している。
 ●まちがえやすい生物
 カワゲラとまちがえやすい。



ヒラタカゲロウ

ナガレトビケラ
 体は細長いイモムシ状で、足は3対。腹の色はうすく、やや緑がかった。頭と胸の腹が固くなっているが他はやわらかい。
 肉食の種類が多く、上流の水速の低い、きれいなところにいる。
 幼虫は網や葉をつくらずに石の上や側を歩く。



ナガレトビケラ

ヤマトビケラ
 体は太くイモムシ状で、足は3対。色は茶色で、頭と胸は固くて茶色。背の甲のようなせつぷの鱗をがついでいるのですぐ分かる。
 腹の下面には腹と尾節を出す穴がある。



ヤマトビケラ



ヘビトンボ



フユ



アミカ



サワガニ



ウズムシ

ヘビトンボ
 大きな強いアゴをもち、腹に糸のような横にのびる長い突起があり、付け根にエラがある。
 肉食性で他の水生昆虫をエサにする。川底の石の下にいる。

フユ
 体はこげ茶色で、腹の後方が太くなっている。お尻に吸盤とエラがあり、吸盤で流れの速いところの石の表面や草につくっている。日本でおよそ30種。人の血を吸うのはアオキツメダケフユを含めて5種類くらいである。

アミカ
 脚から2本の船角を突き出し、ロボットのような形をしている。腹に6個の吸盤があり、吸盤で急流の岩の上についている。

サワガニ
 甲羅の大きさは2~4cmで、色は赤味がかったものから青味がかったものまであり、比較的強いところの石の下にいる。
 産卵の太いのがメス、長いのがオス。本州で淡水域で一生涯を過ごすカニはこの種類だけである。
 ●まちがえやすい生物
 海に近い川では、海からモクスガニが上がってくるが、モクスガニは、ハサミや足の背に毛が生えている。

ウズムシ
 体の色は茶色、ぬずみ色、黒色。体はやわらかく、切れやすい。また、体には筋(体節)がない。一般にプラナリアとよばれ、小川の速い流れの石の上を流れるように生ずる。
 ●まちがえやすい生物
 ヒル類に似ているが、ヒル類には腹の前後の腹に吸盤があり、シャクトリムシのように動く。

線の長さは実物の大きさの目安です。

少しきたない水（水質階級Ⅱ）の指標生物

コガタシマトビケラ

頭の先に小さなくぼみがあるのが特徴で、頭と胸は赤茶色をしている。腹は鮮やかなうす緑色から緑がかった茶色、あるいは茶色などいろいろな色をしている。



コガタシマトビケラ

オオシマトビケラ

頭から胸にかけて固く、うすい茶色である。他は茶色から緑色でやわらかく、頭の上部の平たい部分が広いのが特徴。

さなぎは石粒などを使って固めた巣で過ごす。

- まちがえやすい生物
- シマトビケラとまちがえやすい



オオシマトビケラ

ヒラタドロムシ

体は固く、平たい円形が卵形で、色は黄色か茶色。足は3対あるが、背の方からは見えない。流れの速い瀬の石の表面について生活している。



ヒラタドロムシ

ゲンジボタル

体は黒色で、胸の一番前の節（頭のように見える）に、トランプのスペードの模様がある。ヘイケボタルはよく似ているが、ゲンジボタルの方が大きい。ヘイケボタルでは十文字形の模様がある。



ゲンジボタル



コオニヤンマ



スジエビ



ヤマトシジミ



イシマキガイ



カワニナ

コオニヤンマ

体は赤茶色で、薄い平らな広葉状あるいはうちわ状の形をしている。触角もうちわ形。流れの比較的おだやかなよどみの底で生活している。

スジエビ

体にはこげ茶色の模様があり、海水が少し混ざっている汽水域にもすんでいる。

- まちがえやすい生物
- ヌマエビなどとまちがえやすい。

ヤマトシジミ

二枚貝で、殻は小さいうちは青緑色だが、成長すると黒色になる。

- まちがえやすい生物
- マシジミとまちがえやすいが、マシジミは淡水にすんでいる。

イシマキガイ

殻は固く、石についている。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。

カワニナ

殻は細く、長い。殻の上部が欠けていることが多い（殻高1.5～3 cm）。殻の表面は黄土色またはこげ茶色で、ザラザラしている。石に付着していることもあるが、砂まじりの川底にいることもある。塩分のあるところにはいない。

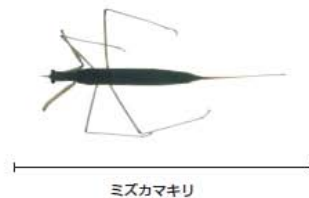
縦の長さは実物の大きさの目安です。

きたない水（水質階級Ⅲ）の指標生物

ミズカマキリ

大きさは7cmくらいで体は細長い。陸上にいるカマキリのように、前足でほかの小動物をつかまえて、その体液を吸う。

池や沼、水田にすんでいるが、川岸の流れのゆるやかな場所にもすんでいる。



ミズカマキリ

タイコウチ

大きさは6cmくらいで体は平たく、全体にこげ茶色で泥状はない。ミズカマキリと同じように前足でほかの小動物をつかまえて体液を吸う。頭は小さく、目が飛び出ており、腹の後端に2本の細長い呼吸管がある。

池や沼、水田など流れのゆるやかな浅い場所にすんでいる。



タイコウチ

ミズムシ

体長は大きくなっても1cmくらいで、ダンゴムシに似た形で平たくなっている。足は5対以上で、ゆっくりはう。体は汚れたような灰色または茶色。川にすむのは1種類で、あとは地下水にすむ。

●まちがえやすい生物
川の上流部にはよく似たヨコエビもいるが、ヨコエビの体は左右に平たく、ときには赤みをおびる。



ミズムシ

イソコツブムシ

陸にいるダンゴムシに似て、体を丸めることができる。砂まじりの川底や石の筒にいる。海水の少し混じった汽水域にすんでいる。



イソコツブムシ



ニホンドロソコエビ



タニシ



ヒル

ニホンドロソコエビ

体は縦に平たく、ちぎれやすい。また、細長い触角があり、泥の多い川底にいる。

海水の少し混ざった汽水域にすんでいる。

タニシ

タニシの主な種類は4種類である。殻は薄く、赤茶色のふたがあり、泥底にすんでいる。

ヒル

大きさは3～4cmで、はげしく伸び縮みし、体節がある。

体は平たく、背面から見ると円柱形、長卵形で、腹の前後の端に吸盤があるが、前の吸盤は見にくい。

水に沈んでいる石などの裏側にすんでいる。淡水域にいる日本産ヒル類は約30種類。

●まちがえやすい生物
ウズムシ類とまちがえやすいが、シマ模様があり

縦の長さは実物の大きさの目安です。

大変きたない水（水質階級Ⅳ）の指標生物

セスジユスリカ

中型のユスリカで大きさは1.5cmくらい。赤色。腹の下方の節に2対のエラがある。流れのあるところに泥などチューブ状の巣をつくって生活している。

- まちがえやすい生物

赤色のユスリカは非常に多くの種類があり、上流のきれいな場所で見つかるものもある。



セスジユスリカ

チョウバエ

大きさは8mmくらいで、細長く、足はない。下水、排水溝などにすんでいる。尾に長い突起（呼吸管）がある。



チョウバエ

アメリカザリガニ

大きさは10cmくらいで、流れがゆるやかで浅い泥の多い川底にすんでいる。北アメリカから入ってきた外来種。

- まちがえやすい生物

北海道や東北地方などには、きれいな水にすむものとも日本にいた別種類のザリガニがいる。



アメリカザリガニ

線の長さは実物の大きさの目安です。

サカマキガイ

殻のどがった方を上にして見て、口が左側についているのが特徴。流れのないところでは水面に逆さ向きになっていることがある。



サカマキガイ

エラミミズ

大きさは最大4cmくらい。ピンク～赤色の糸状でちぎれやすく、頭ははっきりしない。頭を泥の中に入れ、尾を水中に出してゆすり、水の流れをつくって呼吸している。水中の酸素量が少なくても生活できる。尾に多くの糸状のエラがある。



エラミミズ

(参考：環境省 全国水生生物調査のページ)

URL： <http://www2.env.go.jp/water/mizu-site/mizu/suisei/chosa/ikimono/files/slide0001.htm>

参考資料 1) 大気(空気)調査方法と機器参考サイト

対象	機器	自作	機器 購入	出典/販売元	URL
NOx	空気のごれ「はかるくん」			合同出版(株)	http://www.godo-shuppan.co.jp/t02_main.html
	空気のごれ「はかるくん」			ケニス(株)	http://www.kenis.co.jp/onlineshop/2008/06/1165215.html
	空気のごれ「はかるくん」			エコーL教材	http://kyouzai.ocnk.net/product/212
	ザルツマン試薬			テックジャム	http://www.tech-jam.com/items/kn3165187.phtml
	二酸化窒素をはかろう			環境省	http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html
CO2	気体検知器			エコーL教材	http://kyouzai.ocnk.net/product-list/77
	自動車排ガス調査(粉塵, NO _x , CO2等)			環境省総合環境政策局	http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html
粉じん	マツの葉による調査			千葉県環境研究センター	http://www.wit.pref.chiba.jp/_kikaku/matuba/manual/manual.htm
	両面テープを使った調査			環境省総合環境政策局	http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html
	タイルを使った粉じん調査			環境省総合環境政策局	http://www.ceis.or.jp/kankyogakushu/kankyo/activities/index.html

参考資料 2) 水質調査方法と機器参考サイト

対象	機器	自作	機器	出典/販売元	URL
透視度	透視度計			神奈川県(ペットボトル)	http://www.agri-kanagawa.jp/tikugi/osirase/omosiro/H18/tousidokei-tukuro.pdf
				浦和市(ペットボトル)	http://www.city.urasoe.lg.jp/archive/8761234/enhozen/urasoe-envmap/kansatsu/tousido.htm
				サンプラテック	http://www.sanplatec.co.jp/category_spec.asp?arg_category_id=1099
				テックジャム	http://www.tech-jam.com/water-quality_measurement/transparency_meter/transparency_meter_compsheet.phtml
				共立理化学研究所	http://www.endokagaku.com/water_analysis/turbidity-meter/index.html
				池本理化工業研究所	http://www.ikemoto.co.jp/environment/003.html
COD	パックテスト			テックジャム	http://www.tech-jam.com/water-quality/pack-test/index.phtml
				共立理化学研究所	http://www.tech-jam.com/water-quality/water-quality-test/KN3165016.phtml
				共立理化学研究所	http://www.endokagaku.com/packtest/pack-set/pack-book.html
	デジタルパックテスト			共立理化学研究所	http://www.endokagaku.co.jp/shop/packtest/d-packtest/index.html
パックテストによる調査			国土交通省中国地方整備局	http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/gakusyuu/pdf/c/c_2_1_6.pdf	
pH (酸性雨)	リトマス試験紙			-	http://plaza.rakuten.co.jp/ruretto993/diary/200708100000/
	お茶を使った指示薬			知識の泉	http://www7a.biglobe.ne.jp/~gakusyuu/sanarukari/siziyaku/ryokutya/ryokutya.htm
	pH計、pHメータ			佐藤商事	http://www.ureruzo.com/ph0000.htm
	デジタルpHメータ			シロ産業	http://www.webshiro.com/syohinsetumei/MF6K-21PHF.htm
	PH試験紙			aquamind laboratory	http://aquamindlaboratory.com/products/assay/ph_kit.html
	リトマス試験紙			テックジャム	http://www.tech-jam.com/water-quality_measurement/pH-ORP_others/kn3138052.phtml
	pH調査(紫キャベツを使った指示薬)			NGKサイエンスサイト	http://www.ngk.co.jp/site/no35/exam.htm
生き物	生き物調査			岐阜県	http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/ecopavilion/mizu/kawagera/index.htm
総合	水質調査(透視度, COD, pH)			国土交通省中国地方整備局 宇部港湾事務所	http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/gakusyuu/pdf/c/c_2_1_6.pdf

4.本年度の情報提供・広報活動の概要

4.1 情報提供・広報啓発の概要

「交通・環境学習」を、継続・発展させていくためには、実際の学習現場での取り組みを関係者に配信して情報を共有する事が不可欠である。

平成21年度の御嵩小学校の取り組みでは、関係各位が精力的に情報提供に取り組み、計画した情報提供・広報の取り組みはほぼ実現することができ、非常に充実した情報提供と広報が実施できたと考えられる。

しかし、提供すべき情報源は学校にある一方で、情報提供と広報の取り組みをすべてにわたって学校が分担するには労力が大きすぎるため、その望ましい役割分担と仕組みを構築していく必要があるといった課題が指摘されている。

このため、持続的な取り組みに向けた情報提供・広報啓発の役割分担と仕組みの構築に向けた検討を行う。

実施する情報提供と広報の枠組みは、以下に示す通りとするが、これらの情報提供・啓発活動には、関係者の多大なる協力が必要であり、関係者への依頼、協議を行ったうえで、可能な範囲で実施する（表4.1）。

情報提供・広報活動の枠組み

理解の推進と普及に向けた取り組み

- ・教師及び学校関係者に対しては、授業を積極的に公開して授業に触れていた
だくとともに、授業の成果及びカリキュラムなどの資料をホームページ等に
蓄積、公開する。
- ・保護者、町民に対しては、交通環境学習への取り組みを理解していただくた
めに、授業の成果を発表する場を設けるとともに、関連するイベントでの発
表を行う。

情報提供、広報の推進

- ・町ホームページ、広報誌などで「交通・環境学習」の取り組みを積極的に広
報して、広く町民に知っていただく努力をする。
- ・広く取り組みを知っていただくために、マスコミへの報道依頼、学会やイベ
ントへの報告を積極的に行う。

表 4.1 情報提供・広報活動の枠組み

ねらい	活動名称	対象	媒体・具体的方法
理解の推進と普及に 向けた取り組み 情報提供、 広報の推進	研究公開授業	小学校教員	公開授業案内、公開授業と研究会
	報告書配布	関係機関・団体・町内小学校	報告書概要編制作・配布
	交通・環境学習データベース(HP)	関係機関・団体・町内小学校・教員等	教材、授業記録などを蓄積装置に格納し、ホームページ等で公開
	学校便り等	保護者・教員	学校便り「御嵩小広報」など
	広報紙による広報	町民・一般市民	実施結果ニュース、(御嵩町ホームページとリンク)
	御嵩町ホームページ	町民・一般市民	実施結果ニュース(ポータルサイト)、広報紙「ほっとみたけ」(月刊)
	マスコミ	町民・一般市民	新聞・テレビ・ラジオ放送等による報道依頼
	学会・イベント等での報告	関係者	学会・イベントなどでの報告

4.2 本年度の情報提供・広報活動

(1)情報提供・広報活動の概要

本年度に実施した情報提供・広報の取り組みを、表 4.2 に示す。

授業の公開は、新たに取り組みを開始した上之郷小学校でも、学校行事の中で発表会として実施した。

また、新たに、御嵩町教育センターホームページで「交通・環境学習」参考資料を公開して活用していただけるようになるとともに、御嵩小学校ホームページでも取り組み記録をアップした。

さらに、本年度は「御嵩町環境フェア 2011」での発表会開催、「名鉄広見線活性化ニュース」での紹介などの新たな広がりを見ることができた。

表 4.2 平成 22 年度情報提供・広報活動の概要

活動名称	実施概要	備考
研究公開授業	・上小祭り(上之郷小) ・全校研究会:3年、6年(御嵩小) ・部内研究会:2年、4年、5年(御嵩小)	「上小祭り」は一般公開
報告書配布	・報告書概要編制作・配布	平成 21 年度の報告書は配布済み。
交通・環境学習データベース(HP)	・「御嵩町教育センター」ホームページに、「交通・環境学習参考資料」を蓄積、公開。	御嵩町教育委員会
学校便り等	・「御嵩小学校報」での情報提供	保護者通信
広報誌による広報	・御嵩町広報誌「ほっとみたけ」への記事掲載(月刊)	総務部企画課と連携
ホームページ	・御嵩町ホームページ/ニュースでの広報 ・小学校ホームページでの広報(御嵩小)	総務部企画課と連携
マスコミ	(マスコミへの記事掲載依頼)	
学会・イベント等での報告	・「御嵩町環境フェア 2011」での発表会(平成 23 年 2 月 26 日(土)) ・第 5 回日本モビリティ・マネジメント会議での紹介(平成 22 年 7 月 30 日～31 日)	
その他	・「名鉄広見線活性化ニュース」での紹介	名鉄広見線活性化協議会

(参考表1) 平成21年度情報提供・広報活動の概要

ねらい	方法	実施概要	備考
理解の推進 と普及・啓発	研究公開授業	・全校研究会:2年、4年、5年 ・部内研究会:3年、6年	教員通信「はなみずき(2009.6)」アナウンス
	報告書配布	報告書概要編制作・配布(3月中に配布予定)	平成20年度の報告書は配布済み。
	「標語・提言」掲示板	町内主要地点に「標語・提言」掲示板を設置して取り組みをアピール(3/15の週に掲示予定)	
	広報誌紙	「御嵩小広報」(No.1546, No.1550の2回発行)	保護者通信
		広報紙「ほっとみたけ」(1月号、3月号)	総務部企画課と調整
展示	「ぼくらの電車いきいきプラン」～御嵩駅美術館展示～(H22年3月)	名鉄の協力	
情報提供・広報	御嵩町ホームページ・ニュース	ニュース(TOP news:御嵩駅美術館展示のニュース)	総務部企画課と調整
	御嵩町教育センターホームページ・ニュース		
	マスコミ	・新聞報道:クルマ大集合、「ぼくらの電車いきいきプラン」～御嵩駅美術館展示～ ・CATV:クルマ大集合	岐阜新聞、中日新聞 ケーブルテレビ可児
	学会・イベント等での報告	「第1回土木と学校教育フォーラム」 土木学会教育企画・人材育成委員会「土木と学校教育会議」検討小委員会(平成21年8月)	

(2)本年度に実施した情報提供・広報活動

1)研究公開授業

- ・「上小祭り」：学校行事として保護者、校区内町民に開かれた日頃の学習成果を発表する場を設けることができた(上之郷小学校)。「上小祭り」において、4年生が「エコする子はええ子」と題して、成果発表、クイズ、ゲームを通して、交通・環境学習の成果を発表した。
- ・研究公開授業の実施：町内の小学校に案内して全校研究会には多くの教員が参加した(御嵩小学校)。

表 4.3 「上小祭り」における4年生の発表概要

第4学年 単元名 わたしたちのできるエコ

自分たちの行ったエコをまとめよう	・児童が実践したエコについて模造紙などにまとめ実践の振り返りと今後もエコに気を付けようとする意欲をもつことができる。	・各家庭で実践したことやその効果をまとめる ・自分たちの実践を他にも分かるようにまとめる	・自分たちで実践したエコを分かりやすくまとめることができる	・遠くのお客様にも分かるという視点でまとめさせる
------------------	--	---	-------------------------------	--------------------------

展示する内容を話し合った時の様子

T どんなことを発表したらいいのか？

C ・エコについて

・わたしたちのできるエコ

・全校の皆さんにエコについて発表した様子や上小祭りで発表した様子を通して4年が頑張っていることを知らせたい

T どんなことに気を付けてまとめますか？

C ・見た人が分かるように

・字の大きさや見出しに気を付けて

展示する内容を話し合った時の様子

・自分たちで実践したエコ:こまめに電気を消す、テレビを見る時間を減らす、水道の水を節約する、クルマでの送り迎えをやめる など

上小祭りプログラム

1, 期 日

平成23年1月29日(土曜日)

2, 日 程

9:00 ~ 9:20 開会式(体育館)

9:30 ~ 12:00 各学級の発表

9:35 ~ 10:00

6年生ステージ発表【タイムトリップ上之郷】

10:10 ~ 12:00

1年2年ブース発表【みんなで あそぼう】

3年ブース発表【大豆はかせになろう】

4年ブース発表【エコする子はええ子】

5年ブース発表【福祉について】

	10:10	20	30	40	50	11:00	10	20	30	40	50	12:00
1年2年 (多目的室)	あそびコーナー 25分								あそびコーナー 25分			
3年 (3年教室 +家庭科室)	紙芝居 20分			紙芝居 20分				ゲームコーナー 50分				
4年 (図工室)	成果発表・クイズ・ゲーム 50分					成果発表・クイズ・ゲーム 50分						
5年 (ランチル ーム)			体験コーナー レポート等 25分			体験コーナー レポート等 25分			体験コーナー レポート等 25分			

12:15 ~ 13:15 昼食・歯磨き
(保護者の方も歯ブラシ・コップを持参して、食後に親子そろって)

弁当(各自)
味噌汁(PTA役員)

12:45 ~ 13:15 リサイクルバザー

*この時間に売れ残った物がある時には、閉会式終了後に
再度開店します。

13:20 ~ 13:50 閉会式(体育館)

「歯に関わる発表」(本部役員ほか)
「冬休み歯みがき表彰」(母親委員会)

14:10 ~ 15:00 後かたづけ・学級ごとの反省会

15:20 一斉下校



写真 4.1(1/3) 上小祭り(観劇)



写真 4.1(2/3) 上小祭り(クイズ・ゲーム)



<クイズラリーの景品>



<ゲームの景品>

写真 4.1(3/3) 上小祭り(リサイクル景品)

2)報告書配布

- ・平成 21 年の報告書を、関係機関・団体に配布した（御嵩小学校）
（平成 22 年度報告書も同様に配布する予定）

3)交通・環境学習データベース(HP)

- ・「御嵩町教育センター」ホームページに「交通・環境学習参考資料」のサイトを新設し、指導計画及び実践紹介を格納して、関係者が閲覧、活用することを可能にした。



図 4.1(1/2) 「御嵩町教育センター」ホームページ画面(その 1:TOP)



図 4.1(2/2) 「御嵩町教育センター」ホームページ画面(その 2: 参考資料のページ)

4)学校便りへの掲載：「御嵩小校報」

- ・御嵩小学校保護者対象の広報紙への情報提供を行った。
 - 「御嵩小校報」第 26 号(2010.06.15 発行):「わたしのまちをたんけんしよう」の取り組み紹介(2年生)
 - 「御嵩小校報」第 29 号(2010.07.02 発行):「御嵩町の歴史の扉を開こう」の取り組み紹介(6年生)
 - 「御嵩小校報」第 59 号(2010.10.15 発行):「きょう土に伝わる願い～ぼくらの電車いきいきプラン～」/みたけの鉄道 90 年史(4年生)
 - 「御嵩小校報」第 69 号(2010.11.11 発行):交通・環境学習支援事業の紹介
 - 「御嵩小校報」第 70 号(2010.11.11 発行):「きょう土に伝わる願い～乗って残そうふるさとの電車～」(4年生)
 - 「御嵩小校報」第 112 号(2011.02.23 発行):「御嵩町環境フェア 2011」御嵩小交通環境学習の取り組みの展示発表告知

み たけ しょう こう ほう

御嵩小校報

平成22年度 第26号 6月15日

学校の教育目標
のびよう きたえよう
せいもっぱい



- ・みんなで学ぶ子
- ・たすけあう子
- ・けんこうな子

【学習指導】

【御嵩小学校研究主題】

主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ よりよい生活を目指す子の育成

—「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通して—

本校は、「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通し、主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ、よりよい生活を目指す子どもの育成を目指して、本年度の校内研究をスタートしました。

身近な交通・環境について、児童の実態や地域の実情を踏まえ、つきたい力や評価規準を明確にした指導計画を作成し、自ら問題を見つけ、自ら考える問題解決学習の指導や実践への意欲につながる評価を工夫改善していきます。

第1回研究授業を6月10日（木）の2時間目に、2年1組が公開して実施しました。

「まちのひみつ」を 分かりやすく発表した2年生！

2年1組の研究授業は、生活科の「わたしのまちをたんけんしよう」の単元で、本時までに御嵩駅東側を探検し、見つけた「まちのひみつ」を建物、人、道路、自然に分けて、色別のカードにまとめていました。

本時は、見つけた「まちのひみつ」をみんなで発表しあい、もう一度「くわしく見てみたいことや聞いてみたいことを見つけよう」という課題の授業でした。子どもたちは、「わたしは、自然について話します。6ぼんの原写真館できれいな花を見つけました。」というように、発表の仕方をきちんと活用して、友だちに分かりやすく発表することができました。そして、もう一度探検に行って詳しく見てみたいことをまとめました。



▲探検用の地図



▲「まちのひみつ」のまとめカード



▲分かりやすく発表



▲聞く姿勢もバッチリ

図 4.31(1/6) 御嵩小学校報（その1）

み たけ しょう こう ほう

御嵩小校報

平成22年度 第29号 7月2日

学校の教育目標
のびよう きたえよう
せいりっぱい



- ・みんなで学ぶ子
- ・たすけあう子
- ・けんこうな子

【学習指導】

【御嵩小学校研究主題】

主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ よいよい生活を目指す子の育成

—「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通して—

本校は、「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通し、主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ、よいよい生活を目指す子どもの育成を目指して、校内研究を推進しています。

身近な交通・環境について、児童の実態や地域の実情を踏まえ、つきたい力や評価規準を明確にした指導計画を作成し、自ら問題を見つけ、自ら考える問題解決学習の指導や実践への意欲につながる評価を工夫改善しています。

第2回研究授業を6月25日（金）の3時間目に、6年3組が公開して実施しました。指導講師として、可茂教育事務所教育支援課学校教育担当課長補佐青木孝憲先生をお招きしました。また、向陽中学校の先生方にもご参観いただきました。



▲6年生の発表

「中山道」について 分かりやすく発表した6年生！

6年3組の研究授業は、総合的な学習の時間の「御嵩町の歴史の扉を開こう」のテーマで、御嵩町の交通の中心である旧中山道を見学し、各自が中山道についての課題を持ち、同様な課題でグループに分かれて調べ、発表・交流を行うものです。

子どもたちは、右記の8つの課題について調べました。

当日は、最後の「⑦宿について」と「⑧東山道との関わり」についてのグループが発表しました。調べてきたことを聞いている人によくわかってもらおうと、絵や地図を使ったり、クイズを入れたりするなど、大変工夫があり、よく分かる発表でした。実に見事でした。指導講師の先生からも向陽中学校の先生からも、「本当によく調べていますね。」「すばらしい発表の仕方ですね。鍛えられていますね。」等々と、ほめていただきました。

- ①五街道について
- ②経路を地図に整理する
- ③中山道沿いにつくられたもの
- ④皇女和宮について
- ⑤どうやってつくったのか
- ⑥どんな人たちが利用したのか
- ⑦宿について
- ⑧東山道との関わり

「中山道」についての思いを発表した6年生！

8グループの発表が全て終わってから、今までの発表を通して、中山道についての思いを発表しました。

「通る人のために一呑清水があり、敵が攻めにくいように鍵の手があるなど、工夫された道だと思いました。」

「旅人や有名人など、いろんな人に愛された道だと思いました。」

「景色も美しいし、旅人にやさしい道だと思いました。」



▲各グループの資料を活用し、自分の思いを発表する6年生

は避け、休むところもいっぱいあり、人々の思いがいっぱいつまった道だと思いました。」

「こんな中山道が御嵩を通過していて、すごいと思いました。」等々。子どもたちの思いについても、参観の先生方から称赞の声があがりました。御嵩小学校の6年生の素晴らしさを発揮した研究授業でした。

図 4.3(2/6) 御嵩小学校報（その2）

- ・学力向上の取組として、家庭学習の充実を図ってみえるが、達成度はどうか。家庭学習は家庭で培われるもので、子どもだけでなく、親の指導も必要である。低学年のうちから、一定の時間は座って勉強機に向かうという習慣などをきちんとつけさせるようにしたい。
- ・聞く力を高めるには、読む力が必要である。読書を盛り上げ、朝の会等で自分が読んだ本の一口感想を発表するなど、仲間同士で読書に興味を持たせるような工夫が大切である。
- ・御嵩町教育夢プラン二次改訂に取り組んでいる。学力向上等のためにも幼保小中の連携を大切に。
- ・前期御嵩小学校の教育についての評価アンケートに係る感想・意見等には、その一つ一つにきちんと正対し、改善策等についてきちんと応えていくことが重要である。その姿勢が信頼関係につながる。
- ・授業の中でじっくりと考える場を意図的につくっていくことが大切である。授業で「これとこれの長さのちがいはどうですか？」と問われ、子どもたちは「え〜？」と言って考えていた。いい例であった。そして、どの子にも、問われていることが分かるようにしていきたい。
- ・学力の定着に向けての見届けを大切にしたい。発達段階に応じた見届けとして、音読カードや家庭学習カードの取組は有効である。中学生では自分で見届けていくようにしていきたい。
- ・御嵩小学校の図書館教育の高まりは素晴らしい。松川教育長も読書の重要性を述べている。学力の基礎の基礎の基礎のところは、言葉の力を高めていくことである。言語活動を重視したい。

みたけの鉄道90年史

10/9～12/12 中山道みたけ館へ行こう！

博学連携による学習を目指して

明治5年、新橋～横浜間に鉄道が開設されると、路線は全国に拡大し、それまでの宿駅制度に代わり、鉄道は陸上交通の主役となりました。明治33年に中央線が多治見まで開通し、多治見駅一帯が急激に繁栄するようになると、御嵩も多治見方面と鉄道で結び近代化を図ろうという気運が高まってきました。大正3年、地元の有力者らが発起人となり、御嵩～多治見間を結ぶ鉄道会社「東濃鉄道株式会社」が設立され、大正7年に新多治見駅から広見駅に至る区間が開通しました。この東濃鉄道が大正9年に御嵩まで延長され、現在の御嵩町地域に待望の鉄道がやってきました。その後、太多線建設により区間を縮小しながらも、東美鉄道として再出発、名古屋鉄道との合併を経て、現在は名鉄広見線として、地域の人々の大切な移動手段として運行されています。



▲御嵩駅（現在の御嵩口駅）の発車風景 大正9年

中山道みたけ館の特別展は、今年が御嵩町における鉄道の開業から90年にたることから、この地域における鉄道にスポットをあて、その変遷を当時の資料や写真などにより紹介しています。御嵩小学校の4年生は、社会科の学習で「きょう土に伝わる願い ～ぼくらの電車いきいきプラン～」の学習の一環で、中山道みたけ館の特別展を見学し、「みたけの鉄道90年史」について学習しました。博学連携（博物館と学校の連携）による学習です。



▲中山道みたけ館




▲特別展の見学

図 4.3(3/6) 御嵩小学校報（その3）

御嵩小校報

平成22年度 第69号 11月11日

学校の教育目標
のびよう きたえよう
せいりっぱい



- ・みんなで学ぶ子
- ・たすけあう子
- ・けんこうな子

【学習指導】

【御嵩小学校研究主題】

主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ よりよい生活を目指す子の育成

—「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通して—

本校は、「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通し、主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ、よりよい生活を目指す子どもの育成を目指して、校内研究を推進しています。身近な交通・環境について、児童の実態や地域の実情を踏まえ、つけたい力や評価規準を明確にした指導計画を作成し、自ら問題を見つけ、自ら考える問題解決学習の指導や実践への意欲につながる評価を工夫改善しています。

第3回研究授業を11月5日（金）の3時間目に、1年3組が公開して実施しました。指導講師として、可茂教育事務所教育支援課学校教育担当課長補佐岡田海保先生をお招きしました。

作ってみたい やってみたい あそんでみたいな

1年3組の研究授業は、生活科の「はっぱのいろがかわったよ。～みたけのあきとあそぼう～」という単元名で行われました。これは、御嵩町の自然と関わる中で季節ごとの自然の変化に気づき、自然を身近に感じ、自然との関わりの楽しさを実感させたいというねらいのもとに行われた学習です。

遊びについてのアンケートをとったところ、子ども達は、ゲームやテレビに夢中で、自然の物を使った遊びに触れることが少ないことがわかりました。でも、子ども達は、この授業の前に百年公園や地域の白山神社に行って、秋の落ち葉やドングリの実を使ってこままわしをするなどたくさん遊んで、楽しんでくることができました。

研究授業では、担任の先生から、百年公園や白山神社で遊んだ以外の、どんぐりなど自然の物を使った楽しい遊びをみせてもらいました。そして、見せてもらったそのおもちゃの中から、次に白山神社に行ったときに、どのおもちゃを作ろうか決めよう、といった内容の授業でした。

子ども達は、先生から「どんぐりやじるべえ」「葉をつかったこすりだし絵」「ペットボトルを使ったどんぐりエレベーター」など自然を使った工夫のあるおもちゃを見せられるたびに、大きな歓声をあげていました。「遊んでいいよ。」の先生の声で子ども達は、まっすぐに自分がやりたいと思った道具の所に行って遊び出しました。その時の子ども達の目や表情は生き生きとしており、自然を使った物で遊ぶことの楽しさを満喫していました。

最後には、白山神社に行った時には、どんなおもちゃを作るか、そのためにどんな自然素材を集めるかを自分で決めて、みんなに発表することができました。きっと、自然の素材のよさを感じてくることでしょう。本校では、交通環境学習を行っています。豊かな自然や季節ごとの自然の変化などに気づくために、歩き、自然を見、自然に触れてきました。交通機関としての「歩く」ことの価値を実感させることもできてきています。



▲遊びの紹介



▲こすりだし絵



▲どんぐりロケット



▲どんぐりエレベーター



▲発表

図 4.3(4-1/6) 御嵩小学校報（その 4-1）

交通・環境学習で 歩いて楽しい御嵩町づくりを！

①「交通・環境学習」のめざすもの 【交通エコロジー・モビリティ財団より】

交通は、私たちの日々の生活活動に深く結びつき、便利で豊かな暮らしを実現するために、特に車の利用が増大しています。しかし、モータリゼーションによるさまざまな負の影響とともに、沿道環境の悪化や地球温暖化問題の主原因の一つとして、問題解決への取り組みが強く要請されています。一人一人の便利で豊かな暮らしの追求は、逆に、公共面、社会的に、ひいては地球環境を悪化させていることを勘案しますと、社会的、地球的視野に立って、私たちのライフスタイルを適正にしてい

く必要があります。

**「交通・環境学習」のめざすもの
環境にやさしいバス、電車などの公共交通を利用しましょう。**

②日常生活の中に課題を見つけるよう身近な環境改善の視点を持つ

「御嵩町学校教育の重点」の「環境教育」の重点実践項目「日常生活の中に課題を見つけるよう、身近な環境改善の視点を持つ指導をする。」に取り組むためには、子どもたちに分かりやすく、日常的に実践可能な「身近な環境改善の視点」を明確にすることが重要です。そこで、平成17年3月に策定された「御嵩町環境基本計画」を参考にしました。「御嵩町のめざす環境像」は将来（おおむね20年後）、御嵩町を「こんな環境の町にしたい」という町民・事業者・町の「想い」を言葉として表したものです。めざす環境像を実現するため、次の4つの「環境目標」と「将来の環境イメージ」を掲げています。この「将来の環境イメージ」の内容を、「交通・環境学習」のめざすものの視点から洗い出し、「身近な環境改善の視点」を明確にしてみました。

御嵩町のめざす環境像 自然と共生し 歴史・文化を未来にひきつく 里山のまち みたけ

【環境目標1】豊かな自然をはくむまち

将来の環境イメージ ・里山が保全されて、美しい風景が残されている。また、山菜や松茸をたくさん採ることができる。・森林には落葉樹が多くなり、クワガタやカブトムシが棲んでいる。・自然林が多くなり、森林浴やバードウォッチングが楽しめる。・希少動植物をはじめとした多様な動植物を町内で見ることが出来る。・可児川や各支流でホタルの乱舞が見られる。・自然を守る地域が定められ、動植物の生息・生育地が守られている。・可児川が整備され、多くの親水公園で子どもたちが水に親しんで遊んでいる。・有機栽培が盛んになり、地産地消が進んでいる。

【環境目標2】安心とやすらぎがあるまち

将来の環境イメージ ・自動車の騒音、振動に悩まされず、穏やかに生活ができる。・農薬や除草剤の使用が制限され、適正に使用されている。・数多くの史跡が残され、多くの人が訪れている。・伝統文化が継承されている町になっている。・ごみが落ちていないきれいな町になっている。・可児川の水辺で散策を楽しむことができる。・町のいたる所に、気軽に行くことができる公園がある。・人にやさしい（安全、歩きやすい）道路が整備され、町民が楽しく歩いたり、自転車に乗って移動したりしている。

【環境目標3】地球環境にやさしいまち

将来の環境イメージ ・自転車や公共交通機関を利用する人が増えている。・町を走る車の多くがエコカーとなっている。・多くの家庭で、太陽光発電などの自然エネルギーを利用している。・水資源の有限を自覚し、雨水の利用や水道水の節約と再利用に取り組んでいる。・買い物に出かける時は、皆が買い物かごや袋を持っている。・生ごみが堆肥化などにより有効活用されている。・バザーや不要品交換会が週一回実施されている。・故障した物を安価で直したり、いらなくなった物を交換したりできるネットワークができています。・デポジットにより、使用済みの容器などが再利用されている。

【環境目標4】環境について考え行動するまち

将来の環境イメージ ・環境学習の機会が増え、地域や企業でも環境学習が実施されている。・環境教育が盛んで、幼児期から中学・高校まで実施されている。・里山での清掃活動、森林の保全活動、ため池の整備など、身近な自然を保全する活動が盛んになっている。・自治会などの住民主体型の環境保全活動が展開されている。・近接市町村との環境に関する相互交流が盛んになっている。・企業による環境保全活動が活発になっている。

・自動車の騒音、振動に悩まされず、穏やかに生活ができる。
・人にやさしい（安全、歩きやすい）道路が整備され、町民が楽しく歩いたり、自転車に乗って移動したりしている。
・自転車や公共交通機関を利用する人が増えている。
・町を走る車の多くがエコカーとなっている。
身近な環境改善の視点 ・近頃は、歩くか、自転車でいきましょう。
・クルマの使い方を見直しましょう。（エコドライブ等）

「歩き・み・ふれる」活動を通して 交通環境学習の推進を！


図 4.3(4-2/6) 御嵩小学校報（その 4-2）

み たけ しょう こう ほう

御嵩小校報

平成22年度 第70号 11月11日

学校の教育目標
のびよう きたえよう
せいりっぱい



- ・みんなで学ぶ子
- ・たすけあう子
- ・けんこうな子

【学習指導】

【御嵩小学校研究主題】

主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ よい生活を目指す子の育成

～「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通して～

本校は、「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通し、主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ、よい生活を目指す子どもの育成を目指して、校内研究を推進しています。身近な交通・環境について、児童の実態や地域の実情を踏まえ、つきたい力や評価規準を明確にした指導計画を作成し、自ら問題を見つけ、自ら考える問題解決学習の指導や実践への意欲につながる評価を工夫改善しています。

第4回研究授業を11月9日（火）の3時間目に、4年2組が公開して実施しました。

御嵩の鉄道の歴史を調べ 発表した4年生！

4年2組の研究授業は、社会科の「きょう土に伝わる願い ～乗って残そうふるさとへの電車～」の単元です。この単元は、鉄道敷設に懸ける先人の願いや努力を調べて理解し、利用客や鉄道会社の人々の声を聞くことで、様々な立場の人がいることに気づき、自分たちに何ができるのか考え、それを他者に発信することができることをねらっています。

研究授業では、次の内容について、各グループが調べたことを発表しました。

- ① 鉄道を敷くことに反対した人は
- ② 鉄道が通ると町はどうなるのか
- ③ 平井信四郎さんについて
- ④ 東美鉄道について



▲鉄道を敷くことに反対した人は



▲鉄道が通ると町はどうなるのか



▲平井信四郎さんについて



▲東美鉄道について

グループの発表から御嵩の交通について考えたこと

- ・明治の中頃、国鉄の中央線が御嵩を通る計画があったが、「田畑がつぶれる」「せんたくものがよごれる」「家畜が育たない」などの反対の声でだめになったんだ。今思うと本当に残念だ。
- ・中央線が通った多治見がどんどん発達しているので、なんとか御嵩まで鉄道を敷こうとした平井信四郎さんたちの気持ちがよく分かるよ。平井信四郎さんは、地域のためにいろいろやってくれたから、願興寺境内に石碑がつくられたんだね。可児郡開発の父だね。
- ・東濃鉄道から東美鉄道となり、一日21往復も運転されて、本当に便利になったんだ。混雑時には貨物車にまで人を乗せて運んだなんて、ものすごいたくさんの人たちが鉄道を利用していたんだ。等々

図 4.3(5/6) 御嵩小学校報（その5）

みたけ幼稚園の皆様にも、心より感謝申し上げます。保育参観・体験をした先生方からは、「園児は、とてもしっかりしていました。」「朝の会は、自分たちできちんと進めていました。」「給食の時間は、先生と当番さんが配膳し、他の園児は、しゃべらずに待っていました。」等々、小学校の職員が思っている以上に、年長組の園児は、しっかりしているということが把握できました。大きな成果でした。幼児と児童が交流する活動の指導に生かしていきたいと思えます。また、参加した職員は、保育士の先生方の指導方法で参考になることが多くあり、今後の指導に生かしていきたいと話していました。ご協力、ご指導、誠にありがとうございました。



▲保育参観・体験

◆**ねらい** ①保育園や幼稚園での幼児の生活の様子を把握して、幼児と児童が交流する活動の指導に生かす。②保育参観や体験を通して、幼児期に身に付けていることを理解し、小学校生活に生かす。

◆**期日等**

・中保育園 年長組訪問	7月29日	午前9時15分から正午まで
・御嵩保育園 年長組訪問	8月24日	午前9時15分から正午まで
・みたけ幼稚園 年長組訪問	8月24日	午前9時15分から正午まで

◆**第3回 御嵩小学校区幼保小交流会 大成功！なかよしあきまつり**

11月30日(火)の2、3時間目に、1年生の生活科で「なかよしあきまつり」を行いました。来年度、御嵩町内小学校等へ入学予定の年長児に、秋の自然物を使った遊びを楽しんでもらおうと1年生が自分達で計画を進めてきました。1年生が招待した、中保育園、御嵩保育園、みたけ幼稚園の108名が御嵩小学校体育館でどんぐりごま、やじろべえ、どんぐりエレベーター、おちばのおめんなどの遊びに夢中になりました。小学校児童と保育園児、幼稚園児が交流を深め、笑顔いっぱい、ふれあいいっぱいのひとときを共に過ごすことが出来ました。園児の皆さんから次のような感想をいただきました。(感想の一部です)



▲どんぐりめいろ

- ・お兄ちゃんやお姉ちゃんと遊んだりお話ができたりして嬉しかったです。
- ・木のはっぱやどんぐり、まつぼっくりなどを使った遊びやゲームがとてもおもしろかったです。
- ・早く小学校へ行きたいな。1年生になるのが楽しみです。

◆**第4回 御嵩小学校区幼保小交流会 新入学児童 入学説明会を実施**

2月4日(金)午後1時20分より、体育館にて、新入学児童入学説明会を実施しました。新入学児童100名は、5年生の引率で校内見学や楽しい遊び等で交流する予定でしたが、5年生にインフルエンザが広がってきたため、急遽変更し、体育館だけの説明会になりました。残念でしたが、生徒指導主事や1年学年主任の先生方の話を、本当にきちんと聞くことができました。挨拶もしっかりできました。素晴らしい姿でした。4月から本当に楽しみです。



▲入学説明会

○**御嵩町環境フェアで5年生が発表します
家族みんなで応援に行きましょう!**

- ◆**時間** 2月26日(土) 午前10時半ごろから
- ◆**会場** 中公民館2階研修室にて
- ◆**内容** 総合学習「大好き！御嵩」の発表

「大好き！御嵩」の学習は、御嵩町の自然環境について、児童が興味をもったテーマを選択し、調べることによって、自分たちの住む御嵩のすばらしさを知り、ふるさと御嵩を好きになるために設定したものです。テーマとして取り上げているのは、「川、森、道」の3つです。調査・実践したことを発表します。応援してください。お早めにご来場お願いします。

○**御嵩小の交通環境学習の取組も展示発表します**

- ◆**時間** 2月26日(土) 午前9時から午後3時まで
- ◆**会場** 中公民館2階 休憩スペースにて
- ◆**内容** 交通環境学習の取組

中公民館の休憩スペースでパネル2枚に展示します。各学年の交通環境学習の研究授業の様子と、交通環境学習に関わる5年生の版画、4年生のポスター、4年生の標語の一部を展示しています。是非ご覧下さい。また、4年生のポスターについては、御嵩町役場名鉄広見線活性化協議会が写真複製したものを50作品ほど展示するそうです。楽しみにして下さい。

図 4.3(6/6) 御嵩小学校報(その6)

5) 広報誌による広報：「ほっとみたけ」への記事掲載

- ・御嵩町広報紙「ほっとみたけ」では、御嵩小学校4年の取り組み「きょう土に伝わる願い～ぼくらの電車いきいきプラン～」で学習のまとめとして自分たちの思いを伝えるために作成したポスターを、毎回の表紙で紹介している。
- ・また、2011.3 No.521では、町内3小学校で取り組んでいる「交通・環境学習」を紹介する記事を掲載した。



図 4.4 御嵩町広報誌「ほっとみたけ」表紙掲載のポスター

町内3小学校では



「交通・環境学習」に取り組んでいます！



昨年度は、御嵩小学校が交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受け、「交通・環境学習」に取り組んできました。本年度から、上之郷小学校・伏見小学校も「交通・環境学習」をはじめました。その取り組みの一部をご紹介します。

★社会見学や遠足で、名鉄電車で多くの子どもたちが乗りました

伏見小学校は、明治村の社会見学・みたけの森の遠足・中山道みたけ館の学習などに利用しました。ほかの小学校や中学校も、さまざまな学習の機会に名鉄電車を利用しました。昨年1年間で、学習のために名鉄電車を利用した小・中学生の人数は、3,000人を超えました。



▲電車に乗って体験学習



▲わたしたちの名鉄広見線

上之郷小学校6年生や御嵩小学校4年生は、御嵩町の電車の歴史を学習しました。名鉄広見線は通勤や通学に利用されていますが、大正時代に御嵩町に線路が敷かれたのは、先人の強い願いと多くの努力があったからだとなりました。また、電車は自動車よりも二酸化炭素（CO₂）の排出量が少なく、地球温暖化の防止に役立っていることを学習しました。

★自然や環境について学習をしました

伏見小学校は、5年生の社会科の授業で環境にやさしい自動車を、5年生・6年生の家庭科の授業では部屋の照明の明るさや住まい方の学習を通して、省エネについて学びました。また、4年生は総合的な学習の時間に、可児川の自然環境について調査をしました。



▲これがエコワットです

上之郷小学校4年生は、「わたしたちのできるエコ」という環境学習をしました。なるべく電車やバスを使うこと、近いところは歩いて行くこと、使わない部屋の電気を消して電気の使用量を減らすことが、地球温暖化の防止につながることを学びました。役場のまちづくり課から「エコワット」という電化製品の「電気料金」「使用電力量」「二酸化炭素（CO₂）排出量」を表示する機器を借りて、環境保全や省エネについて学びました。



▲ごみの量の調査中

御嵩小学校5年生は、「大好き・御嵩」という環境学習をしました。「川」「森」「道」というテーマから、それぞれが調べたいテーマを選んで、調査に出かけました。「道」を選んだ子どもたちは、最近開通した国道21号可児御嵩バイパス道路について調べました。住んでいる人にバイパス道路に関するアンケートを取ったり、道路周辺に落ちているごみを調べたりしました。アンケートには、大型店ができて便利になったけど、自然破壊が心配だという声もありました。

■問い合わせ：学校教育課学校教育係 担当：二村（内線 2311）

図 4.5 御嵩町広報誌「ほっとみたけ」：平成 23 年 3 月号記事

6)ホームページ：御嵩町ホームページ・御嵩小ホームページ

・御嵩町ホームページ及び御嵩小学校ホームページでは、「交通・環境学習」の取り組みや、イベントでの発表等のニュースを広報している。

御嵩見聞録

御嵩町

謹坂のラベンダー畑

677539 携帯サイト サイトマップ ご意見・お問い合わせ 文字サイズ変更

ニュース

■「御嶽宿のひなまつり」を開催しています■

3月9日の「ひなまつり」は、女の子の健やかな成長を願う行事として、古くから伝え受け継がれてきた年中行事であり、ひな人形を飾る風景は、今や日本の風物詩として知られています。

この「桃の節句」の時期にあわせ、現在、まち並みの修景が徐々にすすみつつある「御嶽宿」界隈のみなさんにご協力いただき、「御嶽宿のひなまつり」を開催しています。

通り沿いの家々のみなさんが、店先や軒先などに飾った「ひなかざり」をぜひお楽しみください。

※月・火・水曜日は商店・公共施設のお休みがあるため、木・金・土・日曜日のご来場がおすすめです。

●開催期間 平成23年3月13日(日)まで
●開催場所 中山道御嶽宿界隈
(名鉄「御嵩駅」下車、すぐ)

[添付]
■「御嶽宿のひなまつり」ご案内

[過去3件のニュース]
■御嵩町環境フェア2011開催！
■「御嶽宿のひなまつり」を開催しています■
■「2500メートルの流しそめん」がギネス記録に認定!!

お知らせ

- 日々雇用職員を募集します(御嵩町郷土館) [2011年3月2日～] 生涯学習課
- 次世代育成支援後期行動計画の進捗状況をお知らせします。 [2011年3月1日～] 福祉課
- 御嵩町地域づくり助成募集のお知らせ [2011年3月1日～] まちづくり課
- 子宮頸がんワクチン・ヒブ(Hib)ワクチン・小児肺炎球菌ワクチンの公費負担をします。 [2011年2月28日～] 福祉課
- 平成22年国勢調査「人口速報集計結果」について [2011年2月25日～] 企画課
- 御嵩町議会第11回定例会の開催日程について [2011年2月22日～] 議会事務局
- 名鉄広見線利用によるCO2削減に関するアンケート調査結果をお知らせします。 [2011年2月8日～] まちづくり課
- パスポート申請について [2011年1月7日～] 住民環境課
- 御嶽宿わいわい館で受講できるeラーニング講座について [2010年7月1日～] まちづくり課

ふるさとみずけ 応援寄付金

名鉄広見線活性化協議会
(新可児駅～御嵩駅)
乗って残そう、広見線

人口

2011年3月1日現在

人口	19,469人	(-17)
男性	9,609人	(-8)
女性	9,860人	(-9)
世帯	6,950世帯	(±0)

※()内は前月比

御嵩町の紹介

御嵩町の位置と面積
アクセス
観光情報
名鉄沿線散策マップ
御嵩町航空写真

町長室

町長あいさつ
御嵩町議会定例会あいさつ
施政方針
町長交際費執行状況
町長スケジュール

町勢情報

御嵩町統計書
条例・規則検索

主な施策

第四次総合計画
行政改革
都市計画マスタープラン
がんばる地方応援プログラム

図 4.5 御嵩町ホームページでの広報



御嵩町立御嵩小学校 Mitake Elementary School



ログイン

メインメニュー

- ホーム
- お知らせ
- 行事予定
- 御嵩小ニュース
- 学校だより
- リンク
- お問合せ

トップ > 交通・環境学習

御嵩町では、自然豊かな郷土、中山道をはじめとした歴史や文化などを有する風土を背景として、学校教育の場で、身近な郷土への愛着と公共心を醸成するため、地球温暖化防止をはじめとした環境保全と中山道をはじめとした歴史や文化などの地域に密着した交通をテーマとした「交通・環境学習」を推進しています。

平成20年度は、事業実施準備期間と位置付けて、検討体制を立ち上げ、基礎教材の開発と単元、カリキュラム構成の検討を期しました。

平成21年度は、御嵩小学校がモデル校になって、「交通・環境学習」を実施して検証し、次年度以降の町内全校での取り組みに向けた課題を整理してその対応を検討することになりました。



4年生、「きょう土に伝わる願い～ぼくらの電車いきいきプラン～」

【交通・環境学習の実施】

御嵩小学校で、次のような枠組みで「交通・環境学習」を実施しています。

- 1)対象学年：全学年で取り組む
- 2)授業実施：研究会形式で実施（公開授業を予定する）
- 3)スケジュールとテーマの設定

学年	クラス・児童数	学習教科	単元名	授業実施時期	研究公開授業
1年	3クラス95名	生活	しげんとあそぼう！	1学期～2学期	部内研究会
2年	4クラス111名	生活	どきどきわくわくまちたんけん～わたしのまちをたんけんしよう～	1学期～2学期	全校研究会
3年	3クラス99名	総合	見よう！聞こう！みたけの森しげんたんけん	1学期～2学期	部内研究会
4年	3クラス112名	社会科	きょう土に伝わる願い～ぼくらの電車いきいきプラン～	2学期	全校研究会
5年	3クラス119名	社会科	自動車をつくる工業～御嵩からのエコ大作戦～	2学期	全校研究会
6年	3クラス97名	総合	日本のすばらしさを知ろう～わたしたちの生活と交通・環境から～	2学期～3学期	部内研究会

図 4.6(1/2) 御嵩小学校ホームページでの広報（その 1.TOP）



御嵩町立御嵩小学校 Mitake Elementary School



ログイン

メインメニュー

- ホーム
- お知らせ
- 行事予定
- 御嵩小ニュース
- 学校だより
- リンク
- お問合せ

御嵩小ニュース

《春空のもとで大縄大会【1年、2年】》

環境フェアで5年生発表




2月26日の御嵩町環境フェアで5年生の代表の子達が、総合的な学習の時間に調べてきた御嵩の川、森、道の環境について発表しました。御嵩の自然のよさを知るだけでなく、自然を守るためには、ゴミを出さないことや、リサイクルすることの大切さなどを、発表しました。一人一人が環境を守るために心がけて実践してきたことも伝えて、説得力のある発表ができました。

2011.02.28 月曜日 -御嵩小学校 職員 (閲覧:15) カテゴリ:1.ふるさと学習, 8.郷土愛・奉仕/コメントは受け付けていません。

携帯用アドレス



御嵩小ニュースは携帯でも見られます。

御嵩小ニュース(月別)

- 2011年2月 (7)
- 2011年1月 (9)
- 2010年12月 (15)
- 2010年11月 (10)
- 2010年10月 (32)
- 2010年9月 (18)
- 2010年8月 (3)

図 4.6(2/2) 御嵩小学校ホームページでの広報（その 2.ニュース）

- 7)学会・イベント等での報告：「御嵩町環境フェア 2011」での発表会等
- ・「御嵩町環境フェア 2011」では、交通・環境学習の成果について、展示及び発表会によって、交通・環境学習で学んだ成果を発表した。
 - ・また、(財)交通エコロジー・モビリティ財団が、「第5回日本モビリティ・マネジメント会議」で(平成22年7月30日～31日、福山市)御嵩町の交通・環境学習の取り組みを紹介した。



トップ > ニュースの履歴

トップへ

御嵩町環境フェア2011開催!

環境フェア2011を開催します。
 子ども向け体験型イベント、小中学生による環境学習の発表会や展示、各種団体・企業の展示等を開催します。みなさん、ご家族そろってお出かけください。
 なお、会場にお越しの際は、シャトルバスなど公共交通機関の利用にご協力いただき、車でお越しの場合は町役場駐車場をご利用ください。

テーマ：「環境にやさしいまち みたけ」
 ～みんなで止めよう温暖化 実践しようeco生活～
 日時：2月26日(土) 午前9時～午後3時
 場所：中公民館
 臨時駐車場：御嵩町役場駐車場



リンク
<http://www.town.mitake.gifu.jp/sirase/sirase.cfm?id=1206>

図 4.7(1/3) 「御嵩町環境フェア 2011」の告知

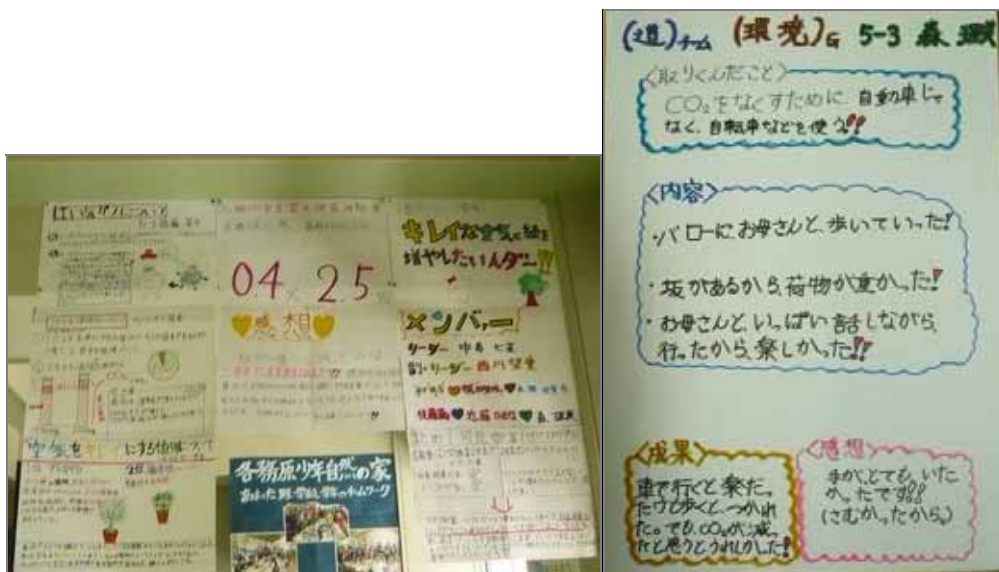


図 4.7(2/3) 「御嵩町環境フェア 2011」でのパネル展示

御嵩町環境フェア2011開催

日時 平成23年2月26日(土)

9時～15時

場所 中公民館

体験・作製講座等の
参加費無料



木工教室の開催



エコワット講座開催

～家の中のどこで電気を使っているかな？
エコワットで調べてみよう～
(※当日にエコワットを貸出しします。)



サンドフラスト(ガラス工芸)体験



ソーラーカーの作製
ペットボトルで風力発電の作製

<その他内容>

- 発砲スチロールでスタンプ作製
- リサイクル自転車抽選会
- エコ・フリーマーケット
- 堆肥の無料配布
- スタンプラリー
- 環境功労者表彰
- 町内小・中学校による環境に関する作品や研究の展示・環境学習発表会
- 各種団体・企業の環境活動内容の紹介
展示・体験コーナー など

豚汁や豆葉子の無料配布もあるよ。環境に配慮した
交通機関を使って、皆さん誘い合わせて参加してね。

【主催】御嵩町 【協力・出展】(順不同) 御嵩町環境マイスター・御嵩町生物環境アドバイザー・オオタカと美しい自然を守る会・東海ガス株・キャリア研修所・KY日株・中部三菱自動車株・三興電通株・花王カスターマーマーケティング株・名鉄広見線を守る会・御嵩町生活学校・手作りハガキを呉れる会・おたけの森環境と研究会・(社)LPガス協会御嵩支部・水土堂株・おたけエコバル・御嵩町農家生活改善グループ・おたけ産・おたけ華すしの会・NPOおたけ500万人の木曾川トラスト・あゆみ館・御嵩地産産・(財)岐阜県地球温暖化防止センター・(財)岐阜県公衆衛生検査センター・東濃実業高校・可成衛生施設利用組合

問い合わせ先 御嵩町役場 まちづくり課 エコ推進係 電話67-2111



図 4.7(3/3) 「御嵩町環境フェア 2011」の概要



写真 4.2 学習発表会の様子



写真 4.3(1/2) パネル展示



写真 4.3(2/2) パネル展示

4.3 今後の情報提供・広報活動の検討

1)課題

「交通・環境学習」の本格的な取り組みの2年目に際して、取り組み校も1校から3校に拡大し、関係機関の協力でより充実した情報提供・広報活動を展開することができたと考えられる。

とくに、本年度は、関係者の皆様のご協力で、新たに御嵩町教育センター及び御嵩小学校ホームページを活用した情報提供、広報を実施することとなった。また、各校ともに、保護者をはじめ広く町民を意識した交通・環境学習の取り組み報告等を精力的に実施していただいた。

このような成果を踏まえて今後の課題を整理すると、以下のようである。

課題1：対象者への遡及効果

- ・これまでの情報提供・広報活動は、おおむね当初計画した対象者への発信はされたと考えてよい。とくに、教員を対象とした研究会形式の公開授業といった学習の理解を普及をめざす取り組みから、ホームページやイベントなどを活用した広く町民に知っていただく広報まで、バランス良く展開されていると評価される。
- ・しかし、今後の「交通・環境学習」の広がり際に際して“協力者”そして“主体者”として期待される対象である教員、専門的識者、および保護者に対して、協力行動意図を活性化したり、主体者としての態度を醸成するといった啓発的な取り組みは、必ずしも十分ではなかったといえる。
- ・今後は、“協力者（保護者や専門的識者）”及び“次の主体者（教員）”に対する情報提供については、参観（見学）などの何らかの形で「交通・環境学習」に接していただくなどの協力行動意図の活性化、主体者としての態度の醸成をねらいとした取り組みの検討が必要である。

課題2：持続可能な情報提供と広報活動展開の仕組みの確立

- ・本年度から、インターネットによる情報提供が開始された。インターネットによる情報提供は、ポータルサイトを構築して配信することが一般的であり、ポータルサイトの構築によって、「交通・環境学習」に係るすべての情報を集積したデータベース的な運用が可能となる。
- ・このため、今後は、授業を実施する教員が、教材、指導と学習事例等の情報をいつでも参照して、授業の参考にすることが可能となり、持続的な取り組みの基盤の一つとして非常に有用なツールとして活用できる。
- ・しかしながら、このようなデータ整理や広報の作業には相当の労力を要する。小学校の教員は、子どもたちの教育に主力を投じるべきであり、情報発信はやむを得ないとしても、広報啓発活動等については、関係機関が支援して持続可能な取り組みを展開する仕組みを確立していかなければならない。

2)今後の情報提供・広報活動の展開について

本年度の課題を踏まえて、今後は表 4.4 に示すような枠組みで情報提供、広報活動を展開していくことが必要である。

表 4.4 今後の情報提供・広報啓発の取り組み方針

対象					情報媒体	提供内容	情報発信者
保護者	教員	専門的識者	関連団体	一般市民			
					保護者通信	授業の予告、案内、結果報告	学校
					教員通信	授業の予告、案内、結果報告	
					報告書配布	授業内容、教材、検証・評価等	
					(公開授業)	(授業)	
					(学習の一環としての情報発信)	学習成果の発信(掲示板、イベント、展示等)	
					(情報源の生成と町への提供)	授業の予告、案内、結果報告	
					御嵩町ホームページ・ニュース	授業の予告、案内、結果報告	御嵩町教育委員会
					ポータルサイト	授業の予告、案内、結果報告、「交通・環境学習」データベース	
					広報紙:「ほっとみたけ」	授業の予告、案内、結果報告	
					マスコミ	取材案内、記事提供	
					学会・イベントなどでの報告	「交通・環境学習」実施を通して得た知見	関係者個人

表 4.5 情報提供・広報啓発の役割分担と連携(案)

広報主体	役割	ねらい	情報提供など媒体
学校	・情報源の生成と発信 ・保護者、教員を対象とした情報提供と啓発。	・学習の一環としての情報発信 ・保護者の協力を期待する ・「交通・環境学習」に取り組む教員への情報提供と主体者の拡大 ・授業実施による知見の発信	・「掲示板」など ・保護者通信 ・教員通信 ・学習教材、実施記録等のポータルサイトへのアップ
御嵩町	・情報源の提供用資料への加工と提供及び広報窓口 ・学校の広報活動に対する支援 ・広く町民、関係機関団体を対象とした広報啓発活動	・広く町民に取り組みを知らせるとともに、関係者、関係機関団体などの協力を誘引する ・「交通・環境学習」に関連する情報の窓口となる ・学習の主体である学校の負荷を軽減する	・ポータルサイトの開設、運営 ・広報紙誌、マスコミ、イベントなどへの広報

5. 「交通・環境学習」実施要領（案）

5.1 概要

これまでの実施事例を取りまとめた「交通・環境学習」教材を各小学校等に提供し、「総合的な学習の時間」あるいは「社会科」などのなかで、「交通・環境学習」教材のパッケージ化をとして、取り組んでいただいた。

御嵩町 3 小学校では、「交通・環境学習」教材のパッケージ化された内容を参考にして、各小学校の先生がアレンジして、年間授業計画のなかで取り組まれた（図 5.1）。

各小学校で持続可能な取り組みとするためには、子どもの実態に合わせた授業が必要となるため、「交通・環境学習」教材の一部をピックアップして、取り組むこととした。

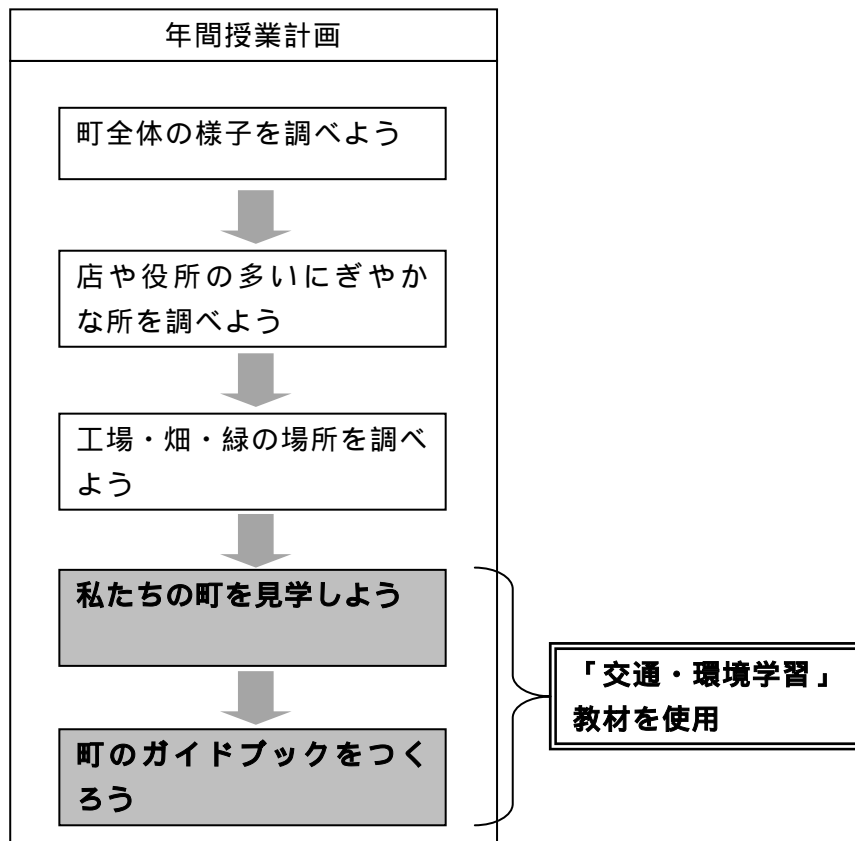


図 5.1 「交通・環境学習」教材をアレンジした授業内容例

5.2 「交通・環境学習」の実施要領（案）

「交通・環境学習」教材の一部を取り入れ、先生方でアレンジされた授業計画の事例を下記に示す。

表 5.1(1) 「交通・環境学習」教材のスペックを活用した事例

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	町全体の様子の調べ方を考えよう	・町の写真や地図から、町の様子の違いを調べる方法を考え話し合うことができる。	・町の写真から、土地の使われ方の違いを話し合う。 ・地図と写真を見比べて、地域に分けられている部分の特徴を話し合う。 ・歩いて調べられない部分の調べ方を話し合う。	・御嵩町の土地の様子やそれぞれの地域の様子に関心がもてる。	・写真と地図の観見方の視点を与える。
2	店や役所の多いにぎやかなところを調べよう	・御嵩駅付近の写真や地図から、にぎやかなところが国道沿いに移ってきたことがわかる。	・御嵩駅付近の写真や聞き取り調査から、昔の様子を知る。 ・国道沿いの写真から、現在の様子を知る。 ・国道沿いが発展し、にぎやかなところになったわけを考える。	・にぎやかなところが国道沿いに移ってきたことや車の影響を考えることができる。	・昔と今の御嵩駅付近・国道沿いの写真を見比べることができるよう、写真を用意する。
3	工場が集まっているところを調べよう	・国道沿いや工業団地にたくさん工場ができたことがわかる。	・写真より、御嵩町の南側に、広い平らな土地があることに気付く。 ・工場ができる条件を考える。 ・国道に沿ってある工場を確かめる。	・工場を建てるのに良い立地条件から、国道沿いや平芝工業団地に工場が多いことがわかる。	・工場に出入りするトラックの写真を用意し、立地条件に気付かせる。
4	田や畑の多いところを調べよう	・平らな土地や水が豊富にある可児川沿いに田や畑が多くあり、米やいろいろな作物を作っていることがわかる。	・田が多くある土地の特徴を考える。 ・川の豊富な水を使って米やいろいろな作物を作っていることを知る。	・可児川の豊富な水を利用して、協力したり工夫したりして米やいろいろな作物を作っていることがわかる。	・御嵩町の西方面で米や作物作りが盛んなことに気付かせる。
5 6 7	わたしたちのまちを見学しよう	・社会見学に名鉄広見線やバスを使い、それぞれの特徴ある地域を見学・観察することができる。	・名鉄広見線御嵩駅周辺の様子を観察する ・国道沿いや工業団地を観察する。 ・上之郷や田畑の多い地域を見学・観察する。 ・まとめる。	・御嵩町の様子や土地の使われ方の様子に関心がもてる。	・漠然と見ている児童に対しては観察の視点を与える
8 9	町のガイドマップをつくらう	・見学でわかったことを加えながら、町のガイドマップを作ることができる。	・ひとりひとり、絵や文を書いて、ガイドマップを作る。	・土地の使われ方や特徴を、見やすくわかりやすいガイドマップに表すことができる。	・2年生に見てもらって、感想をもらう。

表 5.1(2) 「交通・環境学習」教材のスペックを活用した事例

1 単元指導計画		単元名 わたしたちの名鉄広見線			
時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	名鉄広見線に乗ってみよう	・社会見学の名鉄広見線を使い駅の様子や広見線沿線の様子を観察することができる	・名鉄広見線御嵩駅の様子を観察する ・車窓から沿線の様子や風景を観察する ・気づいたことをメモする	・御嵩駅の様子や沿線の様子に関心をもてる	・漠然と見ている児童に対しては観察の視点を与える
2	名鉄広見線の歴史を知ろう	・社会見学の様子を想起し、名鉄広見線の様子を発表し、明治から大正時代の鉄道敷設の願いを知ることができる	・社会見学でメモしたことを発表する ・明治時代に中央線が上之郷を通る予定だったことを知る ・大正時代に東鉄として御嵩まで開通したことを知る	・資料「広見線の変遷」から広見線敷設までの住民の願いを知ることができる	・資料が難しいため用語等の解説をしながら読み取らせる
3	名鉄広見線の歴史を知ろう	・昭和になり「東美線」・「名鉄」と移り変わり、亜炭の増産により広見線が栄えたことを知る	・昭和になり亜炭の出荷増により営業成績が向上したことを知る ・戦後も輸送力を向上させてきたことを知る ・その後名鉄広見線はどうなっていったか年表から考える	・資料「広見線の変遷」から戦中は広見線が栄えたことを読み取れる ・広見線の乗降客が減少していると生活体験から予想できる	・戦争以降の広見線の予想ができない児童に対しては自分の生活から考えるよう指示する
4	名鉄広見線の乗る人が減ったのはなぜ？	・住民の足として発展した広見線も乗降客が減少したことを知りその理由が自動車の普及にあることを予想できる	・名鉄広見線乗降客数の推移から昭和50年をピークに乗降客が減少していることを読み取る ・乗降客数の減少の理由を予想できる	・乗降客の推移のグラフから乗降客がピークから半減していることやその理由が説明できる	・どの駅も乗降客が減っていることと国道21号線の整備との関連から考えさせる
5	地球の環境を守るために	・御嵩町の人たちが広見線の存続を願い運動しているのは住民の足を確保することだけでなくCO2の削減にも貢献するからだということが理解できる	・どうして名鉄広見線存続運動や多額の補助金を出して存続させようとしているか理由を考える	・鉄道がなければ町が寂れてしまうことに気づく ・自動車より電車の方がCO2の排出が少ないことに気づく	・各駅の乗降客数の読み取りができない児童に対しては合計から傾向を読むようにさせる

表 5.1(3) 「交通・環境学習」教材のスペックを活用した事例

時	ねらい	学習活動	評価規準	教科等の関連
1	・御嵩の町探検について意欲を持ち、コースを決定することができる。	総合的な学習のねらいと進め方を知る。 3つのテーマ(川、森、道)からコースを決定する。	・御嵩の町探検について意欲を持ち、コースを決定することができる (関心・意欲・態度)	情報学習 国語...「人とものとの付き合い方」 道徳...「ひとふみ十年」
2	・第1回御嵩の町探検の計画を立てることができる。	探検グループを作る。 探検ルートを確認する。 探検に必要な持ち物を確認する。	・(知識・理解)	国語...「インタビュー名人になろう」 社会...「自動車を作る工業」
3	・第1回御嵩の町探検で	取り組みたいテーマ別に分かれ、学習計画を立てる。 ・活動グループ分け、テーマ設定、調べる方法、発表方法など	・学習計画を見通しを持って立てることができる。(関心・意欲)	総合...「菊作り」 情報学習 学級活動...
	<p style="text-align: center;">可児川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可児川の水質調査。 (透視度、バックテスト、におい、色) ・可児川の生き物調査。(水生昆虫、魚) ・可児川の昔の様子を名人さんに聞く。 (魚の捕り方、水質変化) ・生き物の飼い方調べ。 (えさ、水槽の管理) ・可児川水族館開館 ・きれいな可児川を守るために自分たちができることを考える。 	<p style="text-align: center;">道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気の調べ方を調べる。 ・校区の地図を使って空気の汚れ具合を調べる。 ・御嵩の森の空気調べ。 ・空気の汚れの原因やこのままでどうなるのか調べる。 	<p style="text-align: center;">森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町にはどんな植物が生息しているか調べる。 ・オオタカが住みやすい環境を考える。そのために、自分たちに何ができるのかを考える。 	道徳...「世界初のトンボ保護区づくり」 情報学習
4,5,6	・調査をしたり、話を聞いたりして、御嵩町の環境を知ることができる。	御嵩の森調査・見学、可児川調査、校区内の空気調査を行う。 ・御嵩の森名人さんのお話を聞いたり、御嵩の森を調査したりする。	・御嵩の環境を知り、分かったことをプリントに書いている。 (知識・理解)	
7,8	・調査・見学から分かったことをグラフや表にまとめる。	調査・見学の振り返りをする。 ・調査・見学から分かったことを交流して、図やグラフ、表にまとめる。	・調査・見学から分かったことを分かりやすくまとめている。 (技能・表現)	社会...「放送局の働き」 社会...「新聞ができるまで・情報と社会」
9,10	・調査・見学を通して、自分の学習課題を決め、課題追究に向けての調べる方法を考えることができる。	調査・見学の結果から、自分たちができる取り組みを考え、提案し、実行できるようにする。 ・御嵩の環境を改善したり、守ったりするために自分たちができる取り組みを考える。	・自分がさらに調べたいと思うことから学習課題を立て、自分たちができる取り組みを考えている。 (思考・判断)	国語...「工夫して発信しよう」 社会...「私たちの生活と環境」 社会...「私たちの生活と森林」
11,12	・必要な情報を収集・精選しながら発表に向けて準備をすることができる。	テーマ別にグループで発表準備を行う。 ・インターネット、図書館、家庭学習や今までの調査などから必要な情報を収集し、まとめて発表の準備をする。	・調べたことを分かりやすくまとめ、発表の準備をしている。 (思考・判断)	

時	ねらい	学習活動	評価規準	教科等の関連
13	・自分たちが調べてきたことを分かりやすく発表することができる。	発表練習を行う。 ・「相手に伝える」という意識を持ち、様々な方法を使って分かりやすく発表する。 ・グループの発表を聞いて、話し方、資料提示の仕方について助言をし合う。	・相手を意識して、分かりやすく発表している。(技能・表現) ・仲間の発表から、環境のために自分ができることについて考えている。(思考・判断)	
14、15 (本時)	・自分たちが調べてきたことを分かりやすく発表し、環境のために自分達ができることを仲間や先生に訴える。	学年発表会を行う。 ・「相手に伝える」という意識を持ち、様々な方法を使って分かりやすく発表する。 ・グループの発表から、自分なりの感想や意見を持てるように聴く。	・御嵩の環境問題について、意欲的に話を聞いている。(関心・意欲)	
16、17、 18	・全校、御嵩町に情報を発信し、環境のためにできることを呼びかける。	4年生に発表会を行う。可児ッテ、ラSPA、中山道御嵩館などに取り組みを訴える宣言 伝をする。	・相手を意識して分かりやすく発表している。(技能・表現)	
19	・環境フェスタに向けての発表準備をすることができる。			

6.本年度の課題と次年度に向けた検討企画(案)

6.1 まとめ

本年度は、本事業の本格的な2年目にあたり、町内の3小学校で「交通・環境学習」の取り組みを行った。

2年目にあたる御嵩小学校は、昨年度の取り組み経験を踏まえて、新たな単元のなかで「交通・環境学習」を位置付けて学習を実施する学年もあり、全学年で「交通・環境学習」を実施した。上之郷小学校、伏見小学校も、御嵩小学校の経験を参考に、意欲的に取り組まれた。

また、本年度は、御嵩町教育センターおよび御嵩小学校ホームページで情報提供を始めるとともに、新たに学校行事や「御嵩町環境フェア2011」での展示や発表を展開するなど、関係機関の皆様のご協力をいただき、多くの媒体で情報提供・広報を実施することができ、多くの成果を得ることができたものと考えられる。意欲的に取り組まれた教員及び関係各位には多大な敬意を表したい。

しかしながら、カリキュラムの構成は、教員にとって相当程度大きな労力を要しているようであり、新しい教材の導入についてもある意味で保守的と言わざるを得ないが、各小学校で年間授業計画のなかで「交通・環境学習」教材の一部を取り入れ、アレンジしていただいたことにも敬意を表したい。

今後は、着実な取り組み事例の積み重ねと、新たな教材の開発、導入やカリキュラム構成の検討が必要であることは言うまでもない。

さらに、情報提供と広報活動については、情報提供と広報活動を分けて検討していくことが必要である。情報提供については各小学校からの情報を提供していただくことが必要であるが、広報活動については、関係機関等が主体となって、持続的な取り組みに向けた合理的な役割分担と仕組みを構築していくことが望まれる。

以下に、本年度の取り組みにおける問題点に基づき、課題を整理する。

課題1：多様な教材開発と単元設定、カリキュラム構成の蓄積と活用のしくみ構築

- ・本年度活用した「交通・環境学習」教材のパッケージ化をそれほど多く取り組まれていない。どちらかというところ、年間教育課程のなかで先生方がアレンジして取り組まれている。これまでに開発されている教材の意欲的な適用、地域・学年に応じた固有の教材の開発などが必要である。
- ・学校の年間授業計画のなかで「交通・環境学習」教材の一部を取り入れ、子どもたちの実態に合わせた教材の開発も必要である。
- ・今後は、着実な取り組みの積み重ねで、教材の開発や、多様な単元設定とカリキュラム構成などを蓄積し、活用していくしくみを構築していくことが必要である。

教材開発、カリキュラム構成の検討、取り組み事例、活用要領の作成など

課題2：望ましい関係主体間の連携と支援のあり方の構築

- ・本「交通・環境学習」は、学校主体での取り組みを原則として、行政団体や専

門家が支援をしていくこととしているが、支援者は常に教育の現場に同席しているわけではないため、支援に際して十分なコミュニケーションが必要である。専門的な知見や人、情報も必要となることから、単に学校からの支援要請に応えるといった対応を超えた望ましい関係主体間の連携と支援のあり方の構築をしていく必要がある。

支援組織、大学等の活用、ボランティアや NPO などの人材登録のしくみの構築など

課題 3：持続的な取り組みに向けた情報提供・広報活動の役割分担と仕組みの構築

- ・提供すべき情報源は学校にある一方で、情報提供と広報啓発の取り組みをすべてにわたって学校が分担するには労力が大きすぎるため、情報提供と広報啓発に分けて、望ましい役割分担と仕組みを構築していく必要がある。

情報提供として、関連情報のデータベース化と活用のしくみの構築など

広報啓発として、学校の負担を減らし、関係主体での活用の仕組みの構築など

6.2 次年度検討企画(案)

(1)目標と検討項目

平成 23 年度は、本事業の最終年度に位置し、事業当初計画では「取り組みの継続・発展」を目指して、1.継続的・発展的な取り組みの定着、2. 御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成（暫定版）、そして 3.中学校での取り組みの開始を目標として設定している（表 6.1）。

したがって、平成 23 年度は、これらの課題への対応を踏まえて目標を達成するために、表 6.2 に示すような検討を行うことが考えられる。

表 6.1 本事業の年度別目標設定

年度	位置付け	目標
平成 20 年度	事業実施準備	1.検討体制の立ち上げ 2.基礎教材の開発 3.単元、カリキュラム構成
平成 21 年度	学習実施と展開	1.教材の開発、拡充 2.モデル校での「交通・環境学習」の実施と検証
平成 22 年度	持続的な取組みシステムの構築	1.町内全小学校での「交通・環境学習」の実施 2.取り組み支援体制と仕組みの構築 3.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成（暫定版）
平成 23 年度	取り組みの継続・発展	1.継続的・発展的な取り組みの定着 2.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成（改訂版） 3.中学校での取り組み開始

表 6.2 平成 23 年度の検討項目（案）

(1) 町内全小学校での授業実施と検証、評価 ・学校主体を原則として町内全小学校での授業を継続実施し、取り組みを検証、評価、経験を蓄積する。 ・可能な範囲で、新たな教材の活用を試みる。
(2) 持続的な取り組みと情報提供・広報システムの構築 ・「交通・環境学習」を持続的に取り組んでいくために、関係主体間の連携と支援のあり方、情報提供・広報啓発の役割分担と仕組みを構築する。
(3) 御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成（改訂版） ・町内全小学校での取り組み実績と検証・評価に基づいて、持続的な取り組みのガイドラインとしての実施要領を作成する。
(4) 中学校での取り組み開始 ・中学校を対象とした「交通・環境学習」の教材を開発し、中学校で実施して、今後の展開の可能性を検証する。

(2)スケジュール

		取り組み						委員会
平成23年		各校教員への情報提供と授業計画検討		中学校の「交通・環境学習」教材の開発	中学校の「交通・環境学習」実施計画の検討			
5月								
6月								第1回
7月								
8月		「交通・環境学習」の実施		中学校「交通・環境学習」の実施		情報提供・啓発		
9月								
10月								第2回
11月								
12月								
平成24年								
1月		検証・評価	実施要領作成	検証・評価	報告書作成	情報提供・啓発		
2月								
3月								